

## 会 議 録

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                   |      |     |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----|
| 会議の名称       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 令和 2 年度第 1 回つくば市こども未来懇話会                                                                          |      |     |
| 開催日時        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 令和 2 年 8 月 18 日 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分                                                           |      |     |
| 開催場所        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | つくば市役所 庁議室                                                                                        |      |     |
| 事務局（担当課）    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 保健福祉部こども未来室                                                                                       |      |     |
| 出席者         | 委員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 藤田晃之（座長）、長橋進也、中山光子、池田利基、大関隆（代理）、横山貴美子、大久保良文、かさいひろこ                                                |      |     |
|             | 事務局                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 毛塚副市長、小室保健福祉部長、吉沼教育局長、中山こども部長、他各部局次長、課長、室長等                                                       |      |     |
| 公開・非公開の別    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 | 傍聴者数 | 0 人 |
| 非公開の場合はその理由 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                   |      |     |
| 会議次第        | <div style="padding-left: 20px;">           1 開 会<br/>           2 挨 拶<br/>           3 委嘱状交付<br/>           4 委員自己紹介・事務局職員紹介<br/>           5 つくば市こども未来プランとつくば市こども未来懇話会について<br/>           6 説明事項<br/>               (1) 保健福祉部の事業進捗状況について<br/>               (2) 教育局の事業進捗状況について<br/>               (3) こども部の事業進捗状況について<br/>               (4) 新型コロナウイルス禍における支援状況について<br/>           7 意見交換<br/>               「充実・改善が必要な事業について」<br/>           8 その他<br/>           9 閉 会         </div> |                                                                                                   |      |     |

＜審議内容＞

(00:00:04)

事務局 お集まりになりましたので、始めさせていただきます。本日は、お忙しいところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。ただいまから、令和2年度第1回つくば市こども未来懇話会を開催いたします。

開会にあたり、つくば市副市長の毛塚幹人より御挨拶申し上げます。

副市長 皆さん、こんにちは。本日は、お忙しい中、今年度第1回こども未来懇話会に参加いただきまして、誠にありがとうございます。今回からまた多くの新しい皆様に御参加いただきまして、誠にありがとうございます。

この会は、本当に様々な角度から御意見をいただくのが大切な場だと思っていますので、ぜひ率直な御意見をこの機会にいただければと思っています。

本日、茨城新聞を読んでいましたら、1面が母子家庭の支援についてのトピックでした。今回のコロナ対応においては、今までなかなか見えなかったような格差というものも顕在化されているという傾向があるかと思っています。

そういった中で、今回のコロナ対応において、つくば市ですと、例えばひとり親世帯の児童扶養手当に対する上乘せを行ったりですとか、あとは学校の就学援助の世帯に対しての補助を出したり、またはその要件を緩和したりなどを行っています。

それに加えて、給食が一時ストップになってしまった時期がありました。そういった中で、食費がかさんでしまうと日々の昼食に困ってしまうといった声もありまして、市でパンですとか弁当などを調達しまして、それを学校で配って学校の皆さんには大変お世話になったのですが、そういったことにも取り組むことができました。

終わった後、アンケートなども取ったのですが、あれのおかげで乗り越えたといったお声もいただきました。一方で、もっとこんなメニューがよかったとかもありました。そういった声も踏まえながら、また今度第何波があるか分か

りませんので、対応に反映していきたいと思っています。

まず、この会の趣旨ですが、つくば市では「こども未来プラン」というものを2019年に策定しました。それに基づいて、これまで子どもの貧困に関する取組を進めてきたところであります。

そういった中で、つくば市では、こういった取組を持続的に行うために、市の予算だけではなくて、「つくばこどもの青い羽根基金」というものを条例で新しく作りまして、その基金に対して全国もしくは市の町内会、区会に回覧板を回してそこで募金を入れていただいたり、そういうことを行いながら持続的な活動を行うための資金集めなども行ってきました。それによって地域での「青い羽根学習会」の拠点をつくったり、学校で「はやぶさ教室」の取組をやっていたり、もしくは、つくば市は子ども食堂ではなくて、より包括的な概念として「みんなの食堂」と言っていますが、みんなの食堂に関する補助を行ったりと、そういう活動がこの短期間によって、それは市役所だけではできなかったと思っているのですが、本当に様々な団体の御協力、また学校現場での御協力によって実現したと思っています。今日は改めて、関係する部局から参加させていただいていますのでその進捗について御報告させていただきます。

皆様の様々な立場から、ぜひこういった機会に、普段の気付いていること、もしくは疑問に思っていることなども共有していただいて、これまでの取組をより改善していければと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。事務局 続きまして、委員の委嘱に移ります。お名前をお呼びしましたら、その場で一礼をお願いいたします。

学識経験者として、筑波大学人間系教授、藤田晃之様。

児童生徒の保護者として、つくば市PTA連絡協議会会長、長橋進也様。

つくば市民委員として、中山光子様。

同じくつくば市民委員として、池田利基様。

様式第 1 号

主任児童委員として、つくば市主任児童委員連絡会会長、大久保良文様。

各種支援団体の代表者として、特定非営利活動法人NGO未来の子どもネットワーク代表理事、かさいひろこ様。

公立小中学校長として、つくば市立小中学校長会会長の和田雅彦様。本日は桜南小学校教務主任の大関様に代理出席をいただいております。

同じく公立小中学校長として、つくば市立小中学校長会副会長の横山貴美子様。

また、本日欠席されていますが、学識経験者として、筑波大学人間系准教授の外山美樹様。

以上、9名へ委員を委嘱させていただきます。

それでは、委嘱状を毛塚副市長より交付させていただきます。

なお、時間の都合上、代表して藤田晃之様へ交付させていただき、ほかの皆様につきましては、あらかじめ机上に配付させていただいておりますので、御確認ください。

副市長

委嘱状

藤田晃之様

つくば市こども未来懇話会委員を委嘱します。

委嘱期間は、令和2年8月18日から令和3年3月31日までとします。

令和2年8月18日

つくば市長五十嵐立青（代読）

どうぞよろしくお願いいたします。

〔委嘱状交付〕

事務局 ありがとうございました。続きまして、委員自己紹介、事務局職員紹介に移ります。

委員の皆様には、藤田様から名簿順に簡単に自己紹介をお願いいたします。



## 様式第 1 号

藤田委員 それでは、私から始めさせていただきます。筑波大学の藤田と申します。専門は教育学をしておりまして、もう少し細かく言いますと、キャリア教育、子どもたちの未来をつくるための教育を専門にしております。ですから、このつくば市こども未来懇話会、とても御縁を感じておりまして、数年前からお邪魔させていただいておりますけれども、お邪魔するたびに施策がどんどん進んでいくことを肌で感じられる、そういうふうな機会でございました。また今年も、その一步一步を皆様方とつくってまいりたい、そのように思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

長橋委員 本年度のつくば市 P T A 連絡協議会の会長をやらせていただいております長橋と申します。今鹿島小学校の P T A 会長と豊里中学校の P T A 副会長をやっております。分からないことだらけですので、これからいろいろ勉強させていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

中山委員 こんにちは。中山光子と申します。今回の市民委員ということで応募させていただきました。私は 7 月 31 日で長年取り組んでいた仕事を退職したのですが、大体 42 年ぐらい保育士の仕事をずっとしてまいりました。

やはりいろいろなところで貧困とか感じる場所もありまして、たまたま目についたので応募させていただいたのですが、私も分からないことばかりですので、勉強していきながらいろいろお話しさせていただきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

池田委員 今年度市民委員として参加させていただきます池田です。普段は筑波大学大学院で心理学に関する研究を行っています。その傍らで、青い羽根学習会で事業に携わらせていただいております。

この場では、学習会における現場感をお伝えしたり、学習会の効果測定の方法論に関してお力になればと思っています。特に効果測定に関しては、一市民側からすると大変現況が見えづらいために、本日はこの場でいろいろ質問や意見をさせていただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

## 様式第 1 号

事務局 すみません、先ほど名簿順とお話したのですが、席順で回してください。よろしくお願いいたします。

大関委員 こんにちは。桜南小学校教務主任の大関といいます。本日は、和田学校長の代理で出席しました。いろいろと勉強させていただければと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

横山委員 学園の森義務教育学校で校長をしております横山と申します。今年の始まりは休校から始まりました。普段見えない子どもたちの姿や家庭環境を知ることができ、より深い教育ができるんじゃないかと考えております。ぜひこの機会にいろいろ学んで帰り、職員にしっかり伝えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

大久保委員 こんにちは。つくば市主任児童委員連絡会の会長の大久保といいます。今年度から会長になって何も分からないのですが、ただ、民生委員のほうの会議のほうも、このコロナのほうで情報が入っておりません、みんな中止になっちゃって。つくば市のほうの子どもの様子とか、そういうのがどういう状況になっているのかよく分かりませんので、こういう会に出席して情報を集めたいと思います。そして実践していきたいと思います。本当に緊急事態だと思いますので、重要な会議だと思いますので、よろしくお願いします。

かさい委員 こんにちは。龍ヶ崎市で活動させていただいています未来子どもネットワークという団体の代表のかさいひろこと申します。よろしくお願いいたします。

このような活動支援をして 40 年ぐらいたちますが、最初の 20 年は高齢者支援に特化しておりました。高齢者支援をしている中で、いつまでたっても高齢者の福祉が保たれないことに気付いて、これは子どもの頃からの支援が大事ということで、子ども支援に特化して 20 年たちました。

これからこの場でいろいろなことを勉強させていただいて、また持ち帰り、活動に活用させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

## 様式第1号

事務局 ありがとうございます。引き続き、事務局職員から自己紹介いたします。

中山部長、よろしくお願いします。

こども部長 こども部の中山と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

このこども未来懇話会は、今年で3年目になると思います。1年目は、皆さんと一緒にたくさんの意見交換をしてこども未来プランを作成しました。そして2年目は、どのようにこの事業を展開していくかということを皆さんと一緒に考えた年だったと思います。そして今年3年目となりますけれども、さらに進化したこども未来懇話会となりますように、一緒に意見交換会をしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

教育局長 教育局の吉沼と申します。少し遅れてしまいました。大変御迷惑をおかけしました。よろしくお願いいたします。

教育局のほうでも、先ほど横山校長先生からもお話がありましており、現場ではコロナウイルスの中、大変な御苦勞をされているところでございます。このこども未来プランにも教育局関連の事業を載せさせていただいておりますが、こういった事業を通じまして、いろいろと学校現場と連携を取りながら支援をしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

保健福祉部長 保健福祉部長の小室と申します。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

今回、初めてこの懇話会に参加させていただきますが、こども部、教育局、そしてまた我々保健福祉部と、様々な分野の意見をいろいろ拝聴することができるといことで非常に楽しみにしております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

事務局 続きまして、資料の確認を行います。まず懇話会次第、今年度の委員名簿、資料1としましてつくば市こども未来プランと概要版、資料2としまし

つくば市こども未来プラン事業進捗状況、資料 3 としまして新型コロナウイルス下における支援状況について、以上でございます。不足等ございましたら、事務局までお申し出ください。

それでは、懇話会に移らせていただきます。

これより、懇話会の進行は座長である藤田委員にお願いします。よろしくお願いいたします。

藤田座長 それでは、改めましてよろしくお願いいたします。座ったままで失礼いたします。

まず、議事に入る前に皆様方へお願いがございます。懇話会での発言に際しましては、まず挙手をしていただきまして、私が指名をさせていただきますので、可能な限り明瞭にお話してください。特に皆さんマスクをしていらっしゃると思いますので、いろいろ御発言いただけたらなと思います。また、円滑に進行するために、御意見につきましては、なるべく簡潔にまとめてお話しただけですと助かります。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、次第に戻りまして、つくば市こども未来プランとつくば市こども未来懇話会について、事務局より御説明をお願いしたいと思います。

保健福祉部（こども未来室） こども未来室です。よろしくお願いいたします。つくば市こども未来プランとつくば市こども未来懇話会について御説明させていただきます。

お配りした資料 1、それから概要版につきまして、そちらのつくば市こども未来プランを御覧ください。

つくば市は、SDG s の達成に率先して取り組む自治体として、茨城県内で唯一国から「SDG s 未来都市」に選定されています。「つくば市 SDG s 未来都市計画」においても、子どもの貧困は重要な課題としており、子どもたちの学習支援を行うことで、家庭の経済的な状況に左右されず、子どもたちが安心して勉強ができる環境設備を推進していきます。

また、つくば市が国内で初めて公表した「持続可能都市ヴィジョン」の中でも、誰一人取り残さない包摂の精神の下、すべての人が自分らしく生き、幸せであふれるまちを目指していきます。

つくば市では、2017 年度から、経済的に困難を抱える世帯の子どもを対象として各種支援事業を実施してきましたが、利用率の低さや実施地域が限定的であること、居場所づくりの支援が不十分であること等の課題に対応するため、必要となる施策を中長期的な視野に立ち部局横断的に実行するため、つくば市こども未来プランを策定することになりました。

つくば市こども未来プランの策定にあたり、お配りしたプラン 2 ページにありますように、関係部局である保健福祉部、教育局、こども部の連携のため、こども未来庁内連携会議を開催するとともに、有識者や学校関係者、支援団体代表者に市民委員を加えたメンバーによるこども未来懇話会を開催して議論を行い、2019 年 2 月に策定、公表いたしました。

つくば市は、地域や実施団体、大学、学校などと連携しながら、学習支援、居場所づくりを中心に支援を行っています。この支援は、誰一人取り残さないという持続可能な開発目標 S D G s の理念に従い、包摂的、包括的に行うものとし、義務教育年限の 1 年生から 9 年生を主な対象としながら、居場所づくりについては就学前児童から高校生以上も含めて幅広く対象とし、また、つくば市こども未来プランに記載されている事項に限らず、つくば市子ども・子育て支援プラン等その他の市の支援事業と連携して支援を行っていきます。

プラン 3 ページでは、「安心できる居場所・学習環境で、つくばの子どもを育む」というヴィジョンの下、5 年後の具体的達成目標を掲げ、支援策を実施しております。

具体的実施事項については、プラン 4 ページと 5 ページにて、七つの項目に分類し、事業の実施をしていくことによって達成目標を目指していきます。

また、この具体的実施事項は、何の事業に属しているものか関連事業が分か

## 様式第 1 号

るよう、丸印の名称をこの後各部局で説明する令和 2 年度事業の事業名称にか  
つこととして表示しております。以上になります。

藤田座長 ありがとうございます。ただいまの全体的な御説明に関しまして、  
まず御質問をいただきたいと思います。いかがでしょうか。

言葉の確認でも結構ですし、特に初めて御参加いただいた方もいらっしゃる  
かと思います。ですので、本当に基本的なところでも結構でございます。確認  
すべきところございましたらお願いいたします。

中山さん、お願いします。

中山委員 5 ページなのですが、非認知能力の判定の実施というのは、もう実  
施されたのでしょうか。もしされたとすれば、どんな方法で測ったのかだけお  
教えいただけたらと思います。

事務局 教育局のほうから説明をお願いします。

教育局（学び推進課） 学び推進課です。非認知能力ということで、昨年度か  
ら「i - c h e c k（アイチェック）」、これは非認知能力だけではなくて、  
質問紙も併せたものなのですけれども、その中で子どもたちの家庭状況も含め  
て調査をするということで実施しております。

後の説明でも話そうと思ったのですが、昨年 6 月に実施しまして、夏の面談  
で保護者にその状況を返すということで実施していたのですが、今年度コロナ  
の関係で臨時休校になっていましたので、現在まだ今年度分は実施しておりま  
せん。予定としましては、9 月下旬から 10 月上旬にかけて実施しまして、11  
月から 12 月の面談で活用ということで今のところ考えております。

藤田座長 よろしいですか。

中山委員 すごく測るのが難しいものかなと感じましたので、どんなかたちな  
のかなというのが分かりました。ありがとうございます。

藤田座長 ありがとうございます。また後で教育局から御説明があるかもしれ  
ませんので、どうぞよろしくお願いいたします。

ほかにはいかがでしょうか。

それでは、議事を先に進めさせていただきまして、またございましたらば、お戻りいただいても結構かと思います。

次第の 6 番の説明事項でございますが、つくば市こども未来プラン掲載事業の令和 2 年度の事業推進状況について、まずは保健福祉部から説明をお願いいたします。

保健福祉部（こども未来室） 保健福祉部こども未来室より説明させていただきます。説明は、資料 2、令和 2 年度事業つくば市こども未来プランに沿って行います。また、それぞれの事業がつくば市こども未来プランのどの項目に当てはまるかもお伝えしながら行いたいと思いますので、こども未来プランの概要版をお手元に御準備ください。

まず、資料 2 の 1 ページ目の上段を御覧ください。

つくばこどもの青い羽根学習会です。プランでは、概要版の左上、「居場所＋学習支援」にあたります。つくばこどもの青い羽根学習会は、貧困の連鎖を断ち切るため、生活保護または就学援助を受給している世帯の 4 年生から 9 年生、学校内で支援を行うはやぶさ教室では 3 年生の子どもたちに学習支援や安心できる居場所の提供を行う事業です。

概要版にもあるように、平成 29 年度市内 2 教室から始まりましたが、翌 30 年度には 3 教室、昨年度は最終的に 13 教室、そして今年度は 14 教室と拡充してきました。

ちなみに、14 教室の内訳は、学校外拠点 10 か所、学校内拠点ははやぶさ教室 4 か所となっています。

プランでの目標は、市内全中学校区、義務教育学校区それぞれに 1 拠点、計 16 か所に開設することとされています。また、小学生の送迎等の課題を考えたとき、小学校内での支援を行うはやぶさ教室の存在は大きいですから、今後、その充実を図っていきたいと考えております。

今年度は、教室数の拡大のみならず、教室ごとの負担金をつくばこどもの青い羽根基金から充当することで増額し、これまで国の補助金の範囲内ではかなわなかった食糧費に使えるようにしたり、3年生以下のきょうだいの受入れや、中学校卒業後の生徒についても高校中退防止等の観点から引き続き受け入れられるようにいたしました。

なお、この学習会は、昨年度よりその拡大に合わせて教室ごとの学区制限をなくし、委託事業から学習支援事業者との協働事業に変えました。それによって、教室ごとにそれぞれの事業者の特色、強みを生かした運営ができるようになり、利用する子どもたちとその保護者にも一定の選択肢が生まれました。もちろん教室数の関係で送迎等の課題はまだ残っているのですが、それでもこれまで学習する機会が持てなかった子どもたちが学習する場を選べるようになってきたことは、一つ意味を持つことかと思います。

今年度は、4月当初に新型コロナウイルス感染症対策のため、緊急事態宣言が出されてから5月末まで、約2カ月間、学習会も中止を余儀なくされましたが、事業者ごとにオンラインでの学習支援や密を避けるための個別指導、電話、LINE等を使った支援など、ここでもそれぞれの特色を生かした支援を行うことができました。また一方では、事例の共有や連携強化のための連絡会議や研修会を定期的に実施することで、学習会全体の質の向上も図っています。

最後に、その他といたしまして、桜並木学園——並木小、桜南小、並木中の3校ですが——におけるNPO法人Learning for All（ラーニング・フォー・オール）による学習支援モデル事業もございます。同法人は都内を中心に学習支援、場所支援を広く行っている団体で、後で説明しますつくばこどもの青い羽根学習会のマニュアルも作成しています。

学校内で、4年生から7年生を対象とした「つくばやる気じゅく」を、今週まさに夏期プログラムを実施中です。各校15名程度が参加しています。秋冬のプログラムも予定されています。



また、学校外の拠点としまして、「つくば寺子屋くらぶ」もあり、こちらは 1 年を通して日曜日の夕方に実施しています。資料では現在 4 名が参加中とありますが、体験中となっている 2 名も参加となり、また新たに体験を希望している子もいる状況となっています。

次に、資料 2、1 ページ目の下です。居場所づくり支援事業、「青い羽根のいえ」について説明します。こども未来プランでは、中央上にあります「居場所支援」の中のつくば市に必要な居場所づくりの検討にあたります。

こども未来室では、これまで 2 年間、学習支援事業を行ってきましたが、その中で学習以前の支援が必要な子どもたちがいることが分かってきました。昼夜逆転の生活をしている、学校には行かずゲームをしている、満足に食事が取れていない、歯磨きの習慣がない、それらを家庭で解決するすべがない子どもたち、虐待と呼べるか分からないですが、育児放棄、ネグレクトに近いような状態にある子どもたち、ほかにも様々な課題を抱えた子どもたちがいます。そんな子どもたちのために居場所をつくれないうという思いから、今年度青い羽根のいえができました。1 年生から 9 年生を対象に、週 3 回、食事、送迎付で 7 月から実施しています。居場所を利用することで孤立を防ぎ、生活習慣を向上させ、将来的には学習会等の次のステップへ進んでいけるように支援することを目標としています。

居場所の事業者は、公募型プロポーザル方式で、先に述べた NPO 法人ラーニング・フォー・オールに委託しています。同法人の行うつくばやる気じゅくやつくば寺子屋くらぶとも連携できる点が大きいかと思います。現在の課題としましては、送迎が挙げられます。支援を必要としている子の中には、不登校やひきこもりという子もいたり、生活保護世帯では原則自動車がありませんので、一人一人に個別の対応が必要になってきます。そういった中で、事業者とケースごとに検討しながら進めている状況です。

また、青い羽根のいえへ子どもたちをつなげるには、その子の置かれている

状況と支援のニーズを的確に把握した上でアウトリーチをする必要があるため、スクールソーシャルワーカーや子育て相談室の協力が不可欠です。今年度、青い羽根のいえが開設できたことは、3 部局連携の一つの表れかと思います。

続いて、ページをめくっていただいて、2 ページ目の上です。子どもの学習塾代助成です。こども未来プランでは、青い羽根学習会と同じ左上の「居場所＋学習支援」になります。

生活保護または就学援助を受給する世帯の 7 年生から 9 年生に対し、月額 5 千円を上限に学習塾代を助成するものです。青い羽根学習会の教室数や実施曜日がまだ限られているため、それを補うかたちになっています。今年度は、対象を昨年度の 9 年生から中学生全学年に、また対象期間も 4 月からに拡大しました。そして既に 21 名に交付決定をし、今年度は募集終了しています。来年度に向けて、定員の拡大や対象者の選定方法について検討していきたいと考えています。

また、昨年度末に助成を受けられた保護者の方より、高校に進学した後は就学援助のような制度はないのかとの相談を受け、教育総務課の高校生向けの奨学金を紹介させていただきました。こちらも部局を超えた連携の事例になるかと思います。

保健福祉部（こども未来室） 次に、みんなの食堂事業補助金について説明させていただきます。こちらは、こども未来プランの概要版の真ん中の段、一番上の「居場所支援」にあたるものになります。

昨年度に続いた継続事業でして、こちらの補助金は、みんなの食堂実施団体の運営を支援し、新規開設を促進するための補助金となります。月 1 回みんなの食堂を開催する場合 1 年で 5 万円、月 2 回開催する場合は年で 10 万円を補助金として交付いたします。目標としましては、10 団体に補助金を交付してみんなの食堂を実施することとなっています。

予算額は昨年と同額ですが、対象の内容が拡大となりまして、食材を買いに

行ったりなどの交通費が追加となりました。また、昨年度までは補助金の交付回数が 3 回と制限があったのですが、こちらは制限なしとなりました。

今年度の進捗状況ですが、現在で 5 団体より補助金の交付申請があり、年度末に交付決定がある予定です。そのほか茎崎の 1 団体が新規開設を検討中です。

今年度は、コロナの影響がありまして、どのみんなの食堂もなかなか開設が難しかったのですが、それぞれ工夫をしてお弁当を出したり、軽食、離れて座ったり、外で取ったりという工夫が見られております。詳細については、資料の中にあります黄色のパンフレット、みんなの食堂のマップもございますので、こちらも併せて御覧ください。

次に移りまして、「データベースみまもり」について説明させていただきます。こちらは、こども未来プランの真ん中の欄の下のところ、「データ収集」にあたるものになります。こちらは今年度拡充となった事業でして、子どものデータベースから支援すべき子どもを抽出して、今年度から 4 名配置になったこども未来支援員によって必要な支援につなげていくという事業になります。特に経済的に困難な抱える子どもについては、先ほど説明があった無料の学習支援、つくばこどもの青い羽根学習会ですとか、学習塾代助成、居場所事業、青い羽根のいえなどにつなげていきます。

予算は、こども未来支援員が 4 名採用となったということで、その分が増額となっております。昨年度はモデル校 2 校で実施していたのですが、今年度は支援員が増えたということで、モデル校を 10 校に拡大してアウトリーチ支援を行っております。

なお、こども未来支援員は、家庭相談員を 30 年経験した者であるとか、元校長先生、県のスクールソーシャルワーカーを兼務している者などが採用となっていて、現在、教育局のスクールソーシャルワーカーや子育て相談室の相談員と連携して部局を横断して支援にあたっております。

保健福祉部（こども未来室） 続きまして、同じページの下段ですが、つくば

## 様式第 1 号

市こども未来懇話会、こども未来庁内連携会議、こども未来支援担当者会議につきまして説明させていただきます。

こども未来プラン概要からみましては、右下の「推進体制」の部分、つくば市こども未来懇話会におけるチェック、つくば市こども未来庁内連携会議の開催というところの欄になります。

事業の概要につきましては、つくば市こども未来懇話会とこども未来庁内連携会議、支援担当者会議を実施していくという内容になってきます。

懇話会につきましては、つくば市こども未来プランに関連する施策の推進体制とプランの掲載事業の進捗の確認、追加実施の必要な事項を決定していくことが懇話会の事業概要になります。

庁内連携会議につきましては、関係部局である保健福祉部、教育局、こども部の横断的な支援体制を会議として実施して進めていきます。

支援担当者会議につきましては、支援窓口担当者による連携体制、データベースみまもりの活用推進体制を整えてまいります。

目標としましては、継続的に懇話会は毎年 2 回の開催、庁内連携会議につきましては継続的に開催となっております。

予算につきましては、今年度 14 万円、昨年度よりも事業減となっておりますが、これは懇話会の回数が減少した、2 回という数になりましたので、その分として計上しています。

令和 2 年度は、先ほども説明した懇話会 2 回と連携会議 3 回、支援担当者会議は随時開催としまして、進捗状況につきましては、本日 8 月 18 日懇話会の開催、次回第 2 回につきましては来年 2 月 9 日火曜日に開催を予定しております。連携会議につきましては、第 1 回につきましては 8 月 7 日金曜日に開催いたしました。第 2 回については 10 月、第 3 回については来年 3 月の予定をしております。支援担当者会議につきましては、8 月 6 日木曜日に実施させていただきました。

保健福祉部（こども未来室）　続きまして、ボランティア登録説明会について説明させていただきます。こちらは、こども未来プランの真ん中の部分、「市民参加」に当たるものになります。

こちらは昨年度に続いての継続事業となりまして、いろいろな事業を進めていくに当たって、市民の方のボランティアが非常にどの事業も必要となっているため、市が、市民参加をしやすくするための支援として実施しているものになります。市内の学習支援事業者やみんなの食堂事業者が一堂に会し、それらの活動報告を聞いてボランティア希望者がボランティアの登録をするというものになります。

目標としましては、年 2 回程度の開催で、今年度はコロナの状況をみて開催していく予定ですが、第 1 回目が、来月 9 月 26 日土曜日の午後につくば市役所で開催される予定です。昨年度は湯浅誠先生の講演会を併せて開催したり、市民の普及啓発につながることも実施してきました。今年度も状況をみて検討していく予定です。

保健福祉部（こども未来室）　最後に、資料 2 の 3 ページの下です。学習支援マニュアル研修会についてです。こども未来プランの中では、概要版の真ん中、「市民参加」に当たります。

こちらは、学習支援、居場所づくりを行う事業者向けに、先に述べた N P O 法人ラーニング・フォー・オールに委託して作成した学習支援マニュアルに基づき、研修を実施することで支援の質の向上や活動促進を図るものです。年 4 回程度開催する予定でしたが、今年度はコロナ禍の影響もあり、先日、E ラーニング教材による研修を実施したばかりです。

また、資料では次回 8 月下旬とありますが、ようやく日程が固まりまして、9 月 4 日に本年度最初の事業者が集まっての連絡会議を実施する予定となっています。ここでは、コロナ禍で青い羽根学習会を中止していた 2 カ月間の各教室の対応を協議したりですとか、今後の第 2 波に備えができるようにしたりで

すとか、また、ウィズコロナ時代の学習、居場所支援の在り方について話し合  
っていきたいと考えております。

昨年度も事業者から、各教室で発達障害、いわゆるグレーゾーンの子への適  
切な対応方法が知りたいとの声に応えるかたちで、障害福祉課の職員に依頼し  
て研修会を実施しました。今後も、事業者と連携しながら、支援の質の向上を  
図っていきたいと思っています。以上になります。

藤田座長 ありがとうございます。保健福祉部から 8 つの事業について御説明  
いただきました。資料 2 に基づいての御説明でございました。

それでは、今の保健福祉部の御説明に対して御質問いただけますでしょうか。  
御質問ございませんか。

それでは、また戻ることも可能でございますので、先に進めさせていただき  
たいと思います。

では、教育局からお願いいたします。

教育局（学び推進課） では、最初にスクールソーシャルワーカー配置事業と  
いうことで御説明したいと思います。プランのほうは「居場所支援＋学習支援」  
ということになります。

本事業は、昨年度から教育相談センターのほうで実施している事業となりま  
す。今まで茨城県でスクールソーシャルワーカー配置事業というのがありまし  
たが、回数制限とか内容の制限等ありましたので、学校現場からはちょっと使  
いづらいという声が以前からありました。その部分うまく対応できるためにと  
いうことで、市のほうで独自に始めた事業となります。

昨年度は、スクールソーシャルワーカー 2 名で 1 人週 2 回勤務ということで、  
年間 35 週行いました。予定としては、最初の夏休み前までは周知ということで、  
2 人のソーシャルワーカーが各学校を回りまして事業内容等を説明する予定で  
いたのですが、始まってすぐ、学校からの要望が多数入る状況で、特に  
周知活動をしなくても学校のほうからどんどん要望が上がってきた、逆に 2 人

ではなかなか追いつかないという状況となりました。

今年度は、年間時間数を週 4 回ということで拡充しまして、ソーシャルワーカーの人員を 2 人から 3 名ということで増やしております。

ただ、懇話会の中で中心になってくる経済的支援が必要なお子さんのほうのソーシャルワーカーのニーズに関しては、昨年度の実績を見ていくと、そんなに経済的な支援でのソーシャルワーカーの要望というのは多くなかったのかなということで分析しております。一番多い要望としては不登校関係、それから親子関係等が多く相談で上がってきております。

教育局（生涯学習推進課） 引き続きまして、「つくば未来塾」についてですが、生涯学習推進課です。プランの掲載は「学習支援」ということになります。

学校に派遣されております学習チューターが、5 教科についての学習の指導及び助言を行い、学習習慣の確立や基礎学力の定着とともに、生徒の学習上のつまづきを解消し、学習意欲の向上を図るということを目的としております。つくば市の中学校、義務教育学校に通う 7 年生から 9 年生の生徒を対象としております。

学習チューターに関しましては、大学生、大学院生、教育実習生、並びに地域のボランティアの方々でお願いしているところでございます。補助事業でもございますので、利用の状況を踏まえながら拡充できるかどうかということを検討していきたいと考えておりますけれども、予算のほうにも書いてありますが、各市町村、全国的なレベルで地域未来塾に関する要望が非常に高く、国の補助が今年も 24.19%削減されるということで、国、県 3 分の 1 ずつの補助ですけれども、そういったところでは一般財源持ち出しということが関わってきてしまうということになります。昨年同様、今年度も実施をしてみたいと考えておりまして、7 月末現在で学習チューターさん登録 97 名、各学校での総時間が 984 時間で、16 校で実施をしていきたいと考えております。

なお、多少コロナ禍の影響がございまして、学生の集まりが十分ではなかつ

たのですが、二次募集等も図らせていただきまして、何とか実施できる環境には整ってきているかなと考えております。毎年、先程も話がありましたけれども、ボランティアの募集を 5 月に実施をしていたところですが、それができていないというところで、なかなか確保することが難しかったかなと考えております。

教育局（総合教育研究所） 続きまして、学習者用貸出端末事業についてです。プラン掲載項目は「学習支援」となります。

事業概要ですが、休校中や家庭での学習支援を行うために、インターネット環境のない家庭に貸し出すための端末とルーターを、国の G I G A スクール構想の 1 人 1 台端末の前倒しで準備をさせていただきました。全家庭にインターネット環境の調査アンケートをしまして、貸出対象家庭を割り出しました。6 月下旬から貸出を始めているところです。

貸出対象者につきましては、次のページに（１）から（６）まで書かせていただいているところです。貸出状況につきましては、令和 2 年 7 月 31 日現在で端末のほうは 343 台、ルーターのほうは 220 台ほど貸し出しているところです。教育局（学び推進課） 続きまして、学校生活総合質問調査、i - c h e c k、先ほども御質問あって一部お答えしたのですけれども、こちらについての説明をさせていただきます。

こちら昨年度からの事業となります。質問紙を使いまして、非認知能力だけではなくののですけれども、学習習慣、生活習慣等を見取るということで実施しております。昨年度は 6 年生、9 年生は対象になっておりませんでした。全国学力・学習調査の質問紙のほうをこちらに代えるということで実施していたのですが、学学調査のほうの質問紙の内容と大分ずれがあって、なかなかデータベースをつくるのにはうまくいかないというところがありまして、今年度は 6 年生、9 年生も含めて 4 年生から 9 年生で実施ということで拡充をしております。



こちらで出たデータは、先程もお話したように、子どもたちや保護者へ返すだけではなくて、データベースみまもりのほうの基礎データとして利用したり、あるいは学級づくり等、対人ストレス、ソーシャルスキル、こういうところにも活用しております。

それから、教育局のほうで参考ということで資料を一部お付けいたしました。令和2年度つくば市不登校児童生徒学習支援事業実施要項ということで付けています。10月から始まる実証実験で、この8月にプロポーザルを行いまして協働事業者を選定していくという事業になります。主な対象として不登校児童ということになりますので、必ずしも経済的支援が必要なお子さんだけではないのですけれども、そこも含めてということで実証実験を行っていく予定であります。

現在、つくば市では教育相談センターがあって、不登校児童生徒、それから御家庭の教育相談等を受けているのですけれども、場所的に筑波山の麓の沼田地区にありまして、非常に環境はいいのですが、やはりつくば市内広いのでなかなか通い切れないお子さんもいらっしゃる。そういうお子さんを救っていききたいというのと、今現在、教育相談センターでは、全部の部分で対応できない難しい部分なんかもあります。特に発達障害が疑われるようなお子様、最近多くなってきていますが、なかなか対応のほうが難しいということで、逆に民間でそういうノウハウを持っているところと協働事業を行うことによりまして、そのノウハウを市の教育のほうに生かしていこうということで、10月から実証実験を行っていく予定です。また、実証実験の成果が出てきましたら報告していきたいと思います。

教育局（生涯学習推進課） 先ほどお話が途切れてしまったのですけれども、青少年居場所事業ということで実施している「この指と一まれ！」事業を御紹介させていただきたいと思います。

現在、青少年居場所事業という形で、7か所の地域交流センターで実施をし

ております。対象が中学生から高校生ということで、平成 26 年 2 月にスタートさせていただいて、平成 28 年度に吾妻交流センターを加えた 7 か所で実施しております。

毎週決まった曜日 1 日を決めまして、中高生に集まっていただきまして、主に自主学習の場という形でやっているところです。今までどうしても自主学習に留まっていたので、生涯学習推進課が 3 年前に教育局に入りましたので、せっかく集まっている子どもたちを次のステップへ結びつけたいということで、健全育成というところもあるのですが、社会力の育成という大きなビジョンを掲げまして、子どもたちが少しでもお互いにコミュニケーションを取りながら、自尊感情、自己肯定感、そういったものを持てる何か事業を実施したいということで、「この指と一まれ！」という事業を始めております。子どもたちが自分で何かやりたい、企画したい、何かしたいよということを掲げてもらって、それに援助をしていく。いろいろなかたちで、大人だけではなくて子ども同士の交流もそこには生まれるのですけれども、そういった事業を取り組みながらお互いに高めていきましょう、自己満足を自己肯定感へ結びつけていこうというような事業を実施しております。数は少ないのでありますけれども、全体的な事業として、そういった子どもたちに発表する場を設け実施しております。

今年度、7 月中ですが、各中高生にアンケートを取らせていただきました。つくば市全ての学校、中学校、義務教育学校、それから高等学校等にアンケートを取らせていただいて、まず、この事業を皆さん知っていますか、青少年の居場所づくりを交流センターで実施しているのを知っていますか、みんなは何をやりたいですか、どんなことを企画したいですか、などアンケートを取っております。まだ集計が終わっていないので、終わり次第公表していければと思いますが、そういった中で皆さんが何をやりたいのかというのを参考にしながら膨らませていける活動を実施しているところでございます。

藤田座長 ありがとうございます。それでは、今の教育局からの御説明につき

ましての御質問を受けたいと思います。お願いいたします。

はい、お願いいたします。

かさい委員 今お話を聞きました中高生の社会力を深めるための青少年の居場所事業なのですが、これは子どもたちが企画を立てた場合、予算が出た場合の予算はどのようにつけていらっしゃるのでしょうか。

教育局（生涯学習推進課） 生涯学習推進課の予算を活用させていただいています。極端に予算が出るというかたちは今までないので、できる範囲のことで何をやっていこうかという協議を重ねながら、例えばダンスをやりたいという場合ですと、その会場を確保するというは我々にできます。ただダンスだけじゃなくて、いろいろな人たちとコラボしてやりましょうというようなかたちで企画をみんなで作っていきながら実施をしているところです。

かさい委員 分かりました。これを見て思ったのですけれども、今こういう時代で、社会力を高めるために予算も自分たち中高生がつくっていくところまでをもし支援できたら、すごく子どもたちが伸びると思うんですね。企画を立てて、例えばつくば市限定でクラウドファンディングを子どもたちがしていって、市民だけに企画を公表していくみたいな、そういうアイディアを取り入れる等いかがでしょうかね。

教育局（生涯学習推進課） 検討したいと思います。自分たちがこういうのはぜひお金をかけてやりたいというのがあれば、そういうのは効果的だと考えています。御協力よろしくお願いいたします。

藤田座長 かさいさん、よろしいですか。ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。御質問ございますでしょうか。

それでは、また後でまとめて御意見いただくところもございますので、先に進めさせていただけたらと思います。

こども部から御説明いただきます。お願いいたします。

こども部（こども育成課） こども部こども育成課です。教育局からの続きで、

参考資料教育局と書いてあるつづりのその次、令和 2 年度事業つくば市こども未来プラン、右上に「こども部」と書いてあるところで、その上の表、「放課後子供教室」での学習支援について、こども育成課から説明させていただきます。

平成 30 年度の秀峰筑波義務教育学校での放課後子供教室の定期開催に加えて、昨年度から、学園の森とみどりの学園児童クラブ施設内の専用スペースにおいて、放課後子供教室の定期開催の一環として、それぞれ週 1 回の学習支援を開始しました。もともと各教室 30 名程度の参加人数を想定していましたが、好評につき各 50 名程度常時参加していたことから、本年度予算においては、それぞれ学習支援従事スタッフを 3 名から 4 名に増やす予算拡充を図りました。学習支援については、当初 4 月中からの実施予定でしたが、今年度につきましては新型コロナウイルス感染症の影響で 6 月 10 日からの実施となりました。これらこども育成課での実施の学習支援内容につきましては、放課後子供教室の一環として、主に学校の宿題サポートという形態を取っております。

ここで、放課後子供教室という事業全体の説明をさせていただきますと、放課後子供教室は放課後に様々な遊び、学習、体験活動、スポーツや文化体験など児童に提供するものとなっており、昨年度全小学校で市内 34 校を対象として 400 回を超える開催をしております。

例えば昨年度ですと、ヨガ、新体操、護身術など体を動かすものであったり、音楽やマジックを鑑賞したり、手づくり工作や実験を行ったりなど、多種多様な体験等を提供しています。

その中でも、どこまでを学習支援とするかという観点は難しいかと思いますが、それは学習に直結するだけではないと考えております。昨年度の実績で申し上げますと、筑波山すぐろくで筑波山の自然について学んだり、東大の理学部の准教授をお招きして宇宙の始まりや人類の誕生、星の一生を学ぶことをしたり、霞ヶ浦環境科学センターの方をお招きして動物プランクトンあるいは植

物プランクトンの観察を行い、環境に優しい生活について考えてもらう、また、御当地キャラのソーランドラゴンによる国際協力入門、アジアのスラムで暮らす子どもたちをクイズや動画を使って紹介し、ソーランドラゴンを通して未使用の文具をアジアの子どもたちに届ける、あるいはガマの口上、図形の認識を深めるためのパズルを用いたクイズ、英語レクリエーションなども行っており、放課後子供教室ならではの学習を下支えし、児童に学習に興味を持ってもらい、可能性を広げてもらうようなメニューも提供したり、こうした少しアカデミックなものも新たに行いました。

こうしたものも学習支援に通ずるものと考えていますので、学習的で、つくば市の特色である科学や自然、地域の特色を生かした教室を、今年度さらにその割合を増やしていきたいと考えております。

こども部（こども政策課） 続きまして、資料のほうはその下の表になります。こども部こども政策課でございます。

つくば市高等職業訓練等促進給付金等事業になります。つくば市こども未来プランの概要のほうでは、左の下の部分、「保護者支援」に位置付けられています。困窮世帯の自立促進のためには、保護者の就業支援が重要であるということから、こちらに位置付けてございます。

この高等職業訓練促進給付金、聞き慣れない事業であると思いますので、内容のほうを御説明させていただきます。

事業概要のほうに記載してございますが、ひとり親家庭の父や母などが就職に有利で生活の安定に資する資格の取得のために養成機関で1年以上修学する場合に、その修学期間中の生活の負担軽減のために支給されるものでございます。対象資格はここに記載しているようなものになります。

給付金の種類、3種類ございます。一つは、修業期間中全期間に給付されます高等職業訓練促進給付金でございます。最後の12カ月、実習などにより負担が多くなるということで4万円が追加支給されまして、支給額は住民税非課税

## 様式第 1 号

世帯が月 10 万円、最後の 12 カ月は 14 万円、課税世帯が月 7 万 500 円で、最後の 12 カ月は 11 万 500 円でございます。

二つ目、高等職業訓練修業者支援給付金、こちらは市独自の上乗せの給付金で、昨年度から始まりました。先程申し上げました国の制度では、最後の 12 カ月に 4 万円上乗せがありますので、それ以外の期間について月 4 万円を追加給付するものでございます。課税状況による違いはありません。

三つ目、高等職業訓練修了支援給付金、養成機関のカリキュラムが修了した場合に 1 回のみ給付するもので、支給額は住民税非課税世帯が 5 万円、課税世帯が 2 万 5 千円でございます。

こども未来プランの目標としては、令和 5 年に受給者数を 30 人程度に増加するとしております。現状については、2 枚めくっていただきまして、つくば市高等職業訓練促進給付金等事業についてという一枚の表になっているものがあるかと思えます。そちらの一番上、給付金支給状況ですが、平成 30 年度は受給者数 11 件でした。令和元年度は 16 件ということで、約 1.5 倍に増えております。こちらが昨年始まった追加給付の効果なのかと考えております。

今年度 7 月末時点では、ただいま 12 件の受給者がおりますが、例年 10 月入学という方もいらっしゃいますので、そういう方に向けて相談を進めて今後増加が見込めるのではないかと考えています。

その受給者数を増加して資格取得者を増やすために、今年度はより周知活動に力を入れたいと思っております。例年窓口でのチラシ配布や行政機関への案内チラシの送付などのほかに、「広報つくば」にも今までは年 2 回程度でしたが、今年度は年 4 回の記事の掲載、また、児童扶養手当の現況届の通知に制度のチラシを同封して約 1,300 人へ配布をしております。また、ハローワーク土浦に制度チラシの配架依頼をしまして、相談者の増加につなげたいと思っております。説明は以上でございます。

藤田座長 ありがとうございます。ただいまのこども部からの御説明に関しま

## 様式第 1 号

して御質問お願いいたします。

いかがでしょうか。

では、私から非常に基本的なことを教えていただきたいのですが、今のつくば市の高等職業訓練促進給付金等の事業についてなんですけれども、一番最後の紙に表がございます。この読み方なのですが、例えば令和 2 年のところに米印がございます、その 12 件の内訳が、1 年目が 4 人、2 年目が 6 人、3 年目が 2 人というふうに読んでおけばよろしいということですか。

こども部（こども政策課）　そうです。令和 2 年度の受給者の 12 人の内訳ということでございます。

藤田座長　分かりました。ありがとうございます。その上の表に戻りますが、給付金の受け取りが 12 件あって、市独自の高等職業訓練修業者支援給付金のほうが 1 件ですが、この 12 と 1 の関係、随分開きがあるように見えるのですけれども、これは給付の際の基準が大きく違うのか。この 12 と 1 の関係をどう読めばいいのか教えていただいてよろしいでしょうか。

こども部（こども政策課）　ちょっと分かりにくい表で大変失礼いたしました。この 12 件、すなわち 12 人というのが支給を受けている方でございまして、そのうちの内数でございます。この支援給付金を受けている方は、そのうちお一人ということでございます。

藤田座長　ありがとうございます。先程御説明いただいた資料 2 の下のほうの表、上のほうの御説明資料でいきますと、市独自の 4 万円というのが今の 1 件というところですよ。

こども部（こども政策課）　そのとおりでございます。

藤田座長　ということは、この 4 万円に対しては、お一人からしか御希望が出なかったという理解をすればよろしいわけですか。

こども部（こども政策課）　実は、市のほうのこの追加給付につきましては、通信制の講座を受けている方は対象外になっておりまして、今年度は通信でや

っているという方が多かったので、こういうことになっております。

藤田座長 分かりました。ありがとうございます。よく理解できました。

ほかに御質問事項ございませんか。

今、次第の大きな 6 番の（１）（２）（３）というふうにやってきたわけですが、これから新型コロナウイルスに関して、また支援事業に関して御説明いただくとするのですが、この次第の 6 番の（１）（２）（３）まとめて何か御質問等、先程忘れたことがあるかもしれません。もしございましたらいただきます。よろしいですか。

それでは、次第の 6 の（４）に参りまして、新型コロナウイルス禍さにおける支援状況についての御説明をいただきたいと思います。また、先ほどと同じように保健福祉部からの御説明をお願いいたします。

保健福祉部（こども未来室） 保健福祉部のこども未来室です。臨時休校中の食の支援について御説明をさせていただきます。資料につきましては 3 ということで、一番初回のページになります。

臨時休校中の食の支援につきましては、冒頭、毛塚副市長からもお話があったと思いますが、新型コロナウイルスの感染によって臨時休校で給食がなくなってしまったことによって、家庭の経済的な理由で昼食を取ることができない小中学生に対して、今年 4 月 13 日（月）から 6 月 5 日の 39 日間、延べ 5,985 人分の食の支援を実施という形で行って来ました。

この延べ人数 5,985 人というのが少し分かりにくいと思いますが、当初 4 月 13 日から実施できるように、その前の週から事前に周知等を図りまして、電話等の募集もかけまして、実際申込みを募りました。当初は 100 人程度の希望、登録の方がいたのですが、最終的には 189 人の登録までいきまして、その延べ人数が 5,985 人分の食の支援というかたちでつながっております。

対象につきましては資料のとおりですが、臨時休校で給食がなくなったことによって、家庭の経済的な理由、保護者の失業等により昼食を取ることができ



## 様式第 1 号

ない子ども、小学生、中学生を対象として実施をさせていただきました。

内容につきましては、幾つか段階を踏まえて少しずつ食の支援の内容が変わっております。当初につきましては、臨時休校で給食ができないので軽食、軽食と書いてあるのは惣菜パンであったり、サンドイッチ、そういったものがメインですが、指定された日時、場所で配布をさせていただいて、月曜日は3日分を、木曜日に2日分を配布ということで、土日祝日を除いた週5日分をまずは4月13日から5月6日まで実施させていただきました。

その後5月7日から5月29日につきましては、栄養面等も考えなくてはいけないということも出てきて、弁当を毎日配布というかたちで変更して実施をしております。さらに、お弁当だけでは少し事足らないかというところもありましたので、月曜日の配布のときにはロングライフパンという賞味期限が2週間とか3週間あるようなパンを追加して配布をさせていただきました。

最後、つくば市においては6月1日より分散登校が始まったことによって、給食開始までの6月1日から6月5日までの5日部分については、毎日配布というのが難しいこともありまして、その5日分の食料というかたちで、レトルト食品、例えばカレーであったり牛丼であったりのレトルト、それからレンジでチンして食べるような御飯、それから主食だけではということで、例えばゼリー類といったおやつのもものも入れさせていただきながら、5日分の食料をまとめて配布をさせていただいて、延べ5,985人分の食の支援を実施したような状況になっております。

費用については、もちろん一切お金のほうは取ってはおりません。この予算につきましては、今回のコロナ対策として食料費264万8千円、うち青い羽根基金から100万円を充当してこの事業を実施させていただきました。

資料の次になります。アンケートを今回作成しております。こちらのアンケート、何枚かにまたがっていて、今日は時間の都合上簡単にしか説明できないのですが、アンケートの内容としましては、今回、最終的に5月4日に実施し

たのですが、そのときにいただいたほぼ 100 名の回答を記載させていただいております。

内容等につきましては、性別と各学校区分、それからきょうだいがいるかいなか、学年は何年、それからその内容が変わってきました。毎日のお弁当がよかったか、または軽食がよかったかという質問にも答えていただいている内容になっています。

その後につきましては、支援をさせていただいたお子様、または保護者の方からの意見がずっと並んでいる状況であります。こちらにつきましては、大半は皆さん好意的な意見、おいしかったとか、本当に助かりましたという御意見が多数を占めておりますが、その中でもこれはというのが幾つかあって、例えば食べたものが子ども向きじゃなかったとか、味が好みじゃなかったという意見、あとは飲み物、例えば牛乳とかも欲しかったという意見も上がっております。

ちなみに、牛乳、こちらの意見も当初から上がっていましたので検討はしたのですが、大変傷みやすい食材になるということで、残念ながら牛乳の配布はすることができず、その代わりにジュースであったり清涼飲料水を配布するという形で食の支援のほうは実施させていただきました。簡単であります、以上になります。

藤田座長 今回の食の支援に関しましての御質問ございますか。

はい、お願いいたします。

長橋委員 市P連の長橋です。概要のところに、就学援助や生活保護の対象になっている1～9年生の児童生徒が1,219人と書いてあるのですが、食の支援を受けた子どもが189名ということで、大分離れている気がするのですが、その辺りはどうでしょうか。

保健福祉部（こども未来室） こども未来室です。こちらの人数に関してなん

ですが、青い羽根学習会に通っているお子さんに関しては、事業者を通して案内なりをしております。そのほかには、市のホームページや SNS 等でお知らせという形になっております。

児童クラブに行っているお子さんに対しては、やはり差別のおそれがあるということで対象外としておりますので、全てにおいて行き渡ったのかと言われると、何ともお答え難いのですが、あとは就学援助を受けていなくても、今コロナで職がなくなってとても苦しい思いをしているという電話を受けた場合には、昨年度の親御さんの収入を問わずに支援等はしております。

長橋委員 気になる点が、居場所のところでしたか、そこで言えばよかったのですが、家庭の支援が得られなくて公的支援が必要だという子どもがいるということなのですが、そういった子どもに関しては、親からの SOS が出ない可能性があると思うのですが、その辺りしっかり追っていかなくちゃいけないのかなと思うのですが、どうでしょうか。

保健福祉部（こども未来室） 今回の食の支援に関しては、子育て相談室のほうにつながっているお子さんがかなり利用していただきまして、親からの SOS がなかなか出づらな家庭に対して支援できたのかなと、そこはかなり関わられたかと思っております。

藤田座長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

それでは、教育部から御説明を加えていただきまして、先に進めていきたいと思います。お願いいたします。

教育局（学務課） 学務課です。よろしくお願いいたします。子育て世帯応援給付金、就学援助金についてということでございます。

事業概要でございますが、新型コロナウイルスの影響を考慮し、令和元年度の準要保護認定世帯のうち、令和 2 年 5 月 12 日時点において、つくば市住民基本台帳に登録されている児童生徒がつくば市立小学校、中学校、義務教育学校及び県立並木中等教育学校に在籍している世帯に 3 万円を支給するというもの

でございます。対象世帯数が 400 世帯、事業の流れにつきましては、こちらに記載のとおりで、7 月 10 日児童扶養手当の支給日と同じ日に振込を実施させていただきます。

今後の支援につきましては、令和 2 年 9 月末までに令和 2 年度就学援助世帯及び新型コロナウイルスの影響で家計が急変した世帯に対し、子育て世帯応援給付金として 1 世帯当たり 3 万円を追加で支援していくということで予定しております。

また、新型コロナウイルスの影響で家計が急変し就学援助認定基準に該当する世帯に対し、家計急変世帯支給給付金として就学援助相当額を支給する予定で、今、事務のほうを進めているところでございます。簡単ですが、以上でございます。

藤田座長 ありがとうございます。ただいまの子育て世帯応援給付金につきましていかがでしょうか。御質問ございませんか。

では、私から非常に基本的なことで恐縮です。今後の支援なのですが、新型コロナウイルスの影響で家計が急変した世帯というのは、申告制というか、お手を挙げていただくかたちになるのか、それとも何らかの基準をもって指定をして給付していくのか、どちらの方策になるか教えてください。

教育局（学務課） 学務課です。基準は作らせていただきまして、こちらで御案内させていただいた皆さんから申請をしていただいて、その基準の中で判断させていただくということで検討しております。

藤田座長 ということは、対象になる世帯に対しての個別の説明がまず入るわけですね。

教育局（学務課） 現在、学校のほうにはお手間になってしまうのですが、学校を經由させていただいて、全部の世帯に行き渡るように今進めているところです。

藤田座長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、こども部からの御説明をお願いいたします。

こども部（こども政策課） こども部こども政策課でございます。私のほうからは、最後の資料になりますが、A 4 横の表を御覧ください。こちらは、今回の新型コロナウイルスの影響を考慮して子育て世帯への生活支援のものを一覧にしたものでございます。

今、学務課から説明がありましたのは、この右側の一番上、つくば市独自の支援策ということで子育て世帯応援給付金、今説明があったのが準要保護世帯ということでしたが、児童扶養手当の 5 月分の受給世帯約 1,350 世帯に 1 世帯当たり 3 万円、同じ 7 月 10 日に振込ということで支給しています。

そのままつくば市独自の支援策のほうへ行きますと、そのほかに市民生活応援物産事業者支援事業ということで、就学援助世帯に市内の物産品 3 千円相当を配送するという事業がございます。こちらは 7 月末までの申込みで、市内出身の県外学生なども含んだ数字ですが、約 680 件ほど申込みがあったと聞いております。

その下が、市民生活応援商品券の発行ということで、18 歳以下の市民約 4 万 6 千人に 1 人あたり 5 千円分の商品券を郵送しております。こちらは 70 歳以上と障害のある方も含んで、全部で約 8 万 7 千人ほどへの郵送になります。

左側は国の支援策ということで、子育て世帯臨時特別給付金、児童手当を受給している世帯に児童 1 人あたり 1 万円、それとひとり親世帯臨時特別給付金ということで、児童扶養手当を受給している世帯に 1 世帯当たり 5 万円、第 2 子以降 1 人 3 万円、また公的年金などを受給しているために児童扶養手当の支給がされていない世帯、また今回の新型コロナウイルスの感染症の影響によって家計が急変した世帯などに 1 世帯あたり 5 万円、第 2 子以降 3 万円というものが支給されます。また、追加給付として、上記の 2 のうち、収入が減少したという世帯には 1 世帯当たり 5 万円の追加が行われます。約 1,900 世帯ほどを見込んでおります。説明は以上になります。

様式第 1 号

藤田座長 ありがとうございます。様々な給付につきまして御説明いただきました。御質問等ございますか。

お願いいたします。

長橋委員 市P連の長橋です。先ほどのアンケートのところに、きょうだい何人いますかというところがあって、5人以上2人とか、食事をもらいに来た子の中にも結構きょうだいが多い人が多いのですけれども、そういったことを踏まえると、つくば市独自の支援が世帯あたりになっているのがちょっと気になっていて、例えば子ども5人いたら世帯当たり3万円だと1人6千円ぐらいになってしまうのですけれども、一番下の市民生活応援事業というのはかなり広い範囲の方に送られると思うのですが、こちらは1人あたりになっていて、困っているような子育て支援のほうが世帯になっているのはなぜかお伺いしたいのですけれども、よろしいでしょうか。

藤田座長 いかがでしょうか。

こども部（こども政策課） つくば市独自の支援策の対象者が児童扶養手当の受給世帯ということですが、国のほうの支援策でひとり親世帯への給付金は1世帯当たり5万円のほかに第2子以降3万円というのがございますので、国のほうの施策でお子さんの数の多い家庭については網羅できるのかなとは思っております。

藤田座長 長橋さんいかがですか。

長橋委員 ありがとうございます。そうだと思うのですが、つくば市としても1人あたりの金額を増やしていったほうが手厚くできるのかなと思うので、今後コロナがどういうふうに進んでいくか分からないのですけれども、またこの状況が変わって新しい給付を考えるときは、1人あたりということで考えていただけるとありがたいかなと思いますので、よろしくをお願いいたします。

藤田座長 ほかにこの給付金に関しまして御質問ございませんか。

それでは、ただいまの次第の6番、（1）から（4）全体につきまして、何

かお忘れの点、あるいは新たにお気づきになった点、御質問等ございましたら  
お願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、次第の7番に参ります。意見交換でございますが、ここでは、つくば市こども未来プランに関連いたしまして、充実改善が必要な事業について、あるいはその他つくば市の取組について、皆様方の御意見を広くいただきたい  
と思っております。ですから、個別の点に関しておっしゃっていただくのも結構  
ですし、お感じになっていらっしゃることも含めまして、様々な御意見を賜りたい  
と思います。時間が3時半で終了したいと思いますので、それぞれ御協力  
たまわりたいと思いますので、お願いいたします。どなたからでも結構です。

池田さんお願いします。

池田委員 市民委員の池田です。私からは、青い羽根学習支援事業の効果測定  
について意見と質問をさせていただきたいと思います。

私が知る限りでは、青い羽根学習会における調査は2種類あると思っていま  
す。一つは学習会が実施されるたびに児童生徒に回答を求める調査票、もう一  
つは恐らくつくば市さんが実施している児童生徒と保護者様に回答を求める調  
査票だと思います。もしかしたらつくば市さんのほうでは把握されていない調  
査票なのかもしれませんが、まずは前者の毎回の調査についての感想です。

子どもたちにとって、学習会に来るたびに調査に回答をするのは非常に面倒  
くさそうであります。調査の頻度が多過ぎると、子どもたち目線で考えてみる  
と、大人たちに管理されているような気分になってしまうので、これはやめた  
ほうがいいのかなと思っています。

質問項目も、多分なんですけれども、ちょっと見ただけなので。「勉強が分  
かるようになった」など直接的な表現になっていて、これは勉強が分かるよう  
になったと回答しなければならないみたいな要求特性が働いてしまったり、一  
つの項目で勉強に対する姿勢を測定してしまうことによって、かなり大きな誤  
差が生じてしまうと考えられるために望ましくないかと思います。

次に、後者のつくば市さんが実施している調査票についてなんですけれども、前年度のこの会の議事録を拝見させていただいたところ、最初と最後に子どもと保護者に対してアンケートを取っていて、そこで自己肯定感を見ているとの記録がありました。この自己肯定感というものさしはどのように決定したのか、どのように質問項目を作成したのかという点と、前年度の効果測定の結果はどのようなになっているのかについて改めてお尋ねしたいと思うのですが、先に私の意見を全てお伝えします。

やはり私としては、ほかに使用すべき質問項目はあると思っていて、本来であれば全ての設問に根拠となる複数の先行研究があって、その先行研究と文言も完全に一致していなければ一体何を測っているか分からなくなってしまう。そういった項目を調査の継続性を理由に使用をし続けたところで、何かよく分からない項目の経年変化にしかないわけです。

例えば自己肯定感を測定するには、自己肯定感尺度というものがありまして、「自分なりの個性を大切にしている」だとか「自分の夢を叶えようと意欲に燃えている」などの項目から成り立っています。ほかにも、自尊感情を測定したいのであれば、ローゼンバーグ自尊感情尺度日本語版というものがありまして、「私は自分に満足している」だとか「私は少なくとも他人と同じぐらい価値のある人間だと思う」などの項目から成り立っています。こういった先行研究は多くの別の研究でも使用されているので、これを用いることによって、先行研究との結果の比較が初めて可能になると思います。

なぜこのような質問紙を使ったほうがいいのかというと、繰り返し測定しても安定した結果が得られるという信頼性と、本当に測定したい概念が測定できているという妥当性が予備的な研究の調査によって統計的に担保されているからです。

このように正確につくられたものさしで定量化しないと、ある数字とある数字の差に意義がないわけですね。例えば学習会でいうと、支援を受ける前の



数字と受けた後の数字にポジティブな差が認められたとしても、何かよく分からない項目の変化にしかすぎないわけですね。厳密に効果測定をするには、そもそも支援を受けていない同じ世帯所得の生徒にも同様の質問紙調査を実施すべきだと思います。少々専門的な言葉で言い換えると、支援を受けているのが介入群とすると、対になる比較対照群を設けるべきだということです。

単純に支援を受けている生徒だけを対象として調査して、ポジティブな効果、例えば自己肯定感の増加とか学力の向上が得られたとしても、支援によってそれらが向上したとは断定できないわけです。単に年月が過ぎたことによって、自己肯定感とか学力は変化し得るからです。

この場で話すだけでは、どうしても専門的な部分伝え切れないところもあると思いますし、質問票を探すというところで難しいところもあると思うので、どの測定指標を使うのかなどは、個人的に本格的に携わりたいと考えています。私からは以上です。

藤田座長 ありがとうございます。最後に個人的に積極的に関わってくださるという力強いコメントもあったわけですが、御担当の部局、特に保健福祉部になるかと思うのですが、何かお答えいただくような部分、あるいはコメントいただくような部分ございますか。

保健福祉部（こども未来室） こども未来室です。池田さんには、青い羽根学習会ではいつもお世話になり、ありがとうございます。

最初の話の毎回の調査に関しては、多分独自でやられているものだと思いますので、うちのほうには上がってきてないんですね。それを継続するかどうかに関しても、事業者と話し合いをしまして、いい点、悪い点あってやっていることだと思うので、一度事業者のほうとお話したいと思います。

後者に関しては、最初と最後にうちのほうで自己肯定感の尺度とかそういったことで質問紙を出しているのですが、やはりある程度同じような質問になってしまうので、今後、質問紙をつくる場合には、池田さんとも相談してアドバ

イスいただきながらさせていただきたいなと思いますので、そのときは御協力  
よろしくお願いいたします。

藤田座長 ありがとうございます。池田さんいかがですか。

池田委員 途中で質問を挟んだのですが、去年のデータというのはどうなっ  
ているか、明らかになっていたりしますか。

保健福祉部（こども未来室） 教室ごとにはまとまっております。

池田委員 分かりました。ありがとうございます。

藤田座長 今の池田さんからの御指摘に関連してなんですけれども、今まさに  
御指摘あった、つくばこども青い羽根学習会のアンケートを毎回毎回なさって  
いるということ、これは事業者さんの御判断かもしれないですが、池田さんも  
御指摘ありましたように、履歴効果、毎回毎回やってしまうと質問に慣れが生  
じるということもありますし、また、質問の意図を解釈することによって素直  
な回答が出ないということもありますので、やはりそれは御検討いただいたほ  
うがいいなと思う反面、例えば先程の介入群、比較対照群の話ですけれども、  
これは教育局からの御説明資料の中で、先ほど i - c h e c k があったですよ  
ね、あれは4、5、6、7、8、9学年全員に実施しているので、これは比較  
対照群が十分そこにあって、その中でつくばこども青い羽根学習会に出てい  
た子たちはどういう回答の傾向が見られたのかということを抽出して分析する  
ことで随分担保ができますし、同じようなアンケートを繰り返しマウスのよう  
に人間を使うのはよくないので、なるべくでしたら調査票は少ないほうがいい  
ですし、今あるものを効率的に使うということが非常に重要ななと思いました。

同じように、「この指と一まれ！」の参加者分析なども、恐らく i - c h e  
c k で追っていく中で、「この指と一まれ！」に参加した子たちはどういう回  
答傾向が生まれたのか、そういう複層的なデータの使い方ということをお考え  
になると、アンケート漬けにはなりませんし、せっかくこの i - c h e c k が  
全員に対してやられているので、悉皆調査をうまく使っていくということも一

つのアイディアなのかなということを感じました。感想でございます。

ほかにかがででしょうか。

お願いいたします。

かさい委員 では、つくば市こども未来プランの 3 ページにある 5 番の希望者全員に高校進学、卒業、これが一つの安心できる居場所や学習支援のビジョンとなっている中で、私たちは実際に子どもの居場所、学習支援を何年かやってきて、いつもあることなのですが、高校進学率 100%ということがあるがために、私どもに来ている子どもたち、貧困、困窮世帯の子どもたちは、望まない学校に無理やり入れさせられることが多くて、それはやはり 100%進学を目指すというのがあると、実際は去年も一昨年も毎年いるんですね。行きたかったのに、おまえがそこへ行って落ちたら 100%でなくなるから 1 ランク下げろ、2 ランク下げろ、それでその学校は 100%達成したというふうに言っているわけですよ。

そういう子たちは、困窮者世帯に私たちが幾ら支援しても、その進学の段階でそこを断たれてしまって中途退学になってしまうんです。行きたい高校じゃないところに行かされるというところがありまして中途退学。

ここで思うのですけれども、目標を希望者の進学率 100%ではなくて、希望したとおりの進学をしたかどうかという調べ方とか、その子が望んだ進学をしたかということのほうがとても重要です。そしてその後その子たちが卒業はどれほどしたのかということのも追っていただければ、より安心できる居場所や学習支援の効果があり、環境が守られたんじゃないかという目指すところに近づくんじゃないかなと思うのですけれども、いかがでしょうかね。

藤田座長 ありがとうございます。今の御意見につきまして、お答えいただけるような部分ございましたらお願いいたします。

いかがでしょうか。もしあれば、特に御回答がないようであれば、御意見を承るということになるかと思うのですが、やはり高校受験、特に行きたい高校

ではないところに合格の実績だけを求めるというのは、本当に高度経済成長のうちからずっとそうで、特に「十五の春を泣かせない」というフレーズがありつつも、その裏では、結局は行きたい高校の受験すら許されなかったということもありますし、様々なそういう細やかなデータの取り方というか、支援の仕方ということは大変重要かなと思いました。ありがとうございます。

ほかに御意見ございますでしょうか。

お願いします。

副市長 御意見ありがとうございました。本当におっしゃるとおりだなと思いました。また、そのデータをどういうふうにするかということも大事だなと思ってしまして、ちょっとこれは学校とこっちの部局のほうで調査が必要だなと思ったのですが、そういうふうに希望した学校がちゃんと把握できて、それがちゃんと叶ったかというのが把握できるのかというのを含めて、今後の指標設定とかも検討していきたいと思っています。

今、こども未来プランは現行案で動いているわけなのですが、今後これの見直しなどの時期もありますので、そういったときにこの指標の見直しというのはぜひ検討していきたいと思います。ありがとうございました。

藤田座長 ほかに御意見お願いいたします。時間があと20分ちょっとしかないので、せっかくいらしていただいたので、ぜひ御意見賜りたいと思います。

どうぞお願いいたします。

長橋委員 市P連の長橋です。ちょっとこの事業と離れてしまうかもしれないのですが、不登校のお子さんを持つ方とお話したことがあって、それを紹介したいと思います。

その方、筑波のほうの教育相談センターにも行かれているようで、僕のほうからは「学校に行けなくてもセンターに行けるならいいんじゃない」というふうに言ったのですけれども、親御さんもお子さんも実は学校に行きたいんだと。ただ、その学校の先生も同じことを言っていて、「教育相談センターに行けれ

## 様式第1号

ばいいじゃないか」ということで、それで良しとされているところが不満だということを私に言ってきました、僕自身もそれを聞いてハッと思ったのですが、最終目標は学校へ行きたいという子どもも中にはいるんだというところで支援をしていっていただきたいなと。センターをつくっていただくのは非常にありがたいことだと思うのですが、中には最終目標は学校に行けることという親御さん、お子さんがいらっしゃるということを御紹介したくてお話ししました。

藤田座長 ありがとうございます。今の不登校の問題というのは非常に長年の課題で、登校刺激という言い方もあるくらいで、それをどう提供するのかということに関しては議論が随分あったと思うのですが、やはり一人一人のニーズを踏まえるというふうな今の御指摘、非常に重要かと思いました。もしお答えいただけるような部分がありましたら承りたいと思うのですが、ございますか。

お願いいたします。

教育局（学び推進課） 学び推進課になります。教育相談センターのほうなのですが、教育機会確保法のほうで学校へ復帰というのだけを目的にしていない状況なので、その辺で保護者の方とセンターのほうのやり取りがうまくいってなかったのかなという感じは受けながら聞かせていただきました。その辺は、センターのほうでもうちょっと検討しながら進めていきたいと思います。

藤田座長 ありがとうございます。長橋さんよろしいですか。

長橋委員 僕もその辺りいろいろセンターのこととか調べて思ったのですが、やはりコミュニケーションは大切だなと。その親御さんもだんだん面倒くさくなっているという感じなので、結構そういうのは時間がかかると思うのですが、根気強くやっていただければと思います。よろしくお願いします。

藤田座長 ほかの委員の皆様、いかがでしょうか。ぜひ御意見お願いいたします。

横山先生、お願いします。

横山委員 学園の森の横山でございます。今、不登校の話が出ましたが、学校現場としても非常にそれは大きな課題だと受け止めています。子どもさん一人一人それぞれケース・バイ・ケースなので、一概に同じ方向に無理やり進めるということはしないように心がけています。

スクールカウンセラーさんも学校におりまして、その方たちからも専門的な立場で助言をいただいたり、親御さんの希望であったり、本人の希望ももちろん聞くわけですが、なかなか本人もどうしていいか本人自体が決めかねているというのが現状です。私たちもできるだけ、一律に学校に戻すというのではなくて、その子が将来的にどのように社会と関わっていくことが一番いいのか、そういうところにゴールを置いて丁寧に日々相談をしているところです。それぞれの子どもが自分の可能性に向かってしっかりと歩んでいけるように、学校も頑張っていきたいと思っています。

藤田座長 ありがとうございます。今、校長先生から御意見いただいたわけですが、大関先生いかがですか。何かございますか。

大関委員 高校で、良かった例としましては、放課後登校やっていた女の子がいたのですが、コロナのこの時期もありまして、給食時に保健室登校というかたちになって、一つグレードが上がったではないのですが、良かった例として、結果的には6月中旬から7月にかけて、お昼の時間帯なのですが、午前中登校ができて、一歩前進したかなという例が最近の良き例としてあります。

藤田座長 ありがとうございます。主任児童委員の立場から、大久保さん、いかがでしょうか、何か御意見ございますでしょうか。

大久保委員 臨時休校になって給食がないとき、軽食を配布したのはつくば市の大英断だったと思います。そういう判断をやっていただいて非常に良かったな、つくば市は偉いなと、そう思った次第です。

意外と、一見して華やかな、テレビなんか見ていると本当に飽食の時代で、

そういう貧しいのがあるのかなと思っちゃうんですけれども、実際はあるんですよね。だから、すごくつくば市のその判断が良かったかなと思っておりますので、こういう懇談会、大事にしたいと思います。

藤田座長 ありがとうございます。中山さんいかがですか。

中山委員 私、資料を送っていただいて拝見させていただいて、今まで本当に仕事仕事でずっと来てしまって、例えば市報をゆっくり見るとか、市のホームページをじっくり見るという時間が全くないような生活をずっとしてきましたので、こんなにたくさんの方のことをされていたんだなということに感動しました。

特にコロナ禍での給食というか、お弁当とかパンとかの配布に関しては、本当に保護者の方は助かったと思います。実際そう思います。私もその時期はまだ勤めておりましたので、お昼の準備をするのが大変というお声はたくさんお聞きしていましたし、あと子どもたちだけで置くのが心配という方とか、学童のほうもなるべくお家のほうでというお話があったようで、こういう話は、保護者さんからうちの職場の仲間からも全く入ってこなかったもので、こういうこともしていただいていたんだなということで、本当につくば市さんの判断、英断に感激するところです。

みんなの食堂のほうも、実際、私、行ったこともないのですが、昨年度の実績で何名ぐらいの方が利用されたのかお聞きしたいなと思います。お願いいたします。

藤田座長 みんなの食堂に関しまして、利用実績についてお願いいたします。

保健福祉部（こども未来室、） こども未来室です。みんなの食堂の実数、すみません、今日報告書を手元に置いてないもので詳しい数字は分からないのですが、大抵皆さん、月 1 回やっているところと週 1 回程度やっているところとそれぞれで、今、多いところだと、例えば竹園土曜ひろばさんは、コロナの前ですと 1 回あたり 70 人から 80 人来ていたり、マナーズさんもつくばで一番老舗の団体さんですけれども、大抵 30 人から 40 人程度来ていたという

のを報告受けていました。次回までに御報告できるよう確認しておきます。

藤田座長 ありがとうございます。中山さんいかがですか。

中山委員 ありがとうございます。こんなに使っていらっしゃる方いるんだと本当に思いました。職場に勤めていたときには、帰りが遅くて、夕食何にしようという感じの方もいらっしゃって、どうしてもコンビニ弁当とかになってしまうところもあったかと思うのですが、その中で利用したという方のお話を聞いて、今日はそこへ行こうと言って帰っていかれる姿を見て、ああ、良かったと本当に思いました。ありがとうございます。

藤田座長 私も中山さんと一緒に、こども未来懇話会に参加させていただく前は何も知らなかったんですね。でも、ここに来ると、つくば市民で良かったと本当に思いますね。それは私も同感です。そう思います。

ほかにいかがでしょうか。御意見ぜひたまわりたいと思います。あと10分ちょっとでございます。

では、私のほうからの全体の感想なのですが、毎回私同じようなこと、全然進歩がなくて申し訳ないのですけれども、いつも私が言っているのは、目標という欄なんですね。目標というのもずっと見させていただくと、横文字になってしまうのですが、アウトカムとアウトプットの視点で見ると、何々をする、何々の充実を図る、拡充をする、これをしますよというアウトプットは書いてあるんですが、アウトカムがあまりないなという印象を常に持ちます。

アウトカムを書くための調査というのはもちろん必要なのですが、先程まさに池田さんおっしゃったように、調査すればいいのかというと、すればいいというわけでもないのが難しいところなのですが、ただ、事業をするときにその事業の拡充というのは、やはり目標があって、こういうゴールを達成したいからやるんですよということになるはずなので、その達成すべき目当てというか、目標というか、それがどの程度達成したのかということがきちんとPDCAサイクルが回らないといけないと思うのですが、なかなかこの一覧表の中にはそ



れが書き込まれていないなという印象が全般的にはありました。

例えば先程の i - c h e c k ですけれども、使い方はいろいろあるんじゃないかなと思いました。例えば4年生から9年生まで悉皆でなさっているとするならば、例えばアラート指標をつくって、そのアラート指標にかかってくるような子が出てきた場合に細やかなカウンセリングを提供したり、そういうこともできるでしょうし、それから教育局さんのたまたま同じページにあるのですけれども、学習者用の貸出の端末なのですが、こういう貸出をしたことによってオンラインの授業がスムーズに受けられたよという回答率が上がったとか、あるいは提供する側の先生方の提供がしやすくなったとか、そういうふうなものでもいいと思うんですね。やはりと何らかの目標をきちんと作って、アウトカムを議論できるような体制というのを徹底していかないと、事業を拡充するための事業になってしまうと、それはPDCAサイクル回らなくなってしまうし、市民に対する説明責任も問われなくなってしまうので、そのところはもうちょっと意識をしてこの目標というのを書きいただけるといいなと、漠とした感想ですが、持ちました。

あと5分くらいは時間取れるのではないかと思います、皆様いかがでしょうか。せっかくお集まりですし、次の機会が何といても年が明けて来年ですので、ここで言い残してしまうともったいない感じがしますので、ぜひ御意見いかがでしょうか。

お願いします。

長橋委員 市P連の長橋です。事業いっぱい書いてあるんですけども、細かく書いてあって素人には分かりづらくて、これがどのように連携して、どのように機能しているかということを、概要には書いてあるのかもしれないですが、もう少し横の連携の部分について説明が欲しいかなと思ったので、次回で構わないので、その横の連携について少し説明していただけるとありがたいと思いました。

藤田座長 このプラン自体が横の連携を非常に重要視していらっしゃるということは御説明あったわけですが、それが一般市民からよく見えるようにどう提示していくのかということも含めての御意見かと思うのですけれども、方向性につきまして何かお答えいただけるようなことございますか。

保健福祉部（こども未来室） こども未来室です。貧困対策にしろ、こども未来室だけではもちろんできない事業であって、保健福祉部と学校関係の教育局、あとひとり親世帯を受け持っているこども部と連携してこども未来プランを作成しまして、食の支援に関してもその 3 部局で連携して必要な子に届けるということで行っております。このプランについても、この横の連携がなくては全てできないような事業になっておりますので、今後説明するときにはそういったことをもうちょっと詳しく説明できるように用意したいと思います。

藤田座長 ありがとうございます。先程中山さんからも御意見いただきましたように、私たちのようにこういう場を与えていただくといろいろなことが知れるのですが、市民の方々はなかなか全体像が見えないというか、それはもったいないことだと思うんですね。これからクラウドファンディングをしていくにしろ何にしろ、存在を知っていただくことは非常に重要だと思いますので、ぜひそういった分かりやすさを持った情報提供をしていただきたいと思います。

ほかにいかがでしょうか。お願いいたします。

かさい委員 希望でもよろしいですか。今、みんなの食堂ということで、これを見て、本当につくば市はうらやましいなと思うところがたくさんあって、ルーターや端末の貸出、本当にうらやましいです。私たちが貧困の子どもを支援するときに、いつもそこがとても困っているところです。

それで、一つもし希望あれば、せっかく食堂の支援、目標 10 団体とありますが、ここの目標 10 団体ではなくて、「誰でもおいでよ、いつでもみんなの食堂」みたいに「いつでも」がつくような未来になっていただけたら、要は 10 団体で

月 10 日に 1 回やれば、30 日全部できるわけですね。そうすると、いつもどこかで開催している食堂があるというのは、やはりつくば市は画期的だなと思って、これを見ると、土曜日の方が多かったりすると「いつでも」じゃなくなってしまう。なので、10 団体が 10 日に 1 回やってくれるような募集の仕方をして、30 日いつもどこかで誰かがご飯が食べられるというのがあると、とてもすてきだなと思ったんです。なかなか難しい課題ですが、そのような希望があると嬉しいなと思いました。

藤田座長 ありがとうございます。そういう希望を語るところが重要なので、希望を語らないと実現もしませんので、とてもありがたい御意見だと思いました。

何か今の御意見につきまして、内部でのお話し合いの方向性など、もしありましたら御提供お願いいたします。

保健福祉部（こども未来室） こども未来室としましても、やってくださるような方々とか団体にお声がけは随時しているのですけれども、なかなか難しいところもありまして、ただ、目標的には、かさいさんが言ったようなかたちを取れるのが一番だと思っていますので、頑張っていきたいと思います。かさいさんは大先輩でありますので、うちのほうに情報提供等またよろしくお願ひしたいと思います。ありがとうございます。

藤田座長 それでは、大体時間も参ったようですので、この辺りで私の任務を終えさせていただきまして、司会進行のほうに返したいと思います。皆様ありがとうございます。

事務局 たくさんの貴重な御意見ありがとうございました。最後に、その他としまして事務局からお知らせがございます。

事務局 事務局です。長時間の懇話会御審議ありがとうございました。もう一度念のため、会議の冒頭、途中でも説明しましたが、次回の懇話会、第 2 回目の懇話会をもう一度ここでお知らせさせていただきます。

様式第 1 号

次回の懇話会につきましては、令和 3 年 2 月 9 日火曜日、時間は 13 時 30 分から、場所は同じくこちら 5 階の庁議室で 2 時間の懇話会を予定しておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局 長時間にわたり貴重な御意見をいただき、誠にありがとうございました。

以上をもちまして、令和 2 年度第 1 回こども未来懇話会を閉会といたします。委員の皆様には、大変お忙しい中、懇話会への御参加本当にありがとうございました。

(01:59:22)

# 令和2年度(2020年度) つくば市こども未来懇話会 委員名簿

| No. | 氏 名     | 組織・役職等                       | ※選出区分 |            |
|-----|---------|------------------------------|-------|------------|
| ①   | 藤田 晃之   | 筑波大学人間系 教授                   | (1)   | 学識経験者      |
| ②   | 外山 美樹   | 筑波大学人間系 准教授                  | (1)   | 学識経験者      |
| 3   | 長橋 進也   | つくば市PTA連絡協議会 会長              | (2)   | 児童・生徒の保護者  |
| 4   | 中山 光子   | 公募                           | (3)   | つくば市民      |
| 5   | 池田 利基   | 公募                           | (3)   | つくば市民      |
| 6   | 和田 雅彦   | つくば市立小中学校校長会 会長              | (4)   | 公立小・中学校長   |
| 7   | 横山 貴美子  | つくば市立小中学校校長会 副会長             | (4)   | 公立小・中学校長   |
| 8   | 大久保 良文  | つくば市主任児童委員連絡会 会長             | (5)   | 主任児童委員     |
| 9   | かさい ひろこ | 特定非営利活動法人NGO未来の子どもネットワーク代表理事 | (6)   | 各種支援団体の代表者 |

○ 座長    ○ 副座長

計9名（予定）

※選出区分（要項第3条の規定に基づく次の各号に掲げる委員の分類）

- (1) 学識経験者    (2) 児童・生徒の保護者    (3) つくば市民    (4) 公立小・中学校長  
 (5) 主任児童委員    (6) 各種支援団体の代表者

# つくば市こども未来プラン

## 1 本プラン策定の背景・趣旨

平成 31 年（2019 年）2 月策定

### （1）背景

国民生活基礎調査<sup>1</sup>によると日本における子どもの相対的貧困率は平成 27 年に 13.9%であり、OECD加盟国など 36 か国の平均値 13.3%を上回っている。日本財団の調査<sup>2</sup>では貧困の連鎖を防がないことによる社会的損失は 60 兆円と推測されており、貧困対策は本人だけでなく社会全体としても重要な取り組みであることが示されている。このような背景の下、経済的に困難を抱える世帯の子どもに対して学習支援・居場所づくりを行い貧困の連鎖を防ぐ取り組みが全国的に行われ始めている。

### （2）つくば市の児童生徒の現状

つくば市の平成 30 年 5 月現在の児童生徒数は、小学生が 14,508 人、中学生が 5,863 人である。学力の状況については、6 年生と 9 年生全員を対象に実施された平成 30 年度の全国学力・学習状況調査では、つくば市の児童生徒の正答率は全 10 分野で全国平均を上回っており、全体としては充実している。

一方、就学援助や生活保護の対象となっている 1～9 年生の児童生徒は、つくば市において平成 29 年度に 1,269 人、平成 30 年度に 1,219 人<sup>3</sup>に上る。これらの児童生徒の学力が必ずしも低いわけではないが、つくば市が平成 29 年度に行った調査<sup>4</sup>では、所得水準によって学校以外での塾等の学習環境に違いが存在する傾向が見られる。

そのような児童生徒を対象として、現在、つくば市では、大穂中学校区、谷田部中学校区・みどりの学園義務教育学校区及び谷田部東中学校区・並木中学校区の 3 か所で学習支援事業を実施しており、それぞれ約 20～30 名の児童生徒を対象に、学校の復習や宿題の習慣づけ等を行っている。

### （3）つくば市における課題とこども未来プラン策定の趣旨

つくば市が実施している学習支援事業を利用している児童生徒に平成 29 年度末に行ったアンケート調査では、「勉強がわかるようになった」児童生徒が 60%以上いるなど、評価されている。一方で、利用者は計 100 人程度であり、市内で対象となる 1,200 人以上の児童生徒数からすると利用者が少数にとどまっており実施地域も限定的となっている。また、現在行っている学習支援にとどまらず、安心できる居場所の提供も重要であり、居場所づくりを含めて対策を行う必要がある。

<sup>1</sup>平成 28 年厚生労働省

<sup>2</sup>日本財団子どもの貧困対策チーム「子どもの貧困の社会的損失推計レポート」

<sup>3</sup>つくば市内の平均的な学校の 3 校分に相当

<sup>4</sup>平成 29 年度つくば市子どもの貧困に関する実態調査

つくば市における学習支援事業の利用率が低いこと、実施地域が限定的であること、居場所づくりの支援が不十分であること等の課題に対応するため、必要となる政策を中長期的な視野に立ち部局横断的に実行することが不可欠であり、本プランを策定することとする。

#### (4) 本プラン策定の経緯

本プランの策定にあたり、関係部局である保健福祉部・教育局・こども部の連携のためこども未来庁内連携会議を開催するとともに、有識者や学校関係者、支援団体代表者に市民委員を加えたメンバーによるこども未来懇話会を開催して議論を行った。

#### ○こども未来庁内連携会議開催状況

| 日付    | テーマ                                                                                                                        |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8月10日 | ①保健福祉部の取組について<br>②こども部の取組について<br>③教育局の取組について<br>④つくば市子どもの学習支援・居場所づくりについて                                                   |
| 9月3日  | ①ボランティアの募集について<br>②課題スクリーニングリストの作成について<br>③空き教室の開放及び教員OBへの声かけについて<br>④青少年の居場所づくりについて<br>⑤ひとり親家庭の支援について<br>⑥放課後こども教室の拡大について |
| 9月25日 | ①こども未来懇話会の開催について                                                                                                           |

#### ○こども未来懇話会開催状況

| 日付     | テーマ                                                             |
|--------|-----------------------------------------------------------------|
| 10月29日 | ①つくば市こども未来プランとつくば市こども未来懇話会について<br>②保健福祉部の取組について<br>③こども部の取組について |
| 11月19日 | ①教育局の取組について<br>②第1回懇話会の指摘事項・ご意見について<br>③つくば市こども未来プラン(大枠案)について   |
| 11月26日 | ①第2回懇話会の指摘事項・ご意見について<br>②つくば市こども未来プラン(骨子案)について                  |
| 12月10日 | ①第3回懇話会の指摘事項・ご意見について<br>②つくば市こども未来プラン(案)について                    |

## 2 子どもの支援の方向性

経済的に困難を抱える世帯の子どもにおいて、学校以外での学習機会にそれ以外の子どもとの差が存在するものの、現在、つくば市として提供できている学習支援は限定的であり、今後、学習支援を充実していく必要がある。さらに、家庭環境の影響により課題を抱えた子どもたちにとって、安心できる居場所があることで自己肯定感を育むことにつながり、学習支援と併せて施策の充実を図っていく。

上記を踏まえた子どもへの支援として、つくば市は地域や実施団体、大学、学校などと連携しながら、学習支援・居場所づくりを中心に支援を行う。この支援は「誰一人取り残さない」という持続可能な開発目標（SDGs）の理念に従い、包摂的・包括的に行うものとし、義務教育年限の1～9年生を主な対象としながら、居場所づくりについては就学前児童から高校生以上も含めて幅広く対象とする。また、本プランに記載されている事項に限らず、つくば市子ども・子育て支援プラン等その他の市の支援事業と連携して支援を行う。

以下のヴィジョンの下、具体的達成目標の実現のため、3(1)～(7)の事項に取り組んでいく。目標欄には5年後の達成目標を記載している。なお、新規調査については、関連するデータを参考に記載している。

### 【ヴィジョン】

安心できる居場所・学習環境で、つくばの子どもを育む

### 【具体的達成目標】

#### ① 自己肯定感を持つ児童生徒の割合の増加

→目標：31年度比10%（ポイント）増【非認知能力（自己肯定感等）の調査】  
※ H30 全国学力・学習状況調査(4/17)質問紙(1)自分にはよいところがあると思いますか：79.9%

#### ② 将来の夢や目標設定力を持つ児童生徒の割合の増加

→目標：31年度比10%（ポイント）増【非認知能力（自己肯定感等）の調査】  
※ H30 全国学力・学習状況調査(4/17)質問紙(3)将来の夢や目標を持っていますか：78.6%

#### ③ 家庭学習の習慣づけができている児童生徒の割合の増加

（小学生30分以上、中学生1時間以上）

→目標：31年度比10%（ポイント）増【非認知能力（自己肯定感等）の調査】  
※ H30 全国学力・学習状況調査(4/17)質問紙(10)自分で計画を立てて勉強をしていますか：65.9%

#### ④ 「よくわかる」「わかる」を実感できる児童生徒の割合の増加

→目標：72%（29年度つくば市調査）から10%（ポイント）増【児童生徒の意識調査】

#### ⑤ 希望者全員の高校進学・卒業

→目標：希望者の進学率100%【学校を通じて調査】



### 3 具体的実施事項

以下の事業を平成 31 年度からの 5 か年で実施する。目標欄には 5 年後の達成目標を記載している。

#### (1) 居場所支援＋学習支援：経済的に困難を抱える子どもを対象に重点支援を行う

##### ○学習支援団体との協定締結による協働

(厚生労働省生活困窮者就労支援事業費補助金 (国 1/2) )

・対象は生活困窮世帯の主に 4 ～ 9 年生であるが柔軟に対応

・ H29 2 か所 → H30 3 か所 → H31 拡大 (12 か所)

→目標：市内全中学校・義務教育学校 16 か所に開設。谷田部小学校におけるはやぶさ教室をモデルに、特に学校校舎における学習支援の充実を図る

##### ○学習塾代支援

・対象は生活保護・就学援助を受けている 7 ～ 9 年生

→目標：利用状況を踏まえて拡充を検討

##### ○アウトリーチ（訪問支援）の実施

・現在は必要に応じて学校の担任教諭等が実施

→目標：支援状況一覧で抽出した対象者へ、地域や NP0 等と連携しながら、アウトリーチを実施し、アセスメントを行い必要な支援に早期に接続

##### ○スクールソーシャルワーカーの活用

・現在、県派遣事業を活用

→目標：利用状況を踏まえて市独自の配置や配置数の増加、地域や NP0 との連携などを含めたさらなる拡充を検討

#### (2) 居場所支援：家庭や学校以外の安心な環境で成長できる居場所を提供する

##### ○子ども食堂実施団体への支援

→目標：10 団体に補助金を交付して子ども食堂を実施（就学前児童含む）

##### ○つくば市に必要な居場所づくりの検討

#### (3) 学習支援：学習支援の提供により基礎学力の向上を図る

##### ○「地域未来塾」の開催

(文部科学省地域の教育支援体制等構築事業費補助金 (国 1/3、県 1/3) )

・中学生を対象に、就学援助等の条件なしで各中学校・義務教育学校で実施中

→目標：全中学校・義務教育学校で月複数回の開催

○「放課後子供教室」での学習支援の実施

（文部科学省放課後子どもプラン推進事業費補助金（国 1/3、県 1/3））

- ・小学生を対象に、就学援助等の条件なしで実施中（秀峰筑波義務教育学校）

→目標：全小学校・義務教育学校での定期的な開催

○学習インフラの整備

- ・「つくばチャレンジングスタディ」を含め、基礎学力の向上につながる各種取組やインフラ整備を推進
- ・現在、総合教育会議において教育大綱を策定中のため、会議においてこれらの論点について検討を行う。

（４）保護者支援：経済的に困難を抱える保護者への支援を充実させる

○高等職業訓練促進給付金の活用促進

- ・高等職業訓練促進給付金に加えて市独自の給付を行う

→目標：受給者を 30 人程度に増加

（５）市民参加：地域の市民が参加しやすくするための支援を行う

○ボランティア説明会の開催

- ・学習支援事業者や子ども食堂事業者が参加（30 年 12 月初開催）

→目標：年 2 回程度の開催（高校生・大学生にも参加を呼びかけ）

○学習支援事業者向け研修会・意見交換会の開催

→目標：年 4 回程度の開催

（６）データ収集：網羅的データベース構築により、支援すべき子どもを取り残さない

○データベースの構築

- ・支援状況一覧や支援状況等子どもに関する情報を網羅的に掲載して庁内関係部署間で適切に情報共有されるデータベースの構築

→目標：利用状況を踏まえてさらなる拡充を検討

○非認知能力等判定の実施

→目標：4・5・7・8 年生全員に実施

（７）推進体制：施策の推進体制を構築する

○こども未来懇話会におけるチェック

- ・プラン実施状況を踏まえて追加で実施が必要な事項を決定

→目標：継続的に毎年 2 回開催

○こども未来庁内連携会議の開催（保健福祉部・教育局・こども部）

→目標：継続的に随時開催

参考：こども未来懇話会委員名簿

| No. | 氏 名   | 組織・役職等                                            | ※選出区分 |                |
|-----|-------|---------------------------------------------------|-------|----------------|
| ①   | 藤田 晃之 | 筑波大学人間系 教授・教育学類長                                  | (1)   | 学識経験者          |
| ②   | 飯田 浩之 | 筑波大学人間系 准教授                                       | (1)   | 学識経験者          |
| 3   | 中嶋 信美 | つくば市PTA連絡協議会 会長                                   | (2)   | 児童・生徒の保護者      |
| 4   | 星埜 祥子 | 公募                                                | (3)   | つくば市民          |
| 5   | 岡本 幸也 | 公募                                                | (3)   | つくば市民          |
| 6   | 遠藤 知昭 | つくば市立小中学校長会 会長                                    | (4)   | 公立小・中学校長       |
| 7   | 松本 義明 | つくば市立小中学校長会 副会長                                   | (4)   | 公立小・中学校長       |
| 8   | 河村 和恵 | つくば市主任児童委員連絡会 会長                                  | (5)   | 主任児童委員         |
| 9   | 大野 寛  | NPO法人フードバンク茨城理事長<br>認定NPO法人茨城NPOセンター・コ<br>モンズ事務局長 | (6)   | 各種支援団体の代<br>表者 |

○ 座長    ○ 副座長

※選出区分（つくば市こども未来懇話会開催要項第3条の規定に基づく次の各号に掲げる委員の分類）

- (1) 学識経験者   (2) 児童・生徒の保護者   (3) つくば市民   (4) 公立小・中学校長  
(5) 主任児童委員   (6) 各種支援団体の代表者

# つくば市こども未来プラン

安心できる居場所・学習環境  
で、つくばの子どもを育む

平成31年(2019年)  
2月策定

## 居場所+学習支援

(1,219人※H30.10)

- 対象：経済的に困難を抱える子ども
- ・学習支援団体との協働(4～9年生)  
H29 2か所→H30 3か所→H31 拡大(12か所)
  - ・学習塾代支援(9年生)
  - ・アウトリーチ(訪問支援)の実施
  - ・スクールソーシャルワーカーの活用

## 居場所支援

- 対象：就学前児童～高校生以上
- ・子ども食堂実施団体への支援  
(平成30年11月から補助金開始)
  - ・つくば市に必要な居場所づくりの検討

## 学習支援

- 対象：1年生～9年生(約2万人)
- ・中学生：「地域未来塾」の開催
  - ・小学生：「放課後子供教室」での学習支援の実施
  - ・学習インフラの整備

## 市民参加

- 市民が参加しやすくするための支援
- ・ボランティア説明会の開催(学習支援・子ども食堂)  
(平成30年12月初開催)
  - ・学習支援事業者向け研修会・意見交換会

平成31年度  
からの  
5か年プラン

## 保護者支援

- 対象：経済的に困難を抱える保護者
- ・高等職業訓練促進給付金の活用促進  
(市独自給付をプラス)

## データ収集

- 支援すべき子を取り残さない
- ・データベースの構築
  - ・非認知能力等判定(自己肯定感等の調査)の実施

## 推進体制

- 施策の推進体制を構築
- ・つくば市こども未来懇話会におけるチェック
  - ・つくば市こども未来庁内連携会議の開催

## 支援の方向性

- ・持続可能な開発目標(SDGs)に沿った包摂的・包括的な支援
- ・地域、実施団体、大学、学校等との連携

## 達成目標

- 1 自己肯定感を持つ児童生徒の割合の増加
- 2 将来の夢や目標設定力を持つ児童生徒の割合の増加
- 3 家庭学習の習慣づけができていない児童生徒の割合の増加
- 4 「よくわかる」「わかる」を実感できる児童生徒の割合の増加
- 5 希望者全員の高校進学・卒業

# 令和2年度事業(つくば市こども未来プラン)

保健福祉部

|                 |                                                                                                                                                                                                                                        |                                   |      |        |     |              |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|------|--------|-----|--------------|
| 事業名             |                                                                                                                                                                                                                                        | つくばこどもの青い羽根学習会（学習支援団体との協定締結による協働） |      |        |     |              |
| プラン掲載項目         |                                                                                                                                                                                                                                        | 居場所支援＋学習支援                        |      | 掲載頁・番号 |     | P4－3－（1）     |
| 新規・拡充等の別        |                                                                                                                                                                                                                                        | 拡充                                | 基金充当 | ○      | 担当課 | 保健福祉部 こども未来室 |
| 事業概要            | 貧困の連鎖を断ち切るため、生活保護または就学援助受給世帯の4～9年生（はやぶさ教室は3年生）の子どもに対して、学習支援や安心できる居場所の提供等を行う。<br>・学習支援団体と協定を締結し協働事業として実施<br>・事業者同士の事例共有・連携強化のための連絡会議を開催（年4回予定）                                                                                          |                                   |      |        |     |              |
| 目標              | 市内全中学校・義務教育学校16か所に開設。谷田部小学校におけるはやぶさ教室をモデルに、特に学校校舎における学習支援の充実を図る。                                                                                                                                                                       |                                   |      |        |     |              |
| 予算              | 【本年度】28,828千円（令和元年度より3,758千円の増）                                                                                                                                                                                                        |                                   |      |        |     |              |
| 新規・拡充・縮小・廃止等の概要 | つくばこどもの青い羽根基金の充当により負担金を増額し、「食糧費の追加」、「高校生や小学生低学年等（兄弟等）の受入れ等」を実施する。                                                                                                                                                                      |                                   |      |        |     |              |
| 進捗状況            | 拠点数：2か所（H29.10～）、3か所（H30.4～）、11か所（H31.4～）、13か所（R1.8～）<br>現在（R2.4～）14か所（学校外拠点10か所、学校内拠点4か所（谷田部小、真瀬小、栗原小、茎崎第一小））、登録者数240名（R2.7月末現在）                                                                                                      |                                   |      |        |     |              |
| その他             | 桜並木学園（並木小・桜南小・並木中）における Learning for All による学習支援モデル事業<br>○ 学校連携拠点「つくばやる気じゅく」（放課後、2時間程度、4～6年生・7年生対象）<br>・8月に夏季プログラム実施予定（各校15名程度参加見込）<br>・11月から秋季プログラム実施予定（各校15名程度参加予定）<br>○ 学校外拠点「つくば寺子屋くらぶ」<br>（毎週日曜日15～18時、3～9年生、4名参加、3名体験中（R2.7月末現在）） |                                   |      |        |     |              |

|                 |                                                                                                                                                                                                       |                                        |      |        |     |              |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|------|--------|-----|--------------|
| 事業名             |                                                                                                                                                                                                       | 居場所づくり支援事業「青い羽根のいえ」(つくば市に必要な居場所づくりの検討) |      |        |     |              |
| プラン掲載項目         |                                                                                                                                                                                                       | 居場所支援                                  |      | 掲載頁・番号 |     | P4 - 3 - (2) |
| 新規・拡充等の別        |                                                                                                                                                                                                       | 新規                                     | 基金充当 | ○      | 担当課 | 保健福祉部 こども未来室 |
| 事業概要            | 生活困窮世帯等の子どもの孤立防止、生活習慣向上を目的に、基本的な生活習慣の習得支援、学習支援、食事の提供、その他生活の向上のために必要な支援を行う居場所支援事業を実施する。<br>・対象年齢は、主に1年生から9年生の児童生徒<br>・週3回(火・木・日)、平日15:00～20:00、日曜10:00～14:00<br>・食事、送迎付き(谷田部東中学校区・並木中学校区)、庭付き平屋(梅園エリア) |                                        |      |        |     |              |
| 目標              | 生活困窮等家庭の事情により、複合的な課題を抱える児童生徒が居場所を利用することで、生活習慣の改善や孤立の防止を通じて、貧困の連鎖を防止する。さらには、つくばこどもの青い羽根学習会等の次のステップに進んでいけるようにする。                                                                                        |                                        |      |        |     |              |
| 予算              | 【本年度】5,610千円                                                                                                                                                                                          |                                        |      |        |     |              |
| 新規・拡充・縮小・廃止等の概要 | 家庭環境の影響により課題を抱えた子どもたちにとって、安心できる居場所の存在は自己肯定感を育むことや生活環境を整える場所として重要であり、つくば市こども未来プランにおいて、学習支援と併せて居場所支援の充実を図っていくこととしている。                                                                                   |                                        |      |        |     |              |
| その他             | 事業者は公募型プロポーザルにより、NPO法人Learning for Allに決定。<br>拠点名称は「青い羽根のいえ」に決定。                                                                                                                                      |                                        |      |        |     |              |

# 令和2年度事業(つくば市こども未来プラン)

保健福祉部

|                 |                                                                                                                                                                           |                    |      |        |     |              |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|------|--------|-----|--------------|
| 事業名             |                                                                                                                                                                           | 子どもの学習塾代助成（学習塾代支援） |      |        |     |              |
| プラン掲載項目         |                                                                                                                                                                           | 居場所支援＋学習支援         |      | 掲載頁・番号 |     | P4－3－（1）     |
| 新規・拡充等の別        |                                                                                                                                                                           | 拡充                 | 基金充当 | ○      | 担当課 | 保健福祉部 こども未来室 |
| 事業概要            | 市内の中学校・義務教育学校に在籍する7～9年生のうち、生活保護や就学援助の受給世帯の生徒に対し、学習塾の利用にかかる経費の助成を行う。<br>・1か月当たり5,000円（上限）、交付決定月～翌年2月分<br>・定員20名（4月に最大11か月分の交付決定をした場合）<br>・つくばこどもの青い羽根学習会の利用を優先するため、利用者は対象外 |                    |      |        |     |              |
| 目標              | 利用状況を踏まえて拡充を検討                                                                                                                                                            |                    |      |        |     |              |
| 予算              | 【本年度】1,100千円（令和元年度より200千円の増）                                                                                                                                              |                    |      |        |     |              |
| 新規・拡充・縮小・廃止等の概要 | 対象者を令和元年度9年生から7～9年生（先着順）に、助成期間を4月～2月分に拡大。来年度に向け、定員の拡大と、対象者の選定方法について検討する。                                                                                                  |                    |      |        |     |              |
| 進捗状況            | 27名の申し込み(R2.7月末現在)があり、21名に交付決定し募集終了。                                                                                                                                      |                    |      |        |     |              |

|                 |                                                                                                                                                     |                             |  |      |        |     |              |  |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|--|------|--------|-----|--------------|--|
| 事業名             |                                                                                                                                                     | みんなの食堂事業補助金（みんなの食堂実施団体への支援） |  |      |        |     |              |  |
| プラン掲載項目         |                                                                                                                                                     | 居場所支援                       |  |      | 掲載頁・番号 |     | P4－3－（2）     |  |
| 新規・拡充等の別        |                                                                                                                                                     | 継続                          |  | 基金充当 | ○      | 担当課 | 保健福祉部 こども未来室 |  |
| 事業概要            | 食を通じて地域の子どもや大人が交流することができる地域の交流スペースとしての居場所を提供できるよう、みんなの食堂実施団体の運営を支援し新規開設を促進するため補助金を交付する。<br>・月1回・・・50,000円/年、月2回・・・100,000円/年<br>・食材費や消耗品、保険料などが対象経費 |                             |  |      |        |     |              |  |
| 目標              | 10団体に補助金を交付してみんなの食堂を実施(就学前児童含む)                                                                                                                     |                             |  |      |        |     |              |  |
| 予算              | 【本年度】500千円（令和元年度と同額）                                                                                                                                |                             |  |      |        |     |              |  |
| 新規・拡充・縮小・廃止等の概要 | 対象経費の範囲を拡大(交通費などを追加)<br>補助金交付回数制限撤廃                                                                                                                 |                             |  |      |        |     |              |  |
| 進捗状況            | 5団体より補助金交付申請あり(R2.7月末現在)、現在1団体が新規開設を検討中                                                                                                             |                             |  |      |        |     |              |  |

# 令和2年度事業(つくば市こども未来プラン)

保健福祉部

|                 |                                                                                                             |                           |      |        |     |              |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|------|--------|-----|--------------|
| 事業名             |                                                                                                             | ボランティア登録説明会（ボランティア説明会の開催） |      |        |     |              |
| プラン掲載項目         |                                                                                                             | 市民参加                      |      | 掲載頁・番号 |     | P5 - 3 - (5) |
| 新規・拡充等の別        |                                                                                                             | 継続                        | 基金充当 | —      | 担当課 | 保健福祉部 こども未来室 |
| 事業概要            | 子どもの学習支援や居場所づくりに関わるボランティアを募集する場として開催。市内の学習支援・みんなの食堂事業者が一堂に会する。<br>・希望者はその場でボランティア登録が可能<br>・実施団体の情報交換の場にもなる。 |                           |      |        |     |              |
| 目標              | 年2回程度の開催(高校生・大学生にも参加を呼びかけ)                                                                                  |                           |      |        |     |              |
| 予算              | —                                                                                                           |                           |      |        |     |              |
| 新規・拡充・縮小・廃止等の概要 | 令和2年度は2回開催予定                                                                                                |                           |      |        |     |              |
| 進捗状況            | 9/26(土) 第1回ボランティア登録説明会を開催予定<br>※こども育成課、生涯学習推進課と連携<br>※新型コロナウイルスの状況により変更の可能性あり                               |                           |      |        |     |              |

|                 |                                                                                                     |      |   |        |              |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---|--------|--------------|
| 事業名             | 学習支援マニュアル研修会の実施（学習支援事業者向け研修会・意見交換会の開催）                                                              |      |   |        |              |
| プラン掲載項目         | 市民参加                                                                                                |      |   | 掲載頁・番号 | P5－3－（5）     |
| 新規・拡充等の別        | 継続                                                                                                  | 基金充当 | — | 担当課    | 保健福祉部 こども未来室 |
| 事業概要            | 市内で学習支援や居場所づくりを実施する事業者向けに、開設・運営のために作成した学習支援マニュアルを使用して研修を実施することで、支援の質向上や学習支援・居場所づくりの事業の新規開設、活動促進を図る。 |      |   |        |              |
| 目標              | 年4回程度の開催                                                                                            |      |   |        |              |
| 予算              | 【本年度】200千円（令和元年度より400千円の減）                                                                          |      |   |        |              |
| 新規・拡充・縮小・廃止等の概要 | 令和2年度は4回開催予定                                                                                        |      |   |        |              |
| 進捗状況            | 7月下旬～ e-Learning教材(NPO法人Learning for All作成)による研修を実施<br>8月下旬 第1回開催予定                                 |      |   |        |              |

# 令和2年度事業(つくば市こども未来プラン)

保健福祉部

|                 |                                                                                                                                                          |      |        |     |              |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------|-----|--------------|
| 事業名             | データベースみまもり（データベースの構築）（アウトリーチ支援の実施）                                                                                                                       |      |        |     |              |
| プラン掲載項目         | データ収集                                                                                                                                                    |      | 掲載頁・番号 |     | P5 - 3 - (6) |
| 新規・拡充等の別        | 拡充                                                                                                                                                       | 基金充当 | ○      | 担当課 | 保健福祉部 こども未来室 |
| 事業概要            | 支援すべき子どもを取り残さないため、支援状況等子どもに関する情報を網羅的に掲載して、庁内関係部署間で適切に情報共有されるデータベースを構築する。<br>また、データベースを活用し、支援が必要な子どもを早期に発見し、必要な支援につなぐ。                                    |      |        |     |              |
| 目標              | 利用状況を踏まえてさらなる拡充を検討                                                                                                                                       |      |        |     |              |
| 予算              | 【本年度】3,835千円(令和元年度より3,508千円の増)                                                                                                                           |      |        |     |              |
| 新規・拡充・縮小・廃止等の概要 | こども未来庁内連携会議を構成する保健福祉部、こども部、教育局の支援業務を兼務できるアウトリーチ要員としてこども未来支援員を4名雇用(1/週2日勤務)。<br>令和2年度は、モデル校を10校に拡大してアウトリーチ支援を実施予定。                                        |      |        |     |              |
| 進捗状況            | モデル校10校において、更新したデータベースみまもりの情報を共有し、こども未来支援員がSSW、子育て相談員と連携してアウトリーチ支援を開始。<br>(継続) 秀峰筑波義務教育学校、荃崎中学校<br>(新規) 桜中学校、栄小学校、大穂中学校、大曾根小学校、谷田部中学校、谷田部小学校、二の宮小学校、東小学校 |      |        |     |              |

|                 |                                                                                                                                                                                    |      |        |     |              |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------|-----|--------------|
| 事業名             | つくば市こども未来懇話会、こども未来庁内連携会議、こども未来支援担当者会議<br>(こども未来懇話会におけるチェック、こども未来庁内連携会議の開催)                                                                                                         |      |        |     |              |
| プラン掲載項目         | 推進体制                                                                                                                                                                               |      | 掲載頁・番号 |     | P5 - 3 - (7) |
| 新規・拡充等の別        | 継続                                                                                                                                                                                 | 基金充当 | —      | 担当課 | 保健福祉部 こども未来室 |
| 事業概要            | つくば市こども未来懇話会：<br>つくば市こども未来プランに関連する施策の推進体制<br>プラン掲載事業の進捗確認、追加で実施が必要な事項を決定<br><br>こども未来庁内連携会議：<br>関係部局である保健福祉部、教育局、こども部の横断的支援体制<br><br>支援担当者会議：<br>支援窓口・担当者による連携体制、データベースみまもりの活用推進体制 |      |        |     |              |
| 目標              | 懇話会： 継続的に毎年2回開催<br>庁内連携会議： 継続的に随時開催                                                                                                                                                |      |        |     |              |
| 予算              | 【本年度】140千円（令和元年度より140千円の減）                                                                                                                                                         |      |        |     |              |
| 新規・拡充・縮小・廃止等の概要 | 令和2年度は、懇話会2回、連携会議3回、支援担当者会議は随時開催予定                                                                                                                                                 |      |        |     |              |
| 進捗状況            | 懇話会： 第1回 8/18(火)、第2回 2/9(火)<br>連携会議： 第1回 8/7(金)、第2回 10月予定、第3回 3月予定<br>支援担当者会議：第1回 8/6(木)                                                                                           |      |        |     |              |

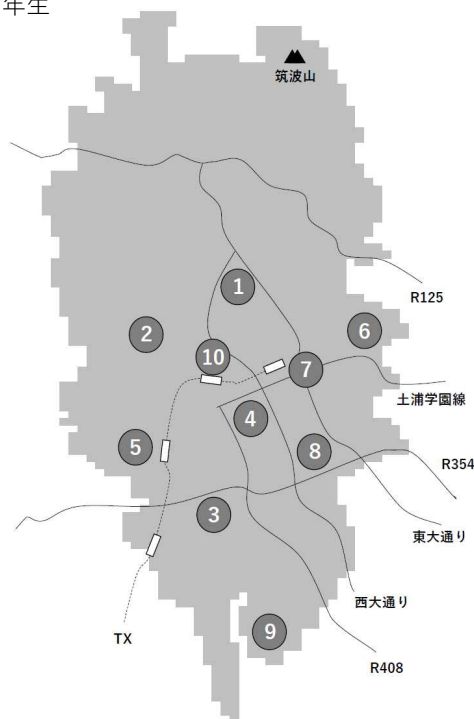


# つくばこどもの青い羽根学習会 (2019年10月現在)

つくばこどもの青い羽根学習会は、学力向上だけでなく、学習習慣や生きる力を育む、無料の学習会です。つくばこどもの青い羽根学習会は、つくば市と学習支援事業者との協働事業です。

【対象】生活保護・就学援助を受給する世帯の4～9年生  
【内容】宿題のフォローや授業の復習・予習中心  
【参加費】無料

| 教室     | 実施曜日 | 時間          |
|--------|------|-------------|
| ① 筑穂   | 月・木  | 17:00～19:30 |
| ② 高野   | 月・木  | 18:30～20:30 |
| ③ 谷田部  | 火・木  | 18:30～21:00 |
| ④ 松代   | 月・木  | 18:00～20:00 |
| ⑤ 島名   | 金    | 18:00～20:30 |
| ⑥ 松塚   | 火・木  | 17:30～20:30 |
| ⑦ 竹園   | 月    | 18:30～21:00 |
| ⑧ 梅園   | 土    | 14:00～16:00 |
| ⑨ 小荃   | 水・金  | 18:30～20:30 |
| ⑩ 研究学園 | 金    | 18:00～20:00 |



## つくばこどもの青い羽根学習会はやぶさ教室

つくばこどもの青い羽根学習会はやぶさ教室は、小学校3年生を対象とし、算数の予習を中心とした学習支援で、放課後に学校の教室で行われています。

【対象】実施小学校に在籍するすべての3年生  
【内容】算数の予習中心  
【参加費】無料

|        |   |             |
|--------|---|-------------|
| 谷田部小学校 | 水 | 14:45～15:45 |
| 真瀬小学校  | 月 | 14:45～15:45 |
| 栗原小学校  | 火 | 14:45～15:45 |

問合せ つくば市保健福祉部社会福祉課 こども未来室  
住所：つくば市研究学園一丁目1番地1  
電話：029(883)1111 (代表)  
Mail：wef011@city.tsukuba.lg.jp

## つくばこどもの青い羽根基金

こどもの未来を支援するために創設された「つくばこどもの青い羽根基金」への寄付金は、つくばこどもの青い羽根学習会などの事業に活用される予定です。



つくばこどもの青い羽根

## 協働事業参加事業者 (50音順)

### ③⑦ NPO法人居場所サポートクラブロベ

☎ 029-886-9318  
✉ afterschool.robe@gmail.com

つくば市初の無料塾「ROBEつくば学習会」は研究所やメーカー勤務、筑波大生等様々なボランティアさんが指導。学習支援は無学年教材を使用。地域の方々による子ども食堂や定期開催のイベントを通して共に生きる力を育んでいます。



### ⑧ NPO法人子連れスタイル推進協会

☎ 070-4502-8856  
✉ nagamori@kozurestyle.com

県内2ヶ所でも学習支援活動の実績があり、つくば市は令和元年、新たに開設いたしました！子どもたちへの学習支援だけでなく、季節に合わせた行事等も企画予定。広い教室でユニークな講師陣がお待ちしています♪気になったら一度見学に！



### ① 社会福祉法人つくば市社会福祉協議会

☎ 029-879-5500  
✉ tiki@tsukuba-swc.or.jp

一人一人が目標を決め熱心に学習する子どもたちに対し、ボランティアが真剣に向き合い取り組んでくれています。年に4回の食事交流会では、子どもたちとボランティアとの心の交流が図れつつあります。皆様の御参加お待ちしております。



### はやぶさ教室(谷田部小・真瀬小・栗原小)

✉ miyanobu@hotmail.com

2015年に小学校を活動場所として発足し、現在3校まで拡大しました。子ども達が自信を持って授業に参加できるよう、学力差の大きい算数の予習を中心に支援しています。支援員は元教員、元塾講師、元研究者等多様です。



### ⑤ NPO法人NPOプラザ・ねこねっと 子どもの学習支援活動フレンズ

☎ 090-6492-7557  
✉ npo.neco@nifty.com

こんにちは。民生委員4名により、地域に子どもの居場所づくりが必要と1年余り勉強会や視察研修を重ね、2018年12月より学習支援活動を実施し、対象の子どもたちのほっと安心できる居場所づくりとなってきております。多くのおみなさまのご参加ご協力をお待ちしています！



### ⑥ NPO法人ひたちNPOセンター・with you

☎ 090 (1857) 6079

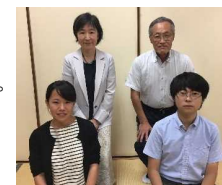
笑いながら、真剣に。叱られつつ、楽しく。安心した自分らしい学習。大学院生、OB、現役の教員などによる講師会と親との話し合いによる塾生への願いの確認。塾生個人に応じた問題集。プログラミング教室、キャンプ、親への相談会等も開催。



### ②⑨ 株式会社トライグループ

☎ 03-6684-1087

私たちは、家庭教師のトライからスタートし、個別教室の運営なども運営しており研究学園駅前にも教室があります。学生から社会人まで幅広く支援員を募集し、活動しやすい環境を整えております。皆様のご参加お待ちしております！



### ④⑩ NPO法人みっしえるくらぶ

✉ info@primaverajp.com

現在約20名のお子さんが和気藹々と楽しく、また黙々と課題をこなしたりしています。宿題の他自学ノートと学校のワークを行う事を中心に、中学生には時々講義形式を用いわかりやすく教えます。学生の皆さんにはボランティア証明書をお出しします。皆様の参加をお待ちしています！





みんなの食堂を  
作りたい！

子ども食堂運営に市の補助金をご活用ください！

つくば市では、子ども食堂実施団体に補助金を交付しています。

◎補助金額 月1回実施 50,000円/年  
月2回実施 100,000円/年

◎補助対象 食材費、消耗品費、保険料など

※詳細については、つくば市こども未来室までお問い合わせください。

みんなの食堂の  
お手伝いをしたい！

食事を作る、子どもたちと遊ぶなど、  
できることからのお手伝いでOKです。  
中学生、高校生のボランティアも団体によって可能です。  
詳しくは、直接各団体にお問い合わせください。



2019年6月、茨城県は  
「子ども食堂サポートセンターいばらき」を開設しました。  
子ども食堂の設立・運営について、気軽にご相談ください。

問 子ども食堂サポートセンターいばらき  
(運営:茨城NPOセンター・コムズ)  
tel.029-300-4321



つくば市の子どものために  
寄付をしたい！

誰一人、取り残さない「世界のあした」を。

## つくばこどもの青い羽根基金

子どもの未来を支援するための

「つくばこどもの青い羽根基金」に、寄付のご協力をお願いいたします。

寄付金は、つくばこどもの青い羽根学習会(子どもの学習・生活支援事業)や  
子ども食堂、学習塾代助成などの  
子どもの未来支援事業に活用させていただきます。

寄付の申込方法

- 1 市ホームページから(クレジットカード決済可)
- 2 申込書(市ホームページに用意)を郵送
- 3 こども未来室で直接

つくばこどもの青い羽根

検索



お問合せ先



つくば市保健福祉部社会福祉課こども未来室  
〒305-8555 つくば市研究学園一丁目1番地1  
tel 029-883-1111(代)

世界の  
あした  
が見えるまち。  
TSUKUBA

# だれでもおいでよ みんなの食堂

しょく どう



つくば市こども未来室



# みんなの食堂にあそびに行ってみよう！ つくば市

## みんなの食堂マップ

### A 地域交流ひろば(花畑)

花畑1-9-2 フラワーチャイルド保育園  
029-864-6464  
開催日: 毎月第4土曜日 11:30~13:30  
料金: 子ども(中学生まで) 100円/おとな 300円



事前申込み優先!  
栄養士・調理師の  
手作り給食ランチ  
保育士に子育て相談できます!



### B 地域交流ひろば(沼崎)

沼崎3097-1 つくばこどもの森保育園  
029-875-4539  
開催日: 毎月第4火曜日 11:30~13:30  
料金: 子ども(中学生まで) 100円/おとな 300円

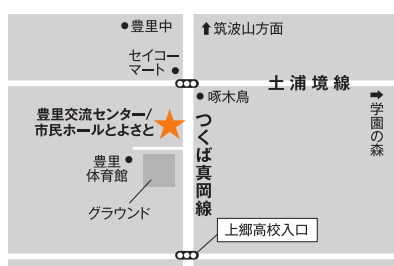


事前申込み優先!  
栄養士・調理師の  
手作り給食ランチ  
未就学児は子育て支援拠点で  
遊ぶことができます



### C ミンナのためのこども食堂

高野1197-20 豊里交流センター  
090-3685-7088(つくば・あつまれちびっ子in豊里の会)  
開催日: 毎月1~2回土曜日 11:30~13:30 木曜日夜不定期開催  
料金: 子ども(18才まで) 100円/おとな 300円



季節や地域の伝統を意識した  
手作りメニュー!



みんなの食堂ってなあに?



みんなの食堂は、  
子どもからお年寄りまで  
だれでも参加していいよ!



ずっといてもいいし、  
すこしだけでもいいよ!

お休み

おうちの人が  
ごはんをつくるのをお休みして  
家族で来てでもいいよ!



みんなの食堂に行くまえに!



子どもだけで行く場合は  
かならずおうちのひとに  
どこへ行くか言っておこうね!



ごはんがなくなることもあるから  
前もって  
予約をしておくといいよ!

### D 竹園土曜ひろば

竹園3-19-2 竹園交流センター  
090-3047-1265(毛利)  
開催日: 毎月1回土曜日 10:30~14:30  
料金: 子ども(中学生まで) 100円/おとな 300円

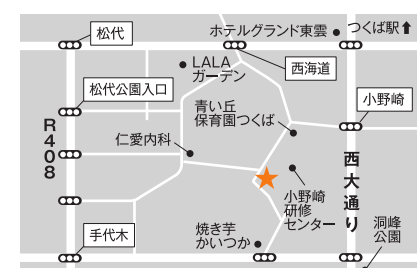


事前申込み優先!  
小学生以上なら  
子どもだけの参加OK  
多世代・多国籍交流  
ボランティア大歓迎!



### E バオバブの子供食堂

小野崎858-1  
tel: 029-856-5087 amemura45@gmail.com  
開催日: 毎月1~2回金曜日 18:30~20:45  
料金: 幼児無料/子ども・おとな 300円



要メール予約!  
工場の畑や田んぼでとれた  
野菜やお米で料理、  
釜でごはんを炊いたりします!



### F つくば「こどもの家」食堂

北中妻399-2  
029-838-5366(NPO法人マナーズ)  
開催日: 毎月第1・3水曜日 17:30~19:30  
料金: 幼児無料/子ども(中学生まで) 100円/おとな 300円



子どもだけでも大歓迎!  
送迎もあるので  
気軽にご相談ください  
つくば市の子どもの食堂の  
草分け的な存在です!



開催日時は変更になることがあります。  
詳細は、各団体にお問い合わせください。

食べものを  
寄付したい!

食品ロスを減らし、  
必要な人に届けよう!

ご家庭で余った食品の寄付を  
「きずなBOX」で受け付けています。  
みんなの食堂に直接寄付することも可能です。

常温保存可能な  
食品

未開封の食品

賞味期限が  
2か月以上残っている  
食品



きずなBOX

つくば市では、フードバンク茨城と連携して公共施設に「きずなBOX」(食品収集箱)を設置しており、ご家庭で余った食品を寄付することができます。寄付いただいた食品は、社会的支援を行っている施設や団体に届けられます。みんなの食堂への直接の寄付は、各団体にお問い合わせください。

「きずなBOX」に寄付できる食品

- ・未開封の食品
- ・常温保存可能な食品
- ・賞味期限が2か月以上残っている食品

きずなBOX設置場所 (2019年12月現在)

- 1 つくば市社会福祉協議会(筑穂1-10-4)
- 2 つくば市役所1階レストラン前(研究学園1-1-1)
- 3 市民活動センター(吾妻1-10-1)
- 4 竹園交流センター(竹園3-19-2)
- 5 つくば・市民ネットワーク(二の宮2-1-3)
- 6 並木交流センター(並木4-2-1)
- 7 ふれあいプラザ(下岩崎2164-1)
- 8 荃崎窓口センター(小荃320)

問 フードバンク茨城  
tel 029-874-3001





# 令和2年度事業(つくば市こども未来プラン)

教育局

|                 |                                                                                                                                                                                                                                             |      |   |        |          |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---|--------|----------|
| 事業名             | スクールソーシャルワーカー配置事業（スクールソーシャルワーカーの活用）                                                                                                                                                                                                         |      |   |        |          |
| プラン掲載項目         | 居場所支援＋学習支援                                                                                                                                                                                                                                  |      |   | 掲載頁・番号 | P4－3－(1) |
| 新規・拡充等の別        | 拡充                                                                                                                                                                                                                                          | 基金充当 | — | 担当課    | 教育相談センター |
| 事業概要            | <p>各学校からの派遣要請に応じ、児童生徒のおかれた生活環境に働きかけ、関係諸機関と連携して、児童生徒及びその保護者、教職員に対する支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内拠点校2校に配置(市独自)(2名)<br/>北部：秀峰筑波義務教育学校(1名)<br/>南部：茎崎中学校</li> <li>・勤務時間：年間1,086時間(1拠点校につき)、1回7時間45分、週4日、年間35週</li> </ul> |      |   |        |          |
| 目標              | 子育てに対する悩み、不登校や経済的な支援等が必要な家庭と学校や行政をつなぎ、子供たちの福祉に関する支援を行う。                                                                                                                                                                                     |      |   |        |          |
| 予算              | 【令和2年度】7,602千円                                                                                                                                                                                                                              |      |   |        |          |
| 新規・拡充・縮小・廃止等の概要 | SSWを3名配置とし、活動時間を週4日に拡充。                                                                                                                                                                                                                     |      |   |        |          |
| その他             | 延べ相談件数 3,618件、延べ相談人数 6,867人、訪問回数 353回 [令和元年度]                                                                                                                                                                                               |      |   |        |          |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                               |      |   |        |            |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---|--------|------------|
| 事業名             | つくば未来塾（「地域未来塾」の開催）                                                                                                                                                                                                                                            |      |   |        |            |
| プラン掲載項目         | 学習支援                                                                                                                                                                                                                                                          |      |   | 掲載頁・番号 | P4－3－(3)   |
| 新規・拡充等の別        | 継続                                                                                                                                                                                                                                                            | 基金充当 | — | 担当課    | 教育局生涯学習推進課 |
| 事業概要            | <p>学校に派遣された学習チューターが学校職員とともに、5教科(国・社・数・理・英)を中心に学習の指導及び助言にあたることで、学習習慣の確立や基礎学力の定着を図るとともに、生徒の学習上のつまずきを解消し、学習意欲の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者：つくば市立の中学校・義務教育学校へ通う7年生から9年生までの生徒</li> <li>・学習チューター：大学生、大学院生、教育実習生、地域ボランティア(社会人)等</li> </ul> |      |   |        |            |
| 目標              | 利用状況を踏まえて拡充を検討                                                                                                                                                                                                                                                |      |   |        |            |
| 予算              | <p>【本年度】4,279千円<br/>⇒【令和2年度】4,279千円(国の補助金内定予定額より24.19%減少予定)</p>                                                                                                                                                                                               |      |   |        |            |
| 新規・拡充・縮小・廃止等の概要 | 今年度同様の規模で実施                                                                                                                                                                                                                                                   |      |   |        |            |
| 進捗状況            | 学習チューター登録者数97名、総実施時数見込み 984時間(市内16校合計) [7月末日現在]                                                                                                                                                                                                               |      |   |        |            |

# 令和2年度事業(つくば市こども未来プラン)

教育局

|                 |                                                                                                                                                                                         |      |   |        |              |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---|--------|--------------|
| 事業名             | 学習者用貸出端末事業（学習インフラの整備）                                                                                                                                                                   |      |   |        |              |
| プラン掲載項目         | 学習支援                                                                                                                                                                                    |      |   | 掲載頁・番号 | P5 - 3 - (3) |
| 新規・拡充等の別        | 新規                                                                                                                                                                                      | 基金充当 | — | 担当課    | 総合教育研究所      |
| 事業概要            | 文部科学省補助事業のGIGAスクール構想の一環で行われる事業。国の進めるGIGAスクール構想におけるオンライン教育を推進していく中で、家庭における学習者用端末の整備が必要であることから、それらの支援事業として行う。市として、学習者用端末とルーターを整備し、一定の条件下において必要な家庭に貸し出しを行う。ルーターについての通信料もつくば市の予算として計上し運営する。 |      |   |        |              |
| 目標              | —                                                                                                                                                                                       |      |   |        |              |
| 予算              | 【令和2年度】21,837千円                                                                                                                                                                         |      |   |        |              |
| 新規・拡充・縮小・廃止等の概要 | 年度内補助金事業                                                                                                                                                                                |      |   |        |              |
| その他             | 年度内補助事業であるため、次年度以降の継続については検討中。                                                                                                                                                          |      |   |        |              |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                   |      |   |        |              |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---|--------|--------------|
| 事業名             | 学校生活総合質問調査 i-check（非認知能力等判定の実施）                                                                                                                                                                                                                   |      |   |        |              |
| プラン掲載項目         | 学習支援                                                                                                                                                                                                                                              |      |   | 掲載頁・番号 | P5 - 3 - (6) |
| 新規・拡充等の別        | 拡充                                                                                                                                                                                                                                                | 基金充当 | — | 担当課    | 学び推進課        |
| 事業概要            | <p>市内全小中学校で、非認知能力等を判定する調査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己肯定感や社会性などの非認知能力<br/>→ データベースみまもりの情報として活用し、支援を必要とする児童生徒を早期に発見する。</li> <li>・ いじめのサイン、対人ストレス、ソーシャルスキルなど<br/>→ 教員の生徒指導や学級経営の指針づくりに活用</li> <li>・ 生活習慣、学習習慣など</li> </ul> |      |   |        |              |
| 目標              | 4・5・6・7・8・9年生全員に実施し、継続的な児童生徒の支援を行う。                                                                                                                                                                                                               |      |   |        |              |
| 予算              | 【令和2年度】5,637千円                                                                                                                                                                                                                                    |      |   |        |              |
| 新規・拡充・縮小・廃止等の概要 | 調査を実施する学年を4・5・7・8年生から4～9年生の児童生徒（14,000人）へ拡大                                                                                                                                                                                                       |      |   |        |              |
| その他             | 各学校の校内研修において調査結果をもとに今後の学級経営の方向性を検討した。また、三者または二者面談において、調査結果を保護者や本人にフィードバックした。                                                                                                                                                                      |      |   |        |              |

## 貸出し対象者及び貸出し状況

### 1 貸出し対象者

- (1) 自宅にインターネット環境がなく、かつ、オンライン学習を行う機器がないこと。
- (2) 自宅にインターネット環境がなく、かつ、オンライン学習を行う機器の通信容量が5GB未満のゲーム機、または、通信容量が5GB未満のスマートフォンしかないこと。
- (3) 自宅にインターネット環境はあるが、オンライン学習を行う機器がゲーム機しかないこと。
- (4) 自宅にインターネット環境はあるが、オンライン学習を行う機器が申請者のスマートフォンしかなく、オンライン学習利用時間が制限されていること。
- (5) 同条第1号から第4号までに該当し、かつ、小学校、中学校又は義務教育学校の前期課程若しくは後期課程にそれぞれ兄弟が在籍していること。
- (6) 同条第1号から第4号までに該当し、かつ、同じ小学校、中学校又は義務教育学校の前期課程若しくは後期課程に3人以上兄弟が在籍していること。

(貸出しの台数について)

- ・ (1) (2) の該当者 端末及びルーター 各1台
- ・ (3) (4) の該当者 端末 1台
- ・ (5) (6) の該当者 端末 1家庭当たり2台

### 2 貸出し状況

端末 343台      ルーター 220台

(令和2年7月31日現在)

## 青少年の居場所事業について

### 1 「青少年の居場所」の目的

青少年の自主的な活動を支援・促進し及び健全育成に関する円滑な事業展開を図り、もって青少年の明るい未来を切り開く一役を担う。

### 2 対象者

市内在住在学の中学生、高校生

### 3 活動拠点

地域交流センター（筑波・大穂・豊里・松代・竹園・荃崎・吾妻）の7箇所  
で一部開放している。開設時間は、午後4時から午後7時まで、月に1回（毎月  
第3週の実施日）社会教育指導員を派遣し、青少年をサポートしている。

※平成26年2月にスタートして、平成28年度には、吾妻交流センターが加わ  
り、7館で実施。

### 4 「青少年の居場所」事業について

- (1) 青少年の学習に関する場所の提供
- (2) 青少年のイベント実施に伴う活動場所
- (3) 青少年を対象とした講座等の実施
- (4) 青少年を中心とした地域交流・多世代交流事業等の実施
- (5) 青少年の自主活動の支援
- (6) 市内高等学校・中学校及び青少年の健全育成に資する団体との連携事業
- (7) 前各号に掲げるもののほか、目的を達成するために必要な事業

### 5 平成30年度以降の「青少年の居場所」事業の経緯について

「青少年居場所」を設置した際の所管が、市民部文化芸術課でスタートし、地域

交流センターの主管課であって、当時は、部局内で事業を実施できていたことでスムーズに実施が行えた。

しかし、平成 30 年度より、「青少年の居場所」事業が教育局に移管し、事業を継続しつつ、運営で弊害（ねじれ）が生じてしまった。

この課題を解決するために、「青少年の居場所」事業の活動場所を地域交流センターに限定せずに、人と人とのふれあいや仲間づくりをとおして、中高生の『社会力』を育むことを大きなビジョンとして取り組んだ。

このようにしてできたものが「この指と一まれ！」の事業である。

この「この指と一まれ！」の事業は、中高生自身が自己肯定感、コミュニケーション力、チームワークを培うことで、社会力の育成、身体だけでなく、心の成長につながるもので、今年度は3年目に突入している。

## 6 「この指と一まれ！」について

「この指と一まれ」事業については、中高生自身がやりたいこと、興味があること、実現したいことを企画。市内中学校・義務教育学校、市内高校等にチラシを配布。応募された提案について、各企画会議の場所に集合し、企画実現に向けての会議を開催。

## 7 今後の「青少年の居場所」事業についての展開について

「青少年の居場所」事業に参加された青少年に向けて、中高生自身、自分の思いを 1 枚の紙に込めて気持ち等を書き出してもらおうということで「この指と一まれ！」事業を取り入れ実施して行く（今年度より実施）。

夏季期間に実施している青少年体験活動（従来のサイエンスラボ）は、今後も実施をする。



青少年の居場所利用者数

平成31年度

3月末現在

| 交流センター名 | 内 訳   | 人 数  | 計利用人数 | 備 考            |
|---------|-------|------|-------|----------------|
| 筑波      | 中 学 生 | 0    | 70    |                |
|         | 高 校 生 | 70   |       |                |
|         | 不 明   | 0    |       |                |
| 大穂      | 中 学 生 | 38   | 50    |                |
|         | 高 校 生 | 12   |       |                |
|         | 不 明   | 0    |       |                |
| 豊里      | 中 学 生 | 1    | 10    |                |
|         | 高 校 生 | 8    |       |                |
|         | 不 明   | 1    |       |                |
| 松代      | 中 学 生 | 8    | 8     |                |
|         | 高 校 生 | 0    |       |                |
|         | 不 明   | 0    |       |                |
| 竹園      | 中 学 生 | 312  | 1814  | ※年末年始を除き、週7回開催 |
|         | 高 校 生 | 1498 |       |                |
|         | 不 明   | 4    |       |                |
| 吾妻      | 中 学 生 | 107  | 469   |                |
|         | 高 校 生 | 317  |       |                |
|         | 不 明   | 45   |       |                |
| 荃崎      | 中 学 生 | 58   | 165   |                |
|         | 高 校 生 | 107  |       |                |
|         | 不 明   | 0    |       |                |
| 合 計     |       |      | 2586  |                |

# 青少年の居場所利用者数

令和2年度

7月10日現在

| 交流センター名 | 内 訳   | 人 数 | 計利用人数 | 備 考            |
|---------|-------|-----|-------|----------------|
| 筑波      | 中 学 生 | 0   | 0     |                |
|         | 高 校 生 | 0   |       |                |
|         | 不 明   | 0   |       |                |
| 大穂      | 中 学 生 | 4   | 5     |                |
|         | 高 校 生 | 1   |       |                |
|         | 不 明   | 0   |       |                |
| 豊里      | 中 学 生 | 0   | 0     |                |
|         | 高 校 生 | 0   |       |                |
|         | 不 明   | 0   |       |                |
| 松代      | 中 学 生 | 0   | 0     |                |
|         | 高 校 生 | 0   |       |                |
|         | 不 明   | 0   |       |                |
| 竹園      | 中 学 生 | 1   | 87    | ※年末年始を除き、週7回開設 |
|         | 高 校 生 | 86  |       |                |
|         | 不 明   | 0   |       |                |
| 吾妻      | 中 学 生 | 6   | 59    |                |
|         | 高 校 生 | 41  |       |                |
|         | 不 明   | 12  |       |                |
| 荃崎      | 中 学 生 | 0   | 3     |                |
|         | 高 校 生 | 3   |       |                |
|         | 不 明   | 0   |       |                |
| 合 計     |       |     | 154   |                |

## 令和2年度（2020年度）つくば市不登校児童生徒学習支援事業実施要項

## 1 目的

不登校児童生徒への支援は、文部科学省の「不登校児童生徒への支援の在り方について」（令和元年10月25日元文科初第698号通知）により、「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的自立を目指す必要があるとされている。

本事業は、集団ではなく、個に応じた様々な学習機会の提供及びオンラインによる支援等、これまでつくば市（以下、「市」という。）だけでは行っていない新たな支援方法を構築するため、民間事業者（以下、「事業者」という。）の専門的知見を活用し、相互に協力・補完することで、不登校児童生徒の社会的自立へ向けた進路の選択肢を広げる支援の実証を行いながら、市の不登校児童生徒支援に対する知見を深めることを目的とする。

## 2 事業の実施方法

市は、事業者と協定を締結し、協働で事業を実施する。

## 3 実施場所

つくば市産業振興センター1階

茨城県つくば市吾妻二丁目5番地1

詳細については、別紙1「施設平面図」を参照

## 4 対象者及び定員

対象者は、市に居住する小学生・中学生とし、定員は15名以内とする。

## 5 事業期間等

(1) 事業期間は、令和2年10月1日から令和3年3月31日までとする。

実施日は平日週4日とする。

(2) 実施時間は、午前9時30分から午後4時までとする。

学校休業期間中の取扱いについては、別途、市と協議すること。

## 6 事業内容

### (1) 学習支援

個に応じた多様な学習機会の提供

### (2) 新たな支援方法の構築

オンラインによる支援等、新たな支援方法の構築

## 7 役割分担

市と事業者の役割はそれぞれ次のとおりとする。

### (1) 市の役割

ア 施設の提供

イ 実証に要する経費の支援

### (2) 事業者の役割

ア 実証の効果測定（新たな支援方法を含む）

イ 学習支援員等人材の配置

ウ 利用者の申込受付

エ 利用者及びその保護者とのトラブル・事故への対応

オ 教育相談

カ 事業の企画及び運営

キ 安全管理

ク 学び推進課、教育相談センター及び在籍校との連携

## 8 運営体制

### (1) 職員体制

事業者は、本事業の実施に当たり、原則、監督責任者、学習支援員（小学校又は中学校の教員免許所持者）を配置する。また、必要に応じ、臨床心理士等の資格を有する相談員及び事務員を配置することができるものとする。

役割等については、次のとおりとする。

#### ア 監督責任者

本事業従事者の指導・研修、実施場所運営に係る管理、緊急時の対応等、本事業全般を統括・管理する。従事者の募集・採用・配置調整、利用者及びその保護者との面談、利用者に関する学校等の関係機関等との調整、市との連絡

調整を行い、利用者の安全確保に努めること。

#### イ 学習支援員

学習支援の提供、支援の準備、支援内容の記録・分析・検討を行う。活動開始前には準備を行い、実施時間中は常に利用者の安全確保に努めること。活動終了後は、片付け、監督責任者との打合せ、記録を作成する。

#### (2) 地域の人材やボランティアの活用

事業者は、職員とは別に、地域の人材や大学生ボランティアなどを効果的に活用すること。ボランティアの活用に当たっては、事業者の責任の下で、調整・指導し、必要な手続等を行うこと。

### 9 事業の流れ

事業開始準備



事業の周知・利用者の募集



利用者の申込受付



面談・学習支援の目標設定（適宜見直し）



学習支援の提供



事業評価

### 10 安全管理、利用者及びその保護者等とのトラブル・事故への対応

- (1) 事業者は、事業運営に当たって、その安全管理に努めること。
- (2) 利用者及びその保護者と事業者との間の苦情、トラブル及び事故については、事業者の責任で行う。また、重大事故や事業実施に当たり重要な問題がある場合には、市と対応方法を協議すること。

### 11 保険加入

事業者は、利用者及び学習支援員等に対して、本事業実施時間内の事故等に備えて保険に加入すること。利用者については利用承認後から初回利用前までに、

その他の者については本事業に初めて従事する前までに、必ず保険加入手続を完了させること。

## 12 連絡会議

- (1) 市は、事業者と教育相談センターとの、事例共有や連携強化を促進し、事業全体がより良いものにするため、連絡会議を開催する。
- (2) 事業者は、(1)の連絡会議に参加しなければならない。

## 13 事業の留意事項

- (1) 事業者は、利用者及びその保護者の意見を尊重し、親切丁寧な対応のもと、本事業を実施しなければならない。
- (2) 事業者は、本事業の目的に配慮しながら実施するとともに、個人情報の保護の徹底をしなければならない。
- (3) 市は事業者に対し、利用者に係る必要な情報の提供を求めることができる。
- (4) 事業者は本要項に定めのない事業を行う場合、その内容について事業開始前に市へ説明を行うこと。本事業の対象外の児童生徒を受け入れる場合は、その者についても毎月の報告に含めること。なお、事業者が自主的に行う事業の責任は事業者が負うものとする。
- (5) 本要項に定める事業を行うに当たり、事業者は利用者及びその保護者からいかなる対価（事業者の団体活動への寄附を含む。）も受け取ってはならない。ただし、(4)の自主的な事業については、この限りではないが、利用者及びその保護者から対価を徴収する場合は、その内容も(4)の報告に含めること。
- (6) 本事業において生じた成果品の所有権及び著作権は市及び事業者に帰属するものとする。

## 14 個人情報等取扱関係法令の遵守等

- (1) 事業者は、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）等の関係法令を遵守し、個人情報を取り扱う業務を適切に履行しなければならない。
- (2) 監督責任者及び学習支援員は、事業参加前に誓約書を提出しなければならない。相談員及び事務員を必要に応じ配置した場合も同様とする。
- (3) 事業者は、本事業について知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。事業完了後も、また同様とする。

15 負担金の使途制限

負担金は、次の項目のうち市の認めたものに支出すること。

給料、職員手当等、社会保険料、報償費、旅費、需用費（消耗品費、印刷製本費）、役務費（通信運搬費、保険料）、使用料及び賃借料、負担金（講習会受講料）その他市が必要と認めるもの

16 その他

この要項に定めのない事項が発生したときは、市及び事業者がその都度協議し、定めるものとする。

令和2年度事業(つくば市子ども未来プラン)

こども部

|                 |                                                                                                                           |      |   |        |              |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---|--------|--------------|
| 事業名             | 放課後子供教室での学習支援（「放課後子供教室」での学習支援の実施）                                                                                         |      |   |        |              |
| プラン掲載項目         | 学習支援                                                                                                                      |      |   | 掲載頁・番号 | P5 - 3 - (3) |
| 新規・拡充等の別        | 継続                                                                                                                        | 基金充当 | — | 担当課    | こども部こども育成課   |
| 事業概要            | 放課後子供教室事業の一環として、3か所の児童クラブ施設で、定期的に週1～3回程度学習支援を実施している。<br>① 秀峰交流ひろば ② 学園の森交流ひろば ③ みどりの交流ひろば                                 |      |   |        |              |
| 目標              | 全小学校・義務教育学校での定期的な開催                                                                                                       |      |   |        |              |
| 予算              | 【本年度】1,232千円（人件費のみ計上、令和元年度より448千円の増）                                                                                      |      |   |        |              |
| 新規・拡充・縮小・廃止等の概要 | 昨年度と同様の継続実施である。秀峰交流ひろばで週2回（週3回実施の時期もある。）、学園の森交流ひろば及びみどりの交流ひろばでは週1回の学習支援を実施していく。ただし、人件費については、従事スタッフを一回当たり3名から4名に増やし増額している。 |      |   |        |              |
| 進捗状況            | 年度当初から実施の予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により学校が臨時休校していたため、4、5月は実施せず、学校再開に合わせて6月10日（水）から通常どおりの回数を実施している。                            |      |   |        |              |

|                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |      |   |        |              |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---|--------|--------------|
| 事業名            | つくば市高等職業訓練促進給付金等事業（高等職業訓練促進給付金の活用促進）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |      |   |        |              |
| プラン掲載項目        | 保護者支援                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |      |   | 掲載頁・番号 | P5 - 3 - (4) |
| 新規・拡充等の別       | 継続                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 基金充当 | — | 担当課    | こども部こども政策課   |
| 事業概要           | <p>ひとり親家庭の母または父が就職の際に有利となり、生活の安定に資する資格の取得を促進するため、養成機関で1年以上修業する場合に、給付金(3種)を支給する。</p> <p>対象資格： 看護師(准看護師を含む)、介護福祉士、保育士、理学療法士、作業療法士、理容師、美容師、栄養士、歯科衛生士、社会福祉士、製菓衛生師、調理師 など</p> <p>○ 高等職業訓練促進給付金： 住民税非課税世帯100,000円 ※最後の12月のみ140,000円（修業全期間。上限48月） 住民税課税世帯70,500円 ※最後の12月のみ110,500円</p> <p>○ 高等職業訓練修業者支援給付金(市独自)： 一律40,000円（最後の12月を除く修業期間。上限36月）</p> <p>○ 高等職業訓練修了支援給付金： 住民税非課税世帯50,000円（1回(カリキュラム修了日後)） 住民税課税世帯25,000円</p> <p>※高等職業訓練修業者支援給付金の対象者は、修業形態が通信制である者を除く。</p> |      |   |        |              |
| 目標             | 受給者を30人程度に増加                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |      |   |        |              |
| 予算             | <p>(国事業) 【本年度】 20,033千円</p> <p>(市独自) 【本年度】 2,160千円</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |      |   |        |              |
| 新規・拡充・縮小・廃止の概要 | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |      |   |        |              |
| 進捗状況           | <p>受給者数12名(R2.7月末現在)</p> <p>制度利用者の増加を図るため、児童扶養手当の認定請求・現況届提出の際、また、離婚届提出の際等に、引き続き事業の周知・啓発を行う。令和2年度については、児童扶養手当の現況届に関する通知に制度の案内チラシを同封した。また、令和元年度に行った利用実績のある養成機関への案内チラシの送付に加えて令和2年度は、土浦ハローワークへ案内チラシの配架を依頼した。</p>                                                                                                                                                                                                                                                     |      |   |        |              |



## 「放課後子供教室での学習支援」

こども部こども育成課

### ■令和元年度の取組

平成 30 年度に開設した、秀峰筑波児童クラブ施設 2 階（1 階は児童クラブ専用施設）での放課後子供教室「秀峰交流ひろば」を引き続き実施した。学習支援についても、昨年度と同様、臨時職員（現会計年度任用職員）の金井さんが学習支援を担当し「宿題やろう！かない塾」と称して、週 2 日（毎週火、金曜日）実施した。

学習支援を担当している金井さんが勤務する日は、児童が宿題を完了させてから遊ぶという意識が定着しており、実質は学習支援が週 3 回行われている状況であった。参加人数は各回でばらつきがあるが 10 名から 25 名程度参加している。

令和元年度は、学園の森児童クラブ施設内において「学園の森交流ひろば」、みどりの学園児童クラブ施設内において「みどりの交流ひろば」を新たに立ち上げた。

学園の森及びみどりの交流ひろばにおいては、それぞれ「宿題やろう！まなびのもり」と称し、週 3 日の開設日のうち 1 日を学習支援の実施日とした。年度始めに登録された有償ボランティアスタッフ 10 名がシフト制で、各回 4 名が従事した。

また、下校時刻に合わせて、低学年（1、2 年生）の時間と高学年（3 年生以上）の時間に分け、学年による入替え制で実施した。開始当初は、各所共に児童 30 名程度の参加だったが、年度途中からは多い日で 50 名を超える児童が参加するようになった。学園の森交流ひろばでは金曜日に低学年が 35 名、高学年が 15 名程度参加しており、みどりの交流ひろばでは火曜日に低学年が 40 名、高学年が 10 名程度参加している。

### ■今年度の取組

当初は 4 月から実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響から学校再開に合わせて、各交流ひろばの活動を昨年度と同様の実施内容で 6 月 10 日（水）から順次開始している。ただし、児童の座席の間隔を空けたり、活動の前後に手洗い、アルコール消毒をしたりするなどの感染症対策を取りながら実施していく。

### ◆今年度の学習支援の予算（当初予算から人件費のみ計上）

- ・学園の森交流ひろば及びみどりの交流ひろば →947, 220 円  
（1 回分の謝礼金×開催予定日数×4 人×2 施設）
- ・秀峰交流ひろば会計年度任用職員 1 名 →284, 458 円  
（週 3 日の出勤日のうち 2 日が学習支援のため、予算 426, 687 円の 3 分の 2 の金額）

⇒学習支援の実施に要する人件費 計 1, 231, 678 円

つくば市高等職業訓練促進給付金等事業について

【給付金支給状況】

| 利用件数           | R2(※) | R1   | H30  | H29 | H28  | H27 |
|----------------|-------|------|------|-----|------|-----|
| 高等職業訓練促進給付金    | 12 件  | 16 件 | 11 件 | 9 件 | 11 件 | 6 件 |
| 高等職業訓練修業者支援給付金 | 1 件   | 3 件  | 一件   | 一件  | 一件   | 一件  |

(※)令和 2 年 7 月末現在

【令和 2 年度受給者内訳】

|             |      |      |      |
|-------------|------|------|------|
| 高等職業訓練促進給付金 | 1 年目 | 2 年目 | 3 年目 |
| 支給年数内訳      | 4 人  | 6 人  | 2 人  |

| 就 業 資 格 | 看護師 | 准看護師 | 保育士 | 美容師 | 社会福祉士 | 精神保健福祉士 | 製菓製パン衛生師 |
|---------|-----|------|-----|-----|-------|---------|----------|
| 内訳      | 2 人 | 1 人  | 1 人 | 3 人 | 3 人   | 1 人     | 1 人      |

周知に関する進捗状況について

- ・窓口（児童扶養手当の認定請求や現況届提出時、また離婚届の提出時）
- ・広報つくば（5月号）※今後9月号、1月号、2月号に記事掲載予定
- ・令和2年度児童扶養手当現況届に関する通知に制度チラシを同封（7月）
- ・ハローワーク土浦へ制度チラシの配架依頼（6月）

## 臨時休校中の食の支援の実施について

新型コロナウイルスの感染拡大防止による臨時休校で給食がなくなったことにより、ご家庭の経済的な理由等で昼食をとることが困難な小・中学生に対して 4 月 13 日（月曜日）から 6 月 5 日の 39 日間、延べ 5985 人分の食の支援を実施した。

### 【対象】

臨時休校で給食がなくなったことにより、ご家庭の経済的な理由や保護者の疾病等で昼食をとることが困難な子ども（小・中学生）

### 【内容】

臨時休校で給食が出ない期間の軽食を、指定された日時・場所で配布（月曜日に 3 日分、木曜日に 2 日分を配布）を 4/13～5/6 まで実施。

5/7～5/29 までは弁当を毎日配布。（月曜日のみロングライフパン 2 個追加配布）

6/1 より分散登校が始まったことにより、5/30（土）に、6/1～6/5 までの 5 日分の食料（レトルト食品等）をまとめて配布。

### 【利用料】 無料

【予算】 予算：食糧費 2,648 千円 ※うち 1,000 千円を青い羽根基金より充当

## 【最終】臨時休校中の食の支援についてのアンケートまとめ

回答数 99 名（5/4 配布対象者数 112 名）※全登録者 189 名、5/4 受取希望しなかった方あり

回答率 88.4%

| 性別 | 回答数 | 割合     |
|----|-----|--------|
| 男  | 51  | 51.5%  |
| 女  | 48  | 48.5%  |
| 合計 | 99  | 100.0% |

| 学校区分   | 回答数 | 割合     |
|--------|-----|--------|
| 小学校    | 31  | 31.3%  |
| 中学校    | 52  | 52.5%  |
| 義務教育学校 | 8   | 8.1%   |
| 高等学校   | 7   | 7.1%   |
| 特別支援学校 | 1   | 1.0%   |
| 合計     | 99  | 100.0% |

| 兄弟姉妹の人数 | 回答数 | 割合     |
|---------|-----|--------|
| 2 人     | 36  | 36.4%  |
| 3 人     | 25  | 25.3%  |
| 4 人     | 5   | 5.1%   |
| 5 人以上   | 2   | 2.0%   |
| 無回答     | 31  | 31.3%  |
| 合計      | 99  | 100.0% |

| 学年   | 回答数 | 割合     |
|------|-----|--------|
| 1 年生 | 3   | 3.0%   |
| 2 年生 | 2   | 2.0%   |
| 3 年生 | 6   | 6.1%   |
| 4 年生 | 5   | 5.1%   |
| 5 年生 | 5   | 5.1%   |
| 6 年生 | 14  | 14.1%  |
| 7 年生 | 15  | 15.2%  |
| 8 年生 | 19  | 19.2%  |
| 9 年生 | 24  | 24.2%  |
| 高 1  | 3   | 3.0%   |
| 高 2  | 2   | 2.0%   |
| 高 3  | 0   | 0.0%   |
| 無回答  | 1   | 1.0%   |
| 合計   | 99  | 100.0% |

Q1 毎日のお弁当配布と数日分の軽食（お弁当とパン等）とどちらが良かったですか。

|                | 回答数 | 割合     |
|----------------|-----|--------|
| 毎日のお弁当         | 26  | 26.3%  |
| 数日分の軽食（パンとお弁当） | 38  | 38.4%  |
| 両方             | 32  | 32.3%  |
| その他            | 2   | 2.0%   |
| 無回答            | 1   | 1.0%   |
| 合計             | 99  | 100.0% |

（「毎日のお弁当」を選択理由）

- ・ かしパンをあまりたべなかった
- ・ バランスの良い物ばかり弁当にはいていたから
- ・ お弁当がおいしかったと言っていました
- ・ とても助かりました
- ・ ご飯の方が、こどもたちも好きだったようです。とても楽しみにしていました。
- ・ 栄養がとれるから
- ・ パンはおやつがわりに食べてしまい。届いたその日にすべて食べきっていた事もあったので。
- ・ 大学のお弁当屋さんが美味しかった
- ・ あきずにおいしかった。
- ・ しょくひがかからないから
- ・ 栄養が取れる為
- ・ お腹にたまる
- ・ 今日何入ってるのか楽しみにしていました
- ・ パンは食べきれない

（「数日分の軽食（パンとお弁当）」を選択理由）

- ・ 毎日とりに行くのが大変だったので
- ・ 週に 1 度しか休みがなく、一日のみ対象だったため
- ・ もちはこびずらいので
- ・ 毎日行くのが大変
- ・ 毎日取りに行くことが難しいため
- ・ パンが好きだから
- ・ お弁当はあまり好きではなかった。パンは好きな時、食べれてよかったみたいです。一番飲み物が助かりました。
- ・ パンだけでも糖分とりすぎになるので、お弁当もありとても助かりました。アクエリはあまり合わないの  
で、牛乳がよかったです。
- ・ お弁当のおかずが食べられない物だとおかずがない！！
- ・ パンもあると、留守中におなかのすいたら食べられるから
- ・ 毎日取りにいくのが困難であったため。
- ・ お弁当の量が少し多かったみたいです。
- ・ パンは数日もつから。
- ・ 仕事の都合上、毎日取りに行けない。
- ・ とても助かったため、毎日とりに行くのが大変だった。
- ・ ピリッと辛い味付けのものがお弁当は多く、子どもが食べられなかった。最初の頃の軽食やジュース  
などの方がたすかりました。
- ・ 毎日取りにいくのは、本人が少し大変だったと言っていました。
- ・ 日もちがする為

- ・ 2ヶ所のお店で交互に提携してもらっていたが、「オーガファーム」は子の口に合わず、全然食べてくれなかった。
- ・ 毎日受取に行くのが大変。母校の学校に行くのが（しかも、しょくいん室の先生に声かける）いやだと子供が言っていました。だれでも、もらえるわけではないので～
- ・ おいしかったので
- ・ 取りに行く時が毎日だと付き添いができない為。
- ・ 学区外の為毎日取りに行けない為
- ・ 病院に行く日が週2回位あるので時間的に少々大変だった
- ・ 賞味期限が早いため

（「両方」を選択理由）

- ・ おいしかった
- ・ 食事の栄養が良かった
- ・ お弁当は、たんぱく質が摂れて良かったです。お腹もいっぱいになり、パンは普段あまり買わないタイプなので、子どもが喜んでいました。おやつにもなっていました。
- ・ 甘いパンはなかなか食べようとしませんでした。日持ちもしますし、いつでもおなかのすいた時食べたようです。
- ・ とてもたすかりました。
- ・ どちらも貴重な食料なので。
- ・ とても助かりました。（沢山食べさせる事ができたので。）
- ・ 途中から支援を受けました。理由はお弁当だと取りに行けない時間帯だったからです。でも、息子の都合で取りに行けた時、お弁当は大変喜んでました。おいしかったそうです。取りに行くのが問題なければパンよりお弁当の方が良いとは思いました。
- ・ お弁当は、野菜も入っていて、バランスが良くて良かったです。味もふだん食べさせてられないおいしいおかずがたくさんあり、喜んでました。毎日、学校に行くのも自しゅく生活にメリハリ出来ました。パンも多種多様で、分散登校で高校生の送迎も必要な日もあり、助かりました。
- ・ 親は毎日仕事の為
- ・ お弁当は、野菜も入っていて、バランスが良くて良かったです。味もふだん食べさせてられないおいしいおかずがたくさんあり、喜んでました。毎日、学校に行くのも自しゅく生活にメリハリ出来ました。パンも多種多様で、分散登校で高校生の送迎も必要な日もあり、助かりました。
- ・ 毎日の弁当は良かった。ただし毎日取りに行くのは少し負担だったようです。パン類も当日以外でも食べることが出来、ストック出来て良かった。
- ・ お弁当に野菜が多くバランスも良さそうだったので、親としてはうれしかったです。ただ、子供の好き嫌いがあり、残してしまうこともあったので。
- ・ お弁当、パンだけだと、飽きてしまう為。
- ・ 色々、食べれてよかったからです。とても、よろこんでいました。
- ・ パンだけでなく、ごはんも食べたいので。
- ・ どちらもとても助かりました。

Q2 食の支援をまた利用したいですか。

|     | 回答数 | 割合     |
|-----|-----|--------|
| はい  | 93  | 93.9%  |
| いいえ | 5   | 5.1%   |
| 無回答 | 1   | 1.0%   |
| 合計  | 99  | 100.0% |

（「はい」の理由）

- ・ おいしかったからです
- ・ おいしかったから
- ・ 助かるので
- ・ 急な休校で助かりました
- ・ 生活がたすかるから
- ・ お昼を作るのが大変だから
- ・ 子供の食事だけでなく、色々な食品をいただけて本当に助かりました。
- ・ 仕事で不在でも、子供のご飯の用意があるのは助かる
- ・ 取りに行けない日もあり、ご迷惑おかけしましたが、子供が喜んでいました。お弁当もとてもおいしかったそうです。オレンジジュースの原液？も喜んでいました。
- ・ 日中仕事にでなければいけない状況で非常に助かったので。
- ・ 経済的に助かるから
- ・ おいしかったから、食事を作る時間を取らずに助かりました。
- ・ 作る時間がない時は、すぐ助かったから、ありがとうございました。
- ・ 食事の心配（家で子供だけで料理をするなど）がなかった事。昼食を食べずに過ごす事がなかった。
- ・ 出費が大変でしたので、家計的にも助かりました。
- ・ 助かる。
- ・ すぐ助かった。
- ・ ご飯を作るのが、困難なときとても助かったから。
- ・ 仕事にいていて、子供の分作るのが大変だった為助かりました。
- ・ 親から食事をつくらなくてすむので少し負担がへるから。
- ・ すぐ助かりました。家族が多いので、お弁当をもらえたのは一番下の子だけだったのですが、おかずをわけて食べました。
- ・ 5月の食費がずいぶん浮き、経済的にも母の負担的にも大変助かりました。
- ・ 家庭のりゆうで、満足な食事を用意できなかったで、とてもたすかりました。
- ・ 大変助かりました。
- ・ 助かります。
- ・ 本当にたすかったからです。
- ・ 子供が喜ぶので助かります。

- ・ 働いているので、昼食分を朝作るのが大変で費用もかかる。
- ・ 家計負担がとっても減ったので助かった。
- ・ 生活がこんきゅうしているため
- ・ 仕事があり、色々難しい中、ありがたかったです。
- ・ 子どもが喜ぶものを、自分で買い与えることが困難なため。
- ・ 不安定な状況の中、経済面でも助かりましたが、それだけでなく、母一人で 3 人の子をかかえる中、とても心強かったです。
- ・ 学校が休みの時は助かるから
- ・ とても助かりました。
- ・ 大変助かりました。
- ・ 食費が助かる為
- ・ お弁当おいしいと子供たちがよろこんでいました。仕事もお昼の心配なく助かりました。
- ・ おいしいお弁当なら毎日でもうれしいです。
- ・ ない
- ・ テレワークにできない仕事の為、基本は子供だけの留守番が多かったから。
- ・ お昼代だけでも、給食費より費用がかかるので、食費が助かります。
- ・ 経済的に助かるから助かりましたので
- ・ 家庭で協力したいと思うが、必要になる時は、お願いしたいと思います。
- ・ 本当に助かりました。食事の不安がなかったため。
- ・ とても助かり、感謝できました。ありがたかったです。
- ・ 日中親が仕事でいなく、パンや冷凍食品など栄養のないものばかり食べているので
- ・ 食費が大変助かる為
- ・ 食べながら学校の話話が話せた
- ・ 不安定な状況の中、経済面でも助かりましたが、それだけでなく、母一人で 3 人の子をかかえる中、とても心強かったです。
- ・ 本当に助かりました。（食費が全然違いました）
- ・ すごく助かります
- ・ 栄養を考えるとお弁当はありがたかったです
- ・ 仕事へ母が行く為
- ・ 今回とても助かった為
- ・ すごく助かりました。

（「いいえ」の理由）

記載なし

Q 3 臨時休校中の食の支援について、感想・ご意見などございましたらお知らせください。

- ・ やくにたつしおいしいからです
- ・ よかった

- ・ すごくおいしかったし食費が助かります
- ・ たすかりました。ありがとうございました。
- ・ ありがとうございました
- ・ 食の支援で子供の生活リズムが崩れないでいられたと思います。ありがとうございました。
- ・ ご配慮いただきとても有難かったです。ありがとうございました。
- ・ お気持ちが大変ありがたかったです。お弁当の量・内容がもう少し子供向けだと嬉しかったです…。ありがとうございました。
- ・ 長期間ありがとうございました。とてもたすかりました。雨の中、学校までとどけてくださっている職員の方とても大変そうで本当におつかれさまでした。
- ・ 決まった時間に遅れて行ってしまったときも、対応していただいて、本当に助かりました。
- ・ できたら、吉野家やほっともとのチケットだと受取の必要がなかったのだとよいと思う。
- ・ 家から出る機会が増えて良かったです。
- ・ とても助かりました。子供達もお弁当を写真にとって、メールでその日のメニューをしらせてくれたり、楽しみにしていたようです。本当にありがとうございました。
- ・ もう一つのお弁当さんのメニューが辛かったのと、髪の毛が入っていたのは残念でした。
- ・ 大変に助かりました。
- ・ とても助かりました。パン飲み物は良かったです。
- ・ 食費が増えていく中支援していただいてすごく助かりました。ありがとうございました。
- ・ 食の支援のおかげでとても助かった。
- ・ おいしかったみたいです。
- ・ なし。
- ・ お弁当だけでなく、いろいろ支援していただいてとても助かりました。ありがとうございました。
- ・ 本当に本当にありがとうございました。初めのころのジュースは、普段買わないものなので、子供たちが喜んでいましたが、パンと併せると糖質が気になっていました。途中からアクエリアスになって、少しほっとしました。ご寄付いただいた皆様にも感謝します。
- ・ 子供自身で受取に行ってくれず、大変な所もありましたが、家にいる間の食の心配がなくなり、助かりました。
- ・ 自宅で 2 人での留守番だったので、心強かったです。
- ・ 給食とはありがたいものだと思いました。
- ・ 支援の大切さを家族で考える良い機会となりました。雨、風寒い日も嫌な顔せず丁寧に対応してくださった職員の方々に感謝です。本当にありがとうございました。
- ・ 常勤で働いているので、とても助かりました。感謝です。
- ・ つくば市独自の支援で、とても助かりました。ありがとうございました。
- ・ 毎日取りに行くのは大変でした。週 1～2 回まとめていただけると助かります。どうもありがとうございました。また何かありましたら、よろしくお願いします。
- ・ ありがとうございます！
- ・ ふだん食べられないステキなものをたくさん頂きありがとうございました。何より、心を支えて頂きました。

- ・ 学校が休みの時（自分の仕事の日）は、本当に助かりました。ありがとうございます。
- ・ コロナにより、仕事も収入もなくなってしまった時に、この様な制度？支援を知り、本当に助かりました！！親切な職員の皆様、本当にありがとうございました！
- ・ また何かありましたら、よろしくお願いします。
- ・ ありがとうございました。
- ・ とても助かりました。本当に感謝しています。ありがとうございました。
- ・ ダラダラした毎日で、昼まで寝ていたので、生活のリズムが取れた。外へ出かける事もなかったので、リフレッシュになれて良かった。たくさん食材を頂きまして、本当にありがとうございました。
- ・ とても助かりました。ありがとうございました。
- ・ とても助かりました。
- ・ 大変ありがたいです。
- ・ もう少し早くこの支援を知りたかった。
- ・ 援助をして頂き、子ども達の食事に大変助けられました。
- ・ 本当に感謝しています。ありがとうございます。
- ・ 子供の好きそうな食べ物などがあり、とても、工夫されていると思いました。みな様方に感謝でしかありませんでした。ありがとうございました。
- ・ 支援してもらえてよかった
- ・ ふだん食べれないステキなものをたくさん頂きありがとうございました。何より、心を支えて頂きました。
- ・ 本当に助かりました。ありがとうございました。飲物は出来たらヤサイジュースとか牛乳が良かったかなと思いました。
- ・ 本当に助かりました。ありがとうございました。
- ・ 安心して、仕事に行けて助かりました。ありがとうございました。
- ・ とても毎日仕事の為、助かりました
- ・ とても助かりました ありがとうございます。

以上

## 子育て世帯応援給付金（就学援助金分）について

### 【事業概要】

新型コロナウイルスの影響を考慮し、令和元年度の準要保護認定世帯のうち、令和2年5月12日時点において、つくば市の住民基本台帳に記録されており、児童生徒がつくば市立小学校、中学校、義務教育学校及び県立並木中等教育学校に在籍している世帯に3万円を支給する。（児童扶養手当受給世帯を除く）

### 【対象世帯数】

400 世帯

### 【事業の流れ】

- ① 学務課から対象世帯に案内を通知する。
- ② 対象保護者は、申請書に必要事項を記入し、返信用封筒で学務課に返送する。
- ③ 締切日（6月19日）までの申請者に対しては、7月10日に振り込み、締切日以降の申請者に対しては、随時振り込みを行う。

### 【今後の支援について】

令和2年9月末までに、令和2年度就学援助世帯及び新型コロナウイルスの影響で家計が急変した世帯（既に子育て世帯応援給付金、ひとり親世帯臨時特別給付金を受給している世帯を除く）に対し、子育て世帯応援給付金として一世帯3万円を支給予定。

また、新型コロナウイルスの影響で家計が急変し、就学援助認定基準（控除額は計算しない。）に該当する世帯に対し、家計急変世帯支援給付金として、就学援助相当額を支給予定。



# 給付等の日程 | 子育て世代の生活支援

(2020年7月1日現在)

つくば市

## 国の支援策

### 子育て世帯臨時特別給付金

児童1人当たり1万円 6/24 振込

**対象** 児童手当4月分受給世帯（特例給付を除く）

### ひとり親世帯臨時特別給付金

#### 基本給付

1世帯当たり5万円、第2子以降1人3万円

①は8月末 振込予定 ② ③は時期調整中

**対象** ① 児童扶養手当6月分の受給世帯  
② 公的年金給付等受給のため児童扶養手当の支給が全額停止されている世帯  
③ 新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変し収入が児童扶養手当受給世帯と同水準になっている世帯

#### 追加給付

1世帯当たり5万円 申請方法等を検討中

**対象** 上記 ① ② のうち、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した世帯

## つくば市独自の支援策

### 子育て世帯応援給付金

1世帯当たり3万円 7/10 振込

**対象** 児童扶養手当5月分受給世帯  
※全部停止者及び生活保護受給世帯を除く  
令和元年度の準要保護認定世帯のうち、上記を除く世帯

### 市民生活応援・物産事業者支援事業

市内物産品3,000円相当詰合せ 7月上旬 申請開始

**対象** 市内就学援助世帯  
※帰省を自粛した市内出身の県外学生なども含む。  
物産品は配送。

### 市民生活応援事業

1人当たり5,000円分の商品券 8～9月末 郵送

**対象** 18歳以下の市民（H14.4.2～R2.7.31の出生者）

※70歳以上及び障害のある市民も含む。（基準日：5月1日）  
商品券は市内店舗で11月末まで利用可、書留郵送

## 会 議 録

|             |                                                                                                                                                                                              |                                                                                                   |      |     |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----|
| 会議の名称       |                                                                                                                                                                                              | 令和 2 年度第 2 回つくば市こども未来懇話会                                                                          |      |     |
| 開催日時        |                                                                                                                                                                                              | 令和 3 年 2 月 9 日 午後 1 時 30 分～午後 2 時 45 分                                                            |      |     |
| 開催場所        |                                                                                                                                                                                              | 市役所 5 階 庁議室                                                                                       |      |     |
| 事務局（担当課）    |                                                                                                                                                                                              | 保健福祉部こども未来室                                                                                       |      |     |
| 出席者         | 委員                                                                                                                                                                                           | 藤田晃之（座長）、外山美樹（副座長）、中山光子、池田利基、和田雅彦、横山貴美子                                                           |      |     |
|             | 事務局                                                                                                                                                                                          | 毛塚副市長、小室保健福祉部長、吉沼教育局長、中山こども部長、他各部局次長、課長、室長等                                                       |      |     |
| 公開・非公開の別    |                                                                                                                                                                                              | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 | 傍聴者数 | 1 人 |
| 非公開の場合はその理由 |                                                                                                                                                                                              |                                                                                                   |      |     |
| 会議次第        | <div style="padding-left: 20px;"> 1 開 会<br/> 2 挨 拶<br/> 3 説明事項<br/> (1) こども未来プラン具体的達成目標について<br/> (2) 令和 2 年度事業進捗状況及び令和 3 年度の事業計画（案）について<br/> 4 意見交換<br/> 「充実・改善が必要な事業について」<br/> 5 閉 会 </div> |                                                                                                   |      |     |

＜審議内容＞

(00:00:04)

事務局 まだ、1名お見えになっていないのですが、時間になったので始めさせていただきます。

本日は、お忙しいところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。

ただいまから、令和2年度第2回つくば市こども未来懇話会を開催いたします。

開会に当たり、つくば市副市長の毛塚幹人より御挨拶申し上げます。

副市長 皆様、本日は、お忙しい中、今年度第2回の懇話会に御参加いただきまして誠にありがとうございます。本日もよろしくお願いします。

つくば市で、こども未来プランを策定したのが2019年の2月となりますが、それからおよそ2年が経ちました。本日のこの会議では、つくば市こども未来プランの目標を達成するために、今年度特に各事業の取り組みの状況ですとか、また、来年度の計画について御意見を伺えればというふうに思っています。

今年度の大きな動きとしましては、まず、こども未来支援員というスタッフをこども未来室で設けまして、そういった中で、アウトリーチの支援、市役所の3部局が連携しながら開始しているところであります。また、居場所づくりの支援事業についても、今年度の7月から始まりまして順調に推移しているような状況でございます。

このように、国のお金また市の予算、また、子供の未来応援基金、青い羽根基金、そういった予算を様々な活用を行いながら、こういった取り組みを幅を広げるような状況であります。

また、今年度、非常にコロナウイルスの影響を受けているところでありますが、これまで様々な取り組んできたことというのが、やはり我々市役所としても気づきにつながっておりまして、対応につながっているような状況であります。

例えば、学校の多大な御協力をいただきまして、学校でお弁当を配付することを手伝っていただきまして、給食が止まってしまったときなどに学校で弁当をお渡しして、家に届けるということもスタッフの限界だったりとか、個人情報の関係でなかなか事業者には伝えられないというところもありまして難しいという中で、学校にそういうふうに御協力いただきまして、あとは例えば、家でオンライン学習をするというときにオンラインのルーターを配付したりとか、それすらも買えなかった時期などは、学校で視聴覚室を開放していただいたりとか、また、臨機応変に対応していただきながら、今回のコロナウイルスの対応を行っていきました。

こういった時の話にはなるかもしれませんが、こういった状況というのは、まだ本年度で終わらず、来年度も引き続き続いていくものというふうに思っております。また、今後の状況に応じて臨機応変に対応していくことが求められるかと思っております。皆様の今回のフィードバックを頂きながら、我々も来年度に向けて準備を進めていきたいと思っておりますので、本日は、活発な議論をどうぞよろしくお願いいたします。

事務局 続きまして、資料の確認を行います。

まず、懇話会次第、委員名簿、資料1としまして、つくば市こども未来プラン具体的達成目標とつくば市こども未来プラン各事業別目標達成の一覧、資料2としまして、令和3年度事業計画案、添付資料としまして、つくば市こども未来プランと概要版、以上でございます。不足等ございましたら事務局までお申し出ください。

なお、新型コロナウイルス感染症対策のため、本日の会議時間は1時間程度といたします。各部局の説明に関しては、簡略かつ明瞭な説明を心がけていただきますようお願いいたします。

これより、懇話会の進行は、座長である藤田委員にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

藤田座長 皆様、改めまして、こんにちは。今日もどうぞよろしくお願いいたします。

今、御説明ございましたように、今日は 1 時間程度というふうにコンパクトな時間でございますので、最大でも 2 時 40 分くらいを目安に進めてまいりたいと思います。ですので、御説明いただく際には、ぜひ明瞭かつコンパクトにお願いいたします。

また、御意見いただく各委員におかれましても、ぜひ明瞭に、また手短に御発言いただけたらと思っております。よろしくお願いいたします。

それでは、議事に入る前に、外山副座長から御挨拶いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

外山副座長 皆さん、こんにちは。筑波大学の外山美樹と申します。1 回目の懇話会には出席できずに大変失礼いたしました。私は、大学で教育心理学という分野を専門としております。少しでも皆様のお力になればというふうに考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

藤田座長 同じ大学に勤めていながら、まだ、大学の中で会う機会がなくて、本当に不思議な感覚がいたします。

それでは、議事に入ってまいりたいと思います。次第 3 の説明事項 1、こども未来プランの具体的な達成目標について、事務局のこども未来室から御説明をお願いいたします。

保健福祉部（こども未来室） こども未来室です。説明させていただきます。

つくば市こども未来プラン具体的達成目標と各事業別達成度目標の一覧についてということで、お配りさせていただいた資料のつくば市こども未来プランを御覧ください。

つくば市こども未来具体的達成目標はプラン 3 ページの記載のとおり、①自己肯定感を持つ児童生徒の割合の増加、②将来の夢や目標設定力を持つ児童生徒の割合の増加、③家庭学習の習慣づけができる児童生徒の割合の増加、④「よ

く分かる」「分かる」を実感できる児童生徒の割合の増加、⑤希望者全員の高校進学・卒業、以上の五つの目標になっております。

この具体的達成目標は、続きまして、プランの 4 ページ、5 ページにて七つの項目に分類した具体的実施事項に記載のある各事業を実施していくことにより目標の達成を目指しています。具体的実施事項の各事業について、前回のこども未来懇話会にて御指摘をいただきましたアウトプット、アウトカムの観点を取り入れるため、今回より資料 1、事業別目標達成度一覧に、目標値、成果の項目、アウトプット、アウトカムの項目を入れて作成をしました。

次に、資料 1、つくば市こども未来プラン具体的達成目標を御覧ください。こちらの資料は、各五つの具体的達成目標に 2019 年度から 5 年後の 2023 年度までの目標値と実績値を数値として表す表としております。この表には、現時点で最新の数値を表示していますが、変更点が二つあります。一つは、具体的達成目標①から③の実績値に、全国学力・学習状況調査の数値を使っておりますが、6 年生と 9 年生の 2 学年でしか調査ができないことから、本市で 4 年生から 9 年生の 6 学年で実施している総合質問調査紙 i - c h e c k の実績値を使うこととしました。二つ目は、具体的達成目標④にて、つくば市調査アンケートが廃止となっているため、全国学力・学習状況調査の同内容の質問事項から実績値を抽出し、表示をすることとしました。

なお、総合質問調査紙 i - c h e c k と全国学力・学習状況調査の具体的な内容及び具体的達成目標、④の全国学力・学習状況調査と具体的達成目標、⑤の学校を通じた調査の令和 2 年度の実績値については、この資料の説明後に、担当課の学び推進課から補足説明をしていただきたいと思います。

また、五つの具体的達成目標の各年度の目標値は、今後の懇話会の意見を参考に設定していきたいと考えております。

続いて、同じく資料 1、つくば市こども未来各事業別目標達成度一覧を御覧ください。こちらの資料は、具体的実施事項の各事業ごとに目標と目標値を設

定し、具体的達成目標と同じく、2019 年度から 5 年後の 2023 年度の目標値と実績値の数値を表示しております。さらに、アウトプット、目標の数値によって見えてくるアウトカム、成果について、担当部署での見解を課題等を集めて記載しております。

この資料の詳細については、会議次第 3（2）の令和 2 年度事業進捗状況として、資料 2 の令和 3 年度事業計画案と併せ各担当部署より説明をしていただきたいと思います。こども未来室からの説明は以上となります。

最後に、総合質問調査紙 i - c h e c k と全国学力・学習状況調査と学校調査につきましては、学び推進課のほうから補足事項の説明をお願いいたします。教育局（学び推進課） 学び推進課になります。今、お話があった④、⑤についてなのですが、④のほうの小中一貫アンケートのほうは、こちらのほうはもう実施しておりませんので、数値のほうが入っておりません。それから、本年度なのですが、全国学力・学習状況調査のほうも、今まで日にちを定めてやっていたのですが、日にちのほうを定めないのでやるということで、実施はしているのですが、質問紙の項目、今、学び推進課のほうで集計していますので、かなりの人数で、まだ最終までが出ていないということで記載されておられません。

それから⑤なのですが、こちらは毎年、まだ進路の途中ですので、今年度の結果というものが記載できませんので空欄となっております。補足のほうは以上になります。

藤田座長 ありがとうございます。ただいま、こども未来室及び学び推進課から御説明をいただきました。私、この資料、本当に一べつして、あ、変わったなと思いました。アウトプット、アウトカムが括弧の中に明確に書かれていて、書式からして大きく変わってきて、非常に前に進んできているなど実感した次第です。

委員の皆様、御質問、御意見ございますでしょうか。ぜひ積極的にお願いい

たします。

それでは、議事のほうの二つ事項ございますので、全部まとめて御説明いた  
だいてから、また御質問、御意見賜ることができるかと思しますので、次第の  
3 の説明事項（2）令和 2 年度の事業推進状況及び令和 3 年度の事業計画（案）  
について、保健福祉部から御説明をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

保健福祉部（こども未来室） 保健福祉部こども未来室より説明させていただきます。

説明は、資料 1、つくば市こども未来プラン各事業別目標達成度一覧と資料  
2、令和 3 年度事業計画（案）（つくば市こども未来プラン）を用いて行いま  
す。各事業ごとに、まず資料 1 で、事業の目標と本年度現時点までの実績、ア  
ウトプットとアウトカムを説明させていただき、次に、資料 2 で来年度に向け  
た事業の計画案を説明させていただきます。なお、会議時間の関係で、前回の  
第 1 回懇話会で説明した各事業の基本的な部分については、今回、割愛させて  
いただきます。よろしくお願いいたします。

まず、資料 1 の 1 ページ目の上段を御覧ください。つくばこどもの青い羽根  
学習会です。この事業の目標は、市内全中学校、義務教育学校 16 か所に開設す  
ること、そして学校内、学習支援としてのはやぶさ教室の充実を図ることとな  
っており、目標値としては、その学習支援拠点数をこども未来プラン策定から  
5 年目に当たる令和 5 年度、2023 年度に 16 か所にすることを掲げています。

今年度の実績値、アウトプットですが、プラン策定時 3 か所だった教室が、  
はやぶさ教室 4 教室を含む 14 教室となっています。アウトカム、成果としまし  
ては、一つは協働事業として各教室のカラーがあることで、利用者に選択肢を  
提供できていることが挙げられるかと思えます。また、アンケートでは、今年  
度はコロナの関係でまだ実施できていませんが、昨年度の声として、テストの  
点数が上がった、勉強の習慣がついてきたなどの御意見を頂きました。



また、うまくいった支援の一例としては、長期間の不登校期間を経て学習会を利用したことで、9年生が無事高校に進学し、高校生になった今も継続して利用している子もいます。

続いて、資料 2 の 1 ページ目を御覧ください。来年度なのですが、学校拠点型はやぶさ教室を 1 か所、学校外の拠点を 1 か所、合計 2 教室を増設する予定です。学校外の教室については、これまで空白地域となっていた北部、筑波地区になる予定で、秀峰筑波義務教育学校を拠点とする北部担当のスクールソーシャルワーカーとの連携も今後より一層行っていけたらと考えています。

また、ここにあるその他としまして、桜並木学園における N P O 法人 L e a r n i n g f o r A l l による学習支援モデル事業の現状についても報告させていただきます。

8 月、例年より短かった今年の夏休みですが、そこで夏期プログラムを行いました。そして、小学校では 11 月から、中学校ではこの 2 月から秋冬プログラムが始まりまして、現在実施中です。このモデル事業ですが、2 年目ということで学校との関係も深まったように感じています。例えば、夏のときですが、和田校長先生がいらっしゃる桜南小のほうでは、最初の授業が始まる前に、学校の先生たちが昨年度と同じように教室内の机を並べ変えてくださるということがありました。

また、中学校のほうでは、冬プログラムの生徒募集のときに、事業の趣旨をよく御理解いただいて、支援が必要な子に個別の声かけをしてくださったので、19 人もの生徒が集まりました。同じく学校内で支援を行うはやぶさ教室もそうなのですが、普段通う学校内で学習支援ができるという強みを、これを最大限に生かすためには、このような学校の御理解、御協力が不可欠なので、来年度以降も連携を強化していきたいと考えております。

次に、資料 1 の 1 ページ目の中段、居場所づくり支援事業、青い羽根のいえについて説明します。事業の目標は、プランにあるように、つくば市に必要な

居場所づくりの検討ということで、その拠点数を目標値に据えています。今年度の実績としましては、まずは、とにかく 1 か所開設できたこと、ゼロを 1 にできたということが大きいかと思います。そしてもちろん、そこでは初年度ならではの試行錯誤、悩みもありますが、事業者や関係機関との手探りの中ではありましたが、それでも計 5 人の子どもたちに安心できる居場所を提供できているのかなと考えています。

5 人それぞれが複雑な環境や背景を抱えていますが、不登校だった子が登校を再開できるようになったり、集団生活が送れない子が友達ができたりと、一人一人に良い変化が見えています。ただし、親の都合で突然、転居が決まり支援が途切れてしまった子もいたりして、改めて保護者を含めた包括的な世帯支援が必要であることを痛感し、それが今後の課題となっています。

来年度につきましては、資料 2 の 1 ページ目の下の段になるのですが、通年で実施すること、送迎を市内全域に拡大するという事で予算を拡充する予定です。また、前回の懇話会でも触れましたが、青い羽根のいえへ子どもたちをつなげるには、その子の置かれている状況、また支援のニーズを十分に把握した上でアウトリーチをする必要があるため、スクールソーシャルワーカーや子育て相談室の協力が非常に重要で、3 部局の連携なしには継続していくことができない事業です。今後も引き続き連携していきたいと思っています。

続きまして、子どもの学習塾代助成です。資料 1 では、1 ページ目の下の段、資料 2 では、2 ページ目の上段になります。こちらプランでの事業目標は、利用状況を踏まえて拡充を検討となっており、その利用者数を目標値としています。実績は、昨年度はまだ周知が足りなかったのか 13 名の利用にとどまりましたが、今年度は 6 月までに予算額に達し、計 21 名が利用しています。昨年度のアンケートでは、助成金のおかげで授業のコマ数を増やすことができた、希望する高校に進学できたとの声を頂いています。

来年度は、今年度申請の先着順だったものを、高校受験を直前に控える高学

年を優先する学年順にするなど、対象者の選定方法を変更する予定です。

保健福祉部（こども未来室）　続きまして、資料 1、2 ページのみんなの食堂事業補助金について説明させていただきます。

こちらは、子どもから大人まで、みんなの居場所を提供するということで、5 年後の目標が 10 団体運営できるように、みんなの食堂補助金を出して実施していただくというものになります。今年度の実績値ですが、現在、5 団体に補助金の支給が決定しております。成果、アウトカムとしましては、平成 31 年 10 月に、子ども食堂支援事業補助金を制定したことによって、子ども食堂の立ち上げが活発化しまして、新規団体が幾つか出来上がりました。また、昨年度の年末に、みんなの食堂パンフレットを制作したことにより認知度が向上し、新規開設の問い合わせが増えました。

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、外出自粛の期間中、公共施設が利用できなくなり、みんなの食堂での会食が中止となりましたが、団体の自主的な活動で、会食から弁当への配付に変えて支援を継続したところもありました。現在、お弁当を提供しているところは 3 か所になります。

来年度の予算なのですけれども、資料 2 の 2 ページ下段のところに移っていただきまして、予算額としましては、今年度と同様の 50 万円を来年度計上しております。まだ、今年度も 10 団体には交付できていないので、普及啓発を図って多くの団体に使っていただけるよう進めていく予定です。

度々すみません、資料 1 に戻っていただきまして、資料 1、2 ページの中段のところですか。アウトリーチ支援の実施を御覧ください。こちらは支援状況一覧から抽出した見守りの対象者に、地域や N P O と連携しながらアウトリーチを実施するというものになります。今年度は、アウトリーチ支援モデル校 10 校で実施しまして、さらに、新たにこども未来支援員を 4 名配置してアウトリーチ支援を実施しました。今年度 10 校で拡大して実施したことにより、就学援助受給世帯で、これまで紙の案内だけではつながらなかった児童生徒が、青い羽

根学習会につながったケースのほか、不登校の児童が、居場所づくり事業、先ほどの青い羽根のいえ事業になりますが、こちらにつながって、引きこもりや不登校だった子が学校に戻ることができたなどといったケースがございました。

来年度以降は、アウトリーチ支援対象校を 2 校ずつ増やしていきまして、5 年後の最終年度には、現在、市内 45 校あるその半分、約 22 校まで実施できるよう考えております。

次に、予算に移りまして、資料 2、4 ページのところ、データベースみまもり、アウトリーチ支援の実施の部分を御覧ください。予算額は、こちら変わらないですけれども、アウトリーチ支援員を来年度も雇用しまして、支援対象校を 10 校から 12 校に増やして支援を行っていく予定です。

あと、すみません、目標の中にはないのですが、資料 2、3 ページの上段のところ、ボランティア登録説明会を御覧ください。青い羽根学習会、居場所づくり事業、みんなの食堂事業の運営につきまして、多くの市民の力が必要となることから、ボランティア登録説明会を市のほうで準備して、市民の参加を呼びかけております。今年度は、コロナのために、年 2 回程度の予定を開催 1 回だけでしたが、来年度は 2 回実施してさらなる拡大を図っていきたいと考えております。以上になります。

保健福祉部（こども未来室） 最後に、資料 1、2 ページ目のつくば市こども未来懇話会、こども未来庁内連携会議、こども未来支援担当者会議について説明します。

資料 1 の 2 ページの一番下段になりますが、目標としまして、今回、懇話会を 2 回目ということで、懇話会を 2 回、庁内連携会議は 3 回の予定として考えているのが令和 2 年度になります。3 年度と 4 年度、5 年度につきましても、同じ懇話会は 2 回、庁内連携会議については随時ということで進めていきたいと思っています。

成果としまして、懇話会の開催としたことによって、各 3 部局の連携を、構築を図ることができているかと考えています。また、回数については、令和元年度、4 年度、5 年度も随時というかたちにはしているのですが、こちらの懇話会、庁内連携会議については、必要に応じては回数のほうをより多くして対応していきたいと考えています。

資料 2 の 4 ページ目の下段、つくば市こども未来懇話会の欄、予算につきましては、本年度と来年度も同じく同額の 14 万円ということで、懇話会を 2 回、継続して実施を行っていこうと思っています。開催状況の内容については、その表に記載がされておりますので以上になります。一旦、庁内こども未来懇話会の話は以上になるのですが、もう一度代わりますので、ちょっとお待ちください。

保健福祉部（こども未来室） 一つ抜けてしまいました。資料 2 の 3 ページの下段、あっちこっちいってすみません。学習支援マニュアル研修会というところ、連絡会議という部分、こちら資料 1 のほうには特にはないのですが、今年度は、コロナ禍の影響で夏に e ラーニング教材による研修を実施しました。今後、来月 3 月に、オンラインでの研修を実施する予定になっています。また、学習支援事業者、居場所支援事業者を集めての連絡会議は、9 月に一度実施し、次は、来週 2 月 17 日に第 2 回目を実施する予定です。そこでは、コロナ禍での青い羽根学習会を中止していた期間の各教室の対応を念頭に、今年度の振り返りや来年度に向けたこれからの学習支援のあり方について話し合っていきたいと考えています。

今後も、各事業者と連携しながら、さらには事業者間の連携をより強化しながら、点ではなく面で支援ができるように、支援の質の向上を図っていききたいと思っています。こども未来室からは以上です。

藤田座長 ありがとうございます。今、ホチキス留めの資料 1 の 1 ページ目、2 ページ目、それから資料 2 の 1 ページから 4 ページを中心に御説明いただき

ました。全体、長いので、一旦ここで時間を取らせていただいて、御質問、先ほどの説明事項1に戻っていただいても結構なのですが、御質問事項、御意見事項ございませんでしょうか、委員の皆様。

私から、ではよろしいでしょうか。

資料1の1ページ目なのですが、中段なのですが、保護者の御都合で転居なさって支援から離れてしまった事例があったというふうなことが御説明いただいたわけですが、その離れた後の引き継ぎというのは、どのようになされたのかということについて、もしお分かりであれば教えてください。

保健福祉部（こども未来室） 離れてしまったと、つい直近に離れたばかりではあるのですが、この世帯に関しては、こども未来室、また子育て相談室、あと教育局のスクールソーシャルワーカー全てが関わっていた世帯になっています。あとは、社会福祉課のほうも入っていたのですが、そういったところで連携を取りながら、転居がなるべくスムーズにいけるようにというところで行いました。

例えば、生活保護に関していえば、ケースの記録を転居先の自治体の福祉事務所にお送りするですか、子育て相談室のほうであれば、子育て、家庭相談の部署に情報の引き継ぎを行っていますし、学校に関しては、転居した後も、卒業を控えている子だったので今も学区外で市内の学校に籍を残したということで、まだ、スクールソーシャルワーカーが関わってしまして、そういった形でまだちょっと関わりが残っています。

あと、居場所としましては、行った先でも同じような支援、なかなか居場所としての支援はないのですが、学校外の学習支援ですかそういったものの案内をさせていただきました。

藤田座長 ありがとうございます。ということは、今、具体的には、まだ、通学先は変わらない状況でいらっしゃるわけですね。

保健福祉部（こども未来室） 厳密には、不登校の子だったので籍は変わらず

です。

藤田座長 分かりました。そういった意味では、引き継ぎについては十分御配慮いただいているということで承りました。ありがとうございます。

ついでにもう 1 点なのですけれども、今日も冒頭で御説明いただきましたことも未来支援員、今年度から新規だと思うのですが、資料の 1 の 2 ページ目のちょうど中段に 4 名を新たに配置するというふうにございますけれども、この配置状況とそれから具体的な職務について、もうちょっと詳しく御説明いただくことは可能ですか。

保健福祉部（こども未来室） 今年度から 4 名配置となったのですが、お 1 人当たり週 2 日の勤務で 7 時間 1 日当たり来ていただいております。主には、データベースみまもりから気になる子を抽出したお子様に対して支援案を検討し、一旦、学校のほうとも担任の先生と状況把握、確認させていただいて、その後、今、月 1 回 3 部局の会議を開いているのですけれども、こども部子育て相談室、教育局、スクールソーシャルワーカー、あと私たちのこども未来室で、プランを立てた子どもに対して、この支援でいいのかというケース検討の会議です。そして実際に、家庭訪問なり、電話なり、学校での相談なりを受け付けております。

藤田座長 ありがとうございます。今、こども未来支援員になられた方というのは、これまでどういう携わりがこのプロジェクトにあったのか、もし何かお分かりの範囲で、どういった方が今活躍されているのか、概略だけ教えていただけますか。

保健福祉部（こども未来室） これまでの経歴ということになりますか。

藤田座長 どういう御活躍をされていたのかとか、そういうことなのですが。

保健福祉部（こども未来室） お 1 人の方は、昨年度まで子育て相談室で家庭相談員を 30 年近くされた方になります。もうお 1 人の方は、元校長先生の方で学校現場をよく知っている方になります。そのほか、県のスクールソーシャル

ワーカーを兼任している方、あとはスクールサポーターを長年やられて私たちの青い羽根学習会の学習支援のほうも運営されていた方になります。

藤田座長 ということは、このつくば市こども未来にも、プランに基づく様々な事業について深く御存じの方をお願いできているということによろしいですね。

保健福祉部（こども未来室） そうです。

藤田座長 ありがとうございます。

それでは、私のほうから、二つ質問させていただきましたが、ほかの委員の皆様いかがでしょうか。御質問、御意見あるいは情報提供でも結構です。

池田委員、お願いします。

池田委員 資料 1 のつくば市こども未来プラン具体的達成目標のところなのですけれども、この i - c h e c k というのは、つくば市の子ども全員を対象にした数値なのですか。

保健福祉部（こども未来室） 冒頭で説明あったかと思うのですけれども、4年生から9年生ということで行っています。低学年に関しては文書を読み取って答えるのが難しいということで、4年生からということで実施しております。

池田委員 ありがとうございます。見せ方として、もしかしたらなのですけれども、いろいろ事業があるじゃないですか、青い羽根学習会とか、居場所づくり支援事業とか、学習塾代助成、食堂支援事業それぞれあると思うのですけれども、それぞれを参加した子どもごとのデータをこの表に並べると、より分かりやすいのじゃないかなと思ったところが一つです。

あとは、混乱したところがあって、資料 1 なのですけれども、この具体的達成目標ともう 1 個、各事業別目標達成度一覧の 4 ページにも i - c h e c k あるじゃないですか、両方とも自己肯定感を測定されているようなのですけれども、これは質問項目が違うから数値が違うのですか。

教育局（学び推進課） 学び推進課です。質問項目はちょっと違っていたので、



数値的にずれが出てきています。

池田委員 分かりました。これって統一したりしないのですか。

教育局（学び推進課） 今年度、最初の御質問あった部分なのですが、具体的に達成目標の数値のほうを、ここを i - c h e c k を使うということで大幅に変えまして、もともとあったものと若干そこがずれが出てしまったということで、今後そこは3部局の中で協議を進めていきたいなというふうに考えております。

池田委員 分かりました。あとは、ちょっと参考にさせていただきたいところがあって、i - c h e c k って全部で何項目で構成されているのですか。

教育局（学び推進課） 大項目が四つになっていまして、さらにその下に下位項目があるのですが、項目によって若干違っています。一番多いところで七つ、一番少ないところで下位項目が二つになっております。

池田委員 その中に、自己肯定感を測定するカテゴリーがあるということですか。

教育局（学び推進課） i - c h e c k の中では、自己認識というような大項目になっている部分が自己肯定感だというふうに考えております。

池田委員 それが複数の項目で成り立っているのですよね。それをそのままこの指標に持ってくることはできないのですか。というのも、多分一つの項目で測定するのって結構限界があるなと思っていて、複数項目の平均値を指標にしたほうがいいのじゃないかなと。

教育局（学び推進課） 最初、そのほうがいいのかなと思ったのですが、若干自己肯定感と違うような下位項目も入っているので、取り出してというふうな形で数値のほうを出しました。

池田委員 分かりました。僕のほうからは以上です。

藤田座長 ありがとうございます。ほかにございますか。

外山先生お願いします。

外山委員 外山です。せっかく委員の質問が出ましたので、私のほうからお聞きしたいのですが、今回、支援の対象が、経済的に困難下である子どもと、その他の一般的な子どもを対象にされていると思うのですが、例えば、先ほども自己肯定感のような項目が経済的に困難を抱える子どもにおいての点数が低いとか、そういったように至ったのでしょうか。自己肯定感に限らず家庭学習の習慣づけができているかとか、いろいろな項目が取られていると思うのですが、一般の子どもたちよりも経済的に困難を抱える子どものほうが点数が低いとか、そういったデータってあるのでしょうか。

教育局（学び推進課） 学び推進課のほうでは、そこまで精査はしていません。あくまでも、学校のほうは、これを使いまして、教室での子どもたちの関係、そういうところを見ているところで重点を置いております。もしかすると、データベースみまもりのほうで、さらにそういうところを精査をしていく必要があるのかなというふうに考えております。

藤田座長 どうぞ。

保健福祉部（こども未来室） こども未来室ができる前の年度に社会福祉課のほうで、つくば市内の子どもの貧困の生活調査というものを実施してまして、そこでざっくりとですが、貧困の世帯のお子様とそうでないお子様の比較が出ております。そこでは、学習環境に差があるということで、このこども未来プラン、それにのっとりまして学習支援を中心に進めていきたいと思います。

藤田座長 ありがとうございます。

今、池田委員からの御質問、それから外山副座長からの御質問、非常に重要かと思います。この i - c h e c k は、設計上 I D がついていて、個別データが全てひもづけられるようになっている性質のものなのか、それともともとそういうふうな設計にはなっていないのかというところはどんな状況ですか。

保健福祉部（こども未来室） i - c h e c k そのものについては、そこまで

## 様式第 1 号

なっていないのですけれども、ほかの部局のデータとひもづけをしまして、こちらのデータベースみまもりのほうで、そういうところも読み取れるようにということで、こども未来室のほうで進めているところです。

藤田座長 ありがとうございます。複数のデータを扱うのは非常に難しいかと思うのですが、やはりせっかく子どもの時間を使って先生方の御協力を得て取っているデータですので、有効活用ができるように、やはり一層工夫を重ねていただければと思います。

ほか、いかがでしょうか。

藤田座長 よろしいですか。そうしましたら、全体御説明いただいてから、また戻ってまいりたいと思います。

それでは、次に、教育局から御説明いただきたいと思います。

お願いいたします。

教育局（教育相談センター） それでは、資料 1、3 ページ上段を御覧ください。

事業名スクールソーシャルワーカー配置事業になります。この事業は、令和元年度からの新規事業ということで、昨年度は、相談件数が非常に多く、12 月には活動時間を抑制するような事態となりました。それを受けまして、令和 2 年度は、令和元年度と比較しますと活動を両方 2 倍にして、人員を 1 人増やして対応いたしております。

今年度は、9 月末現在で 1,096 時間活動で、延べ児童相談者数が 268 名、連携職員数が 1,099 名となっており、一つ一つの案件に時間をかけて丁寧に会話できる環境が整備されました。

成果といたしましては、学校側の件数も増えてきて対応も十分にできるようになってきたのですが、今後の課題といたしましては、学校側がスクールソーシャルワーカーの手法や知識を利用、経験することで、自らも実践できるよう

な体制を構築していく、スクールソーシャルワーカーのスーパーバイザーによる研修実施などが望ましいというふうに考えております。

続きまして、資料 2 の 5 ページ上段を御覧ください。令和 3 年度の予算になります。今年度、3 名に増やしまして対応してきたのですが、9 月末現在の様子を見ますと、昨年度はこういうペースでございますが、現予算体制で十分対応ができるというふうに判断いたしまして、予算は今年度、令和 2 年度と同程度の予算ということで考えております。以上でございます。

藤田座長 ただいまの教育局から御説明いただいたわけですが、資料 1 につきましては 3 ページ、そして資料 2 につきましては 5 ページを中心に御説明いただきました。御質問等ございますか。事務局のほうから何かございますか。

教育局（教育局長） すみません、教育局、まだ事業あるので、まとめて説明させていただいてよろしいですか。

藤田座長 お願いいたします。

教育局（生涯学習推進課） 生涯学習推進課です。つくば未来塾ということで実施をさせていただいております。資料 1、実績のほうですけれども、まず、アウトプットとして、昨年同様 16 校、中学校、義務教育学校全ての学校で実施を行っております。目標どおりの達成ということで、アウトカムとしては、生徒の苦手な問題に取り組むなど、学習チューターと一緒に学ぶことによって課題を解決する際の喜びを感じていくと、その中で分かる喜びを感じていくということで、学ぶ意欲が増してきているということが言えると思います。学習習慣も身につけていく中で導入を図った子が挙げられるのではないかとこのように考えております。

あと予算のほうなのですが、資料 2 の 5 ページの下段、今年度同様の実施を行っていきたいということで、ほぼ同額の予算を計上させていただいて、確保していきたいというふうに考えております。ただし、また国の補助金が削減される可能性もあるので、そこは一般財源を充当するというような形でも、

また検討していかなきゃいけないのかなというふうには考えております。以上でございます。

教育局（総合教育研究所）　続きまして、総合教育研究所です。資料 1 の 4 ページ、資料 2 は 6 ページの上段を御覧ください。オンライン学習環境整備事業でございます。まず、目標なのですが、児童生徒が各家庭でオンライン学習に取り組むことができるネットワーク環境を整備するというのが目標でございます。実績値、令和 2 年度の実績値でございます。まず、学習用端末貸し出しにつきましては、391 台貸し出しました。国の提唱するギガスクール構想の 1 人 1 台端末の前倒しで用意した貸し出し端末ですが、1 月に一旦、引揚げまして、3 月から児童生徒の 1 人 1 台の端末配置の一部となり配備が完了しました。よって、臨時休校等による家庭への持ち帰りによるオンライン学習が、その 1 人 1 台端末で可能となるため、令和 2 年度限りで貸し出し端末のほうは事業を終了させていただきます。

W i F i ルーター貸し出しについてです。令和 2 年度実績値としましては、244 台貸し出すことができました。令和 3 年度においては、年度当初にネットワーク環境の整備状況等に関するアンケートの実施を予定しておりますが、貸し出しの対象となる世帯の選定方法等につきましてはどうするかということは今、検討しているところでございます。なお、目標値なんですけど、数値化が大変難しいため設定しておりません。

資料 2 のほうの来年度予算案ですが、そこにありますように、W i F i ルーターのほうを、本年度と同様の感じで計上させていただいているところです。以上です。

教育局（学び推進課）　続きまして、i - c h e c k のほうの説明をしたいと思います。先ほどの御質問等で大体のことは説明はしたかなとは思いますが、けれども、細部について、何点かお話しさせていただきたいと思います。

昨年度から i - c h e c k のほう事業として始めましたが、昨年度は、6 月

までに実施をしまして、その結果を夏休みの面談で活用するという、このような流れで昨年度導入いたしました。ただ、本年度は、新型コロナウイルス等臨時休校等ありましたので6月に実施することは難しいということで、9月後半から10月にかけてということで実施をしております。一旦、実施したものをそのi - c h e c kの会社のほうに出して戻ってくるまで、また1か月程度かかってしまいますので、本年度、面談等にもなかなか使えなかった。それから、子どもたちに返す部分も、この資料を作っているところではなかなか難しいという部分がありまして、今年度は成果のところがちょっとかなり薄くなっていました。次年度、予定どおりの6月にできれば、こちらのほうを有効に使っていきたいと思います。

それから、数値なのですが、R1とR2で79、77.3ということで、若干今年度下がっているのですけれども、ほかのものを見てもR1とR2で大きく変化はしていないのかなと思います。逆に、最初の具体的目標なんかで見ますと、②の項目なんかは今年度のほうが上がっています。こちらのほうは、先ほど総研所長からあったように、オンライン学習、こちらを早く対応しまして、臨時休校中でも学習支援のほうを行って、子どもたち、生活のほうも安定した成果なのかなというふうに分析をしております。

それから、資料2のほう、6ページの下のところなのですが、来年度のi - c h e c kの予算なのですが、4年生から9年生、今年度よりも若干増加しますので、増加分の拡充ということで予定をしております。以上です。

藤田座長 ありがとうございます。それでは、今、教育局から御説明いただきました。皆様方から、御質問ございますでしょうか。

横山委員 質問じゃなくてもよろしいですか。

藤田座長 もちろんです。横山先生お願いします。

横山委員 学園の森の横山でございます。今、幾つか説明いただいた中で、学

校で事業を実施しているものがありますので、その状況をお伝えできればと思っています。

まず一つ目が、つくば未来塾です。今年、コロナ禍で子どもたち非常に精神的にも不安定で、学習への取りかかりも難しい状況がありました。実際に、未来塾を開催しましたところ、最初はなかなか子どもたちが集まらず、どうなるのかなと心配した局面もありましたが、徐々に子どもたちが増えてきて、子どもの様子を見てみると、うちは大学院生が来てくれていたのですが、その人たちとのコミュニケーションを取りながら学習を深化していく様子が見られました。徐々に人数も増え、安心して学習ができるような状況になってきましたので、非常にありがたい事業で成果があったかなと思っております。

それから、オンラインに関してなのですが、学習用端末をお借りすることができて非常に良かったです。と申しますのは、コロナ禍になりオンラインで授業をやらなくてはいけないとなったときに学校が危惧していたのは、それを受け取れるだけの家庭の I C T 環境があるかというところだったのです。そこがきちんとしていないと格差がどんどん出てしまい、それで進めてもいいのかなという危惧がありました。早速対応していただいて、貸与してくださるということでしたので、安心してこちらもオンラインの授業を進めることができました。これも非常にありがたいなと思っています。

また、i - c h e c k の件なのですが、先ほど、学び推進課の課長さんのほうから、なかなか本年度は面談に使えないとか、それから子どもに返す部分が少ないというお話がありましたが、確かにそれはあったかと思うのですが、i - c h e c k の結果は、可視化されて学校に戻ってきました。子どもたちがどんなことで自分が支えられていると感じているかという部分で、家庭、友達、先生などの項目があるのですが、その結果を担当がわかり、学級経営に役に立ちました。私たち管理職としましても、今どのクラスがどんな状況になっているのかというのが分かりやすくグラフ化されておりましたので、

## 様式第 1 号

そういう面では改善に結びつき、非常にありがたい事業だったと感じています。一応学校からの状況です。

藤田座長 横山先生、ありがとうございます。今、御説明もございましたし、非常に効果があったというふうなお話でした。横山先生は、今、お話の中でも触れられた学習端末なのですけれども、先ほどの御説明では、391 台、市内全体としてはということですが、先生の学園の森ですと、必要性のあった子どもたちには行き渡ったというふうな御理解なさっていますか。

横山委員 そうです。申請を出されたところは、ほぼ頂けましたので、ありがとうございます。

藤田座長 良かったです。ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。御質問あるいは情報提供ございますか。

和田先生、お願いします。

和田委員 桜南小学校の和田雅彦です。ただいまの横山先生につけ足しましてお話しします。桜並木学園、桜南小学校では、つくばやる気じゅくを開催していただいております。これについては、当初どういうものか、よくわからず貧困の連鎖を断ち切るためということで、そういう子を集めなくてはならないのかと不安もありました。けれども、実際に希望を取り、テストを行い、この子が参加してくれるというふうになった後は、本当に子どもたちがみるみるやる気になっていく、まさにこの事業名のとおりで、びっくりしました。

一つには、スタッフがとてもトレーニングされていて優秀だったということです。そして、そのトレーニングされてきているスタッフがいろんなものを準備してくれるのです。ホワイトボードだったり、手づくりのフリップといいですか、テレビの中で出てくるようなものをもってきてくれます。いろんなゲーム形式だったりクイズになっていたりと、それから話術も巧みで、本当に優秀な方に来ていただいて、ありがたいと感じました。今、学校現場では、本当に先生方が不足している、講師が不足しているという現状があります。こうい



う学生さんが教員を目指してくれればいいなと心から思っております。毎回、本当にありがたく見させていただいてます。。

コロナ対策ということで、緊急事態宣言、茨城独自のものが出た後どうするかなということだったのですが、担当者に連絡取ったところ、やはりそのことはしっかり注意して対策を取って子どもたちに関わるということでしたので、前回も見せていただいたのですけれども、ある程度の距離を取りながらしっかり進めてくれました。それと子どもたちが集中できないときには、隣に空き教室もありますので、そっちに連れて行って、うまくクールダウンというか、そういう技も持っている、なかなか大したものだなと思っているところです。

できれば、桜並木学園だけじゃなくて、つくば市としてこういったことが広げられれば多くの子どもたちが助かるのではないか、いろいろな意味で力になっていくのではないか、と思っております。以上、情報提供でした。ありがとうございました。

藤田座長 ありがとうございます。今日の資料の1ページの上段のほうに、具体的な数字が15名程度参加というふうに書いてあるのですが、これは桜並木学園全体として15名くらいですか。和田先生。

和田委員 桜南小学校で15名です。お隣の並木小学校も15名と聞いております。

藤田座長 各校15名、多分15名、15名くらいですね。

和田委員 そうです。

藤田座長 このLearning for Allの人たちというのは、何人くらい1回で来ていただけるものでしたか。

和田委員 約7、8名くらい、2人とか3人に1人ついてくれるということで、かなり手厚いですね。とてもありがたく思っております。

藤田座長 ありがとうございます。今、お2人の校長先生から非常に肯定的な御報告、情報提供ございました。ほかに御質問ございますか。中山さんどうぞ。

中山委員 市民委員の中山です。二つ質問があるのですけれども、一つが、アウトリーチ支援事業というのがやっていますよね。そちらのところで、支援状況の一覧で抽出した対象者というふうに書いてあるのですが、これは実際何名ぐらいいらっしゃるのかと、最終的には何名かに絞るとすれば、どういうところで絞っておられるのかということの質問です。

それから、みんなの食堂事業のほうですけれども、今回、コロナがかなり流行してしまって、先ほど説明があったところで、お弁当や何かに切り替えて3か所だけやっていますということだったのですが、やっていないところというのは、どなたも受け取れない形になるのですが、そういうところはどんなふうにされていたのかなというのが、全ての事業がみんな前に進んでいる感じがして、とても皆さんしっかりやられているなと思って感心しております。

藤田座長 今お二つ質問頂きましたが、両方ともこども未来室のほうでよろしいですかね。お願いいたします。

保健福祉部（こども未来室） まず、アウトリーチ支援事業についてなのですが、今年度は、全学校では実施していなく、10校になるので、限られた数字にはなってくるのですが、学校によってばらつきがありまして、小さい学校ですと20名程度で、多い学校ですと5、60名程度になります。

次に、みんなの食堂でのお弁当なのですが、お弁当を提供していないみんなの食堂は、例えば、保育所、保育園だったり、いろんな人が集まって小さいお子様が来る場所なので、お弁当の提供もこの緊急事態の期間は自粛させていただきますということでお申し出いただいています。そのほかの事業を持っていちゃって、そこに影響が出る方というのは、今、自粛しているかと思います。以上になります。

藤田座長 ありがとうございます。それでは、こども部から、また御説明加えていただきまして、全体の御意見を賜っていきたいと思います。では、こども部の皆さん、お願いいたします。

## 様式第 1 号

こども部（こども育成課） こども育成課でございます。資料 1、5 ページの上の表でございます。事業名としましては、放課後子供教室での学習支援です。目標としましては、小学校義務教育学校での定期的な開催学校数を増やしてやっていくことでございます。目標値としましては、R 3 年以降 1 校ずつ増やしていきたいまして、最終年度に 6 校を目指しております。

アウトカムといたしましては、今、3 校で定期的に学習支援を行っておりますが、平成 30 年度に開所した秀峰義務教育学校におきまして、秀峰交流広場と称しまして、児童クラブ施設で週 2 回学習支援を開催して、今も継続して行っております。現在 40 名弱の児童が参加しておりまして、週 2 回ではございますが、その開催日以外にも、毎日、放課後交流広場を開催しておりますので、学習支援の日だけではなくて、児童が交流広場に来ると、まず学習をしようというふうなことで、自らが学習のほうに取り組んでいるということで定着しております。

また、秀峰と同様に、同年度に開校しました学園の森、みどりのにおきましても、令和元年度から週 3 回の放課後子供教室を行っておりまして、そのうち 1 回を学習支援に当てております。それぞれ 50 名程度参加しておりまして、保護者や児童に盛況で、ロコミでどんどん広がっているという現状でございます。

続きまして、資料 2 の 7 ページの、やはり上の表でございますが、予算に関しましては、人件費を含めて 8 万円程度拡充しております。令和 3 年度におきましても、3 か所の児童クラブ施設における定期的な学習支援を実施していくとともに、さらにもう 1 校、月 1 回程度定期開催校に含めて増やしていきたいと思っております。

アウトカムのところにも書いてあるのですが、そもそも放課後子供教室事業に関しましては、学習支援のみならず放課後に、遊び、文化、スポーツなど様々な体験活動を児童に提供する場でありますので、例えば、令和 2 年度ですと、環境に関して筑波山の自然について学んだり、あるいは星の教室で宇

宙の始まりや人類の誕生、星の一生などを学んだり、あるいは霞ヶ浦の水について、動物プランクトンや植物プランクトンの観察を行ったり、または茨城県の御当地キャラに来てもらって、アジアのスラムに暮らす子どもたちの国際協力に関する講義をしてもらったり、地域学習として、がまの油売りの口上を学んだり、あるいは折り方を通して礼節を学んだり、シルエットパズルを使って算数の図形の基礎を学んだりということで、ただ単に放課後こども教室で楽しかったということに終始するだけでなく、学習というものに直結するのみならず、学習を下支えする知識を養ってもらえればというふうなことで、こういった学習下支えするような割合を増やしていき、定期開催校も微力ながら伸ばしていきたいと、そのように考えております。以上です。

こども部（こども政策課）　続きまして、こども政策課です。事業名は、高等職業訓練促進給付金等事業です。目標は、ひとり親家庭の母や父の就職に有利な資格取得の推進です。目標値は 30 人、実績値は、令和 2 年 12 月現在で給付金支給対象者は 15 人となっています。現在、令和 3 年度 4 月からの入学に向けた相談も受けている状況であり、今後もひとり親家庭の方が安定した生活が送れるよう支援をし、広く周知を行い、利用者数を目標値に近づくよう増やしていきたいと考えています。

次に、資料 2 のほうで 7 ページですが、令和 3 年度の予算は、令和 2 年度の実績をもとにした歳出減額となっていますが、現時点で令和 3 年度は継続となる方と新規の相談の方と、合わせて 14 名が支給対象となる見込みとなっています。今後の増加分につきましては、補正予算等で対応していきたいと考えています。以上です。

藤田座長　ありがとうございます。資料 1、5 ページ、資料 2 が 7 ページを中心に御説明いただきました。ただいまのこども育成課、それからこども政策課からの御説明につきまして、御意見、御質問ございますか。

非常に小さいことですが、一番最後に御説明いただいたことが非常に重要だ

と思うのですが、現在は、継続新規の方が 14 名いらっしゃって、補正予算において対応なさるということは、そういうふうな確からしいめどをお持ちであるというふうに理解して、30 人ということは変わらないというように私たちは理解してよろしいですね。

こども部（こども政策課）　そうです。

藤田座長　ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

それでは、時間もあと 10 分も切っているような状況でございますので、意見交換をさせていただきたいと思います。

ただいま御説明いただきましたことも含めまして、つくば市のこども未来プランに関して、これからどういう点を充実させていくべきなのか、あるいは改善を図っていくべきなのか、様々な観点から、委員の皆様から御意見を賜りたいと思います。時間が限られておりますので、簡潔に御発言いただけたらと思っております。どなたか口火を切っていただくことは可能ですか。

では、一番やってはいけない司会進行ですが、着席順に一言ずつ御発言いただきたいと思います。では、大変恐縮ですが、横山校長先生、御発言、口火を切っていただくことは可能でしょうか、全体の御感想でも結構でございますので、お願いいたします。

横山委員　学園の森の横山でございます。改めてそれぞれの事業の内容を聞きまして、子どもたちがいろんな方面から守られているんだなということを感じています。ただ、やっぱりコロナ禍において長く続いているものですから、いろいろな課題も学校の中でも見えています。それをやっていかなくتهはいけないということ身を染みているところす。一つ確認したいのですが、データベースみまもりの貴重な情報を学校に頂いているのですけれども、重要なデータですので、学校保管でいいのかどうかというのが、実は校長会の中で話が出ていまして、その辺のところはどうなのでしょう。

藤田座長　今、非常に重要な御指摘ございました。データの保管ですけれども、

何か事務局のほうから、今御検討になっていらっしゃるようなことがもしあれば、情報提供お願いいたします。

保健福祉部（こども未来室） データベースみまもりのデータなのですが、もともとのデータが3部局から集めたものになるので、まず、学校現場にも集めたものを還元したいということで、全学校に戻させていただいています。ただ、非常に重いデータなので、校長会でも、学び推進課の江尻課長からも説明いただいているかと思うのですが、管理職の先生のもとで、必要なものだけ見ていただくということで現状進めております。

現状では、今そのような見解で進めていますが、もし校長会、ほかの部局からも意見がありましたら、随時、検討しながら、保管の方法については検討していきたいと思います。

藤田座長 これからまた、情報、非常に重要になってまいります、それと同時に保管ですとか機密性を保持していくですとか、そういったことの課題も重要なことですので、御検討賜りたいと思います。横山先生ありがとうございます。

和田先生、いかがでしょうか。

和田委員 今のデータベースみまもりについては、校長会のほうでも、管理職がきちんと管理するということは申し合わせておりますので、そのようにしっかりやっていきたいと思います。

横山先生と同じように、私もつくば市の子どもたち、本当に独り親の家庭、それから学習支援を受けたほうがいいような子どもたちが、とても守られているなというふうに思っています。そのことで、青い羽根基金があったかと思うのですけれども、これは幾ら幾ら募金がありましたというのを、こども未来室から教えていただいたこともありましたが、その後どうなりましたか。それから、これを様々なところでやってもらいたいと思っています。つくば市は青い羽根基金という新しいものをやっているというのをもっともっと周知して、例え

ば、住宅なんかの区会ですとか、そういったところにももっと広めて、たくさん集められないかな、と思ったことがあります。赤い羽根、緑の羽根はあるけれども、青い羽根というのは自分にとってはインパクトが強かったので、ぜひつくばではこういうことを取り組んでいるんだよ、それが子どもたちのためになっているんだというのを広めていければいいと思っています。これからもうぞよろしくお願いします。以上です。

藤田座長 ありがとうございます。今、和田校長先生から御提案がありました青い羽根に関する告知というか、周知について何か新しいアイデアですとか、検討事項があればお願いいたします。

保健福祉部（こども未来室） すいません、青い羽根については、毎月の広報紙のほうで広報させていただいております。それと区会のほうについては、全区会のほうに、時期を決めて御協力のお願いということで、区会には回させていただいております。そのほか企業のほうにも、御案内ということで周知のほうを今のところさせていただいている状況です。

集まった金額、今年度ですと、今現在で大体1,500万弱ぐらいおかげさまで集まっております。今回、コロナで臨時給付金が出たおかげで、一般の方からの高額な寄附というのが結構増えていまして、昨年度よりも集まっている状況になっております。

和田委員 ありがとうございます。区会だけでなく事業者にも周知しているというのはいいですね。あとは、その区会や事業者が判断してくれて、「これはいいぞ」というふうに思ってくれるといいのかなというふうに思います。ありがとうございます。

藤田座長 ありがとうございます。それでは、池田委員、いかがでしょうか。

池田委員 さっき意見させていただいたことに、もう1点だけつけ加えさせていただきたいのですが、また、資料1の具体的達成目標で、今日、紹介させていただいた一連の事業の中には、非認知能力だけでなく認知能力、学

力を上げるためにやっているものもありますよね。例えば、青い羽根学習会とかまさにそうだと思うのですけれども、その意味でも、学力が具体的達成目標じゃないと言われたらそれまでなののですけれども、この表に子どもたちの学力の推移も乗せていいのじゃないかなと、個人的には思いました。僕からは以上です。

藤田座長 ありがとうございます。今の池田委員の御指摘に関して、何か現在の計画ですとか方向性もしございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

保健福祉部（こども未来室） 未来室のほうで、青い羽根学習会というものを今 14 か所でやらせていただいているのですけれども、まず学力向上ももちろんなのですが、学習する場プラス居場所の場ということで考えていますので、学力を上げるのが大事だとは思いますが、その学力だけに特化してしまうと通常の塾と同じような形になってしまいますので、また、学力を上げるためだけのところではないということを、まず保護者の方と最初の面談のときにお話ししながら進めていますので、そこは学力に特化するということはちょっと難しいかなと思っています。

藤田座長 おっしゃるとおり難しいところではございますが、やはり池田委員が御指摘くださいましたように、例えば、高校進学を考えても、やはり最低の学力の保証というのは重要になってくるので、データの見せ方の問題だと思うのです。やはり優先事項はここだけでも、付随的に学力も向上していますよねというメッセージはあっていいと思うので、そこら辺の工夫も重ねていただけるといいなと思いました。ありがとうございます。

中山委員、いかがでしょうか。

中山委員 先ほど、お話ししましたが、全体にどの事業もしっかり進んでいるなという印象を本当に持っています。それで、放課後の子供教室の学習支援のところで、アウトカムのところ、全学校区で 400 回を超えるイベントと



いうふうに書かれてあって、どんなことをというふうに思っていたのですが、先ほど御説明があって、勉強だけではなく地域の文化とかそういうものも取り入れられて、すごくいい試みだなというふうに思いました。やはり私たちが子どもころは、例えば、不登校だったらどんなふうにしてたのかなと、全然自分では分からないのですが、やはりかなり先生たち、先ほどおっしゃったように、みんなに子どもたち守られているなというのは感じました。今から子育てとかも本当に難しい時期、例えばですけれども、ゲームとか、それからスマホとか親の手の届かないところというのもどんどん出てきて、まだまだ子育て大変な時期になっていくのかなと思うのですけれども、こういうことを市のほうで、市の予算でやっていただくことで助かる親はたくさんいるのかなというふうに思いました。

藤田座長 ありがとうございます。本当に心から私も賛同いたします。ありがとうございます。外山副座長いかがでしょう。

外山委員 ありがとうございます。いろいろな事業を展開されていて、一つ一つの事業をきめ細やかな支援が行われていて、率直にすごいなというふうに思いました。個人的には、先ほどちょっと質問もしたのですが、このデータベースの構築というのがすばらしいというか、支援すべき子を取り残さないという目標が本当にすばらしいなと思いましたので、今後はそのデータをどのように活用していくのかというところが応援していきたいなというふうに思いました。ありがとうございました。

藤田座長 ありがとうございます。ちょっと時間が延びてしまって申し訳ありません。司会の不手際をお許してください。

私も、前回も申しましたが、この懇話会に参加させていただくたびに、つくば市民で良かったと本当に思います。関係部局の皆様方に心からお礼申し上げたいと思います。

また、今回のつくば市こども未来プランとは直接的には関係ございませんが、

## 様式第1号

私どもの学生に対しても、市内の各企業の皆様方から食料支援をいただきまして、学生たちも本当に助かりました。こういう文化がつくば市の中に深く根づいていることを、大学人といたしましても誇りに思いましたし、大変ありがとうございました。こういったことは、皆様の目にもっと触れるように、そしてエビデンスとしてアウトカムがきちんと出られるように、そういった皆様方の御努力がこれからも継続されることを願いたいと思います。

それでは、ここで司会を全体に戻したいと思います。よろしくお願いいたします。

事務局　たくさんの貴重な御意見を頂き、誠にありがとうございました。

以上をもちまして、令和2年度第2回こども未来懇話会を閉会といたします。

委員の皆様には、大変お忙しい中、懇話会への参加及び貴重な御意見を頂き本当にありがとうございました。

(01:15:03)

## 令和２年度 第２回 つくば市こども未来懇話会

日 時 令和３年(2021 年) 2 月 9 日 (火)  
13 時 30 分から 15 時 30 分まで  
場 所 市役所 5 階 庁議室

### <次 第>

1 開 会

2 挨 拶

3 説 明 事 項

- (1) こども未来プラン具体的達成目標について
- (2) 令和２年度事業進捗状況及び令和３年度の事業計画（案）について

4 意 見 交 換

「充実・改善が必要な事業について」

5 閉 会

令和2年度(2020年度) つくば市こども未来懇話会 委員名簿

| No. | 氏 名     | 組織・役職等                       | ※選出区分 |            |
|-----|---------|------------------------------|-------|------------|
| ①   | 藤田 晃之   | 筑波大学人間系 教授                   | (1)   | 学識経験者      |
| ②   | 外山 美樹   | 筑波大学人間系 准教授                  | (1)   | 学識経験者      |
| 3   | 長橋 進也   | つくば市PTA連絡協議会 会長              | (2)   | 児童・生徒の保護者  |
| 4   | 中山 光子   | 公募                           | (3)   | つくば市民      |
| 5   | 池田 利基   | 公募                           | (3)   | つくば市民      |
| 6   | 和田 雅彦   | つくば市立小中学校長会 会長               | (4)   | 公立小・中学校長   |
| 7   | 横山 貴美子  | つくば市立小中学校長会 副会長              | (4)   | 公立小・中学校長   |
| 8   | 大久保 良文  | つくば市主任児童委員連絡会 会長             | (5)   | 主任児童委員     |
| 9   | かさい ひろこ | 特定非営利活動法人NGO未来の子どもネットワーク代表理事 | (6)   | 各種支援団体の代表者 |

○ 座長    ○ 副座長

計9名（予定）

※選出区分（要項第3条の規定に基づく次の各号に掲げる委員の分類）

- (1) 学識経験者   (2) 児童・生徒の保護者   (3) つくば市民   (4) 公立小・中学校長  
 (5) 主任児童委員   (6) 各種支援団体の代表者

## つくば市子ども未来プラン具体的達成目標

## ① 自己肯定感を持つ児童生徒の割合の増加

→目標：31年度比10%（ポイント）増【非認知能力（自己肯定感等）の調査】

※ H30全国学力・学習状況調査(4/17)質問紙(1)自分にはよいところがあると思いますか：79.9%

※ R2から総合質問調査紙 i-check 質問項目1.2.1「自分には、いいところがあると思いますか。」の数値を実績とする。

|                 | H31年度<br>(2019年度) | R2年度<br>(2020年度)       | R3年度<br>(2021年度) | R4年度<br>(2022年度) | R5年度<br>(2023年度) |
|-----------------|-------------------|------------------------|------------------|------------------|------------------|
| 目標値<br>(アウトプット) | —                 |                        |                  |                  | 31年度比<br>10%増    |
| 実績値             | 75.2%<br>(H31調査)  | 68.8%<br>( R2 i-check) |                  |                  |                  |

## ② 将来の夢や目標設定力を持つ児童生徒の割合の増加

→目標：31年度比10%（ポイント）増【非認知能力（自己肯定感等）の調査】

※ H30全国学力・学習状況調査(4/17)質問紙(3)将来の夢や目標を持っていますか：78.6%

※ R2から総合質問調査紙 i-check 質問項目1.2.2「将来、あんな人になりたい、こんな事がしたい、こんな仕事につきたいという、夢や目標がありますか。」の数値を実績とする。

|                 | H31年度<br>(2019年度) | R2年度<br>(2020年度)       | R3年度<br>(2021年度) | R4年度<br>(2022年度) | R5年度<br>(2023年度) |
|-----------------|-------------------|------------------------|------------------|------------------|------------------|
| 目標値<br>(アウトプット) | —                 |                        |                  |                  | 31年度比<br>10%増    |
| 実績値             | 78.3%<br>(H31調査)  | 81.4%<br>( R2 i-check) |                  |                  |                  |

## ③ 家庭学習の習慣づけができている児童生徒の割合の増加（小学生30分以上、中学生1時間以上）

→目標：31年度比10%（ポイント）増【非認知能力（自己肯定感等）の調査】

※ H30全国学力・学習状況調査(4/17)質問紙(10)自分で計画を立てて勉強をしていますか：65.9%

※ R2から総合質問調査紙 i-check 質問項目4.2.1「家で勉強するときは、自分で計画を立てていますか。」の数値を実績とする。

|                 | H31年度<br>(2019年度) | R2年度<br>(2020年度)       | R3年度<br>(2021年度) | R4年度<br>(2022年度) | R5年度<br>(2023年度) |
|-----------------|-------------------|------------------------|------------------|------------------|------------------|
| 目標値<br>(アウトプット) | —                 |                        |                  |                  | 31年度比<br>10%増    |
| 実績値             | 66.33%<br>(H31調査) | 58.9%<br>( R2 i-check) |                  |                  |                  |

## ④ 「よくわかる」「わかる」を実感できる児童生徒の割合の増加

→目標：72%（29年度つくば市調査）から10%（ポイント）増【児童生徒の意識調査】

※R2から全国学力・学習状況調査の質問紙内容の数値を実績とする。

|                 | H31年度<br>(2019年度)       | R2年度<br>(2020年度) | R3年度<br>(2021年度) | R4年度<br>(2022年度) | R5年度<br>(2023年度) |
|-----------------|-------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 目標値<br>(アウトプット) | —                       |                  |                  |                  | 29年度比<br>10%増    |
| 実績値             | 小中一貫アンケート<br>廃止のためデータなし |                  |                  |                  |                  |

## ⑤ 希望者全員の高校進学・卒業

→目標：希望者の進学率100%【学校を通じて調査】

|                 | H31年度<br>(2019年度) | R2年度<br>(2020年度) | R3年度<br>(2021年度) | R4年度<br>(2022年度) | R5年度<br>(2023年度) |
|-----------------|-------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 目標値<br>(アウトプット) | —                 |                  |                  |                  | 100%             |
| 実績値             | 99.3%             |                  |                  |                  |                  |

※ 実績値小数点第二位四捨五入

## つくば市こども未来プラン各事業別目標達成度一覧

〔令和3年2月〕

| 事業名             | つくばこどもの青い羽根学習会<br>(3-(1)居場所支援＋学習支援)                                                                                                                                    |                  |                  | 担当部署             | こども未来室           |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 目標              | 市内全中学校・義務教育学校16か所に開設。谷田部小学校におけるはやぶさ教室をモデルに、特に学校校舎における学習支援の充実を図る【目標値：学習支援拠点数】                                                                                           |                  |                  |                  |                  |
|                 | R1年度<br>(2019年度)                                                                                                                                                       | R2年度<br>(2020年度) | R3年度<br>(2021年度) | R4年度<br>(2022年度) | R5年度<br>(2023年度) |
| 目標値<br>(アウトプット) | —                                                                                                                                                                      | —                | 15か所             | 16か所             | 16か所             |
| 実績値             | 13か所                                                                                                                                                                   | 14か所             |                  |                  |                  |
| 成果<br>(アウトカム)   | 8事業者との協働事業として、それぞれ特色のある教室を提供できおり、利用者が利便性や特色に合わせて教室を選択できるようになった。各教室へのアンケートで、テストの点数が上がった、授業がわかるようになった、勉強習慣が付いてきたという回答が多数みられる。不登校の生徒が学習の遅れを取り戻して高校に合格し、進学後も継続利用している事例もある。 |                  |                  |                  |                  |

| 事業名             | 居場所づくり支援事業「青い羽根のいえ」<br>(3-(2)居場所支援)                                                                                                                                                             |                  |                  | 担当部署             | こども未来室           |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 目標              | つくば市に必要な居場所づくりの検討【目標値：居場所づくり拠点数】                                                                                                                                                                |                  |                  |                  |                  |
|                 | R1年度<br>(2019年度)                                                                                                                                                                                | R2年度<br>(2020年度) | R3年度<br>(2021年度) | R4年度<br>(2022年度) | R5年度<br>(2023年度) |
| 目標値<br>(アウトプット) | —                                                                                                                                                                                               | —                | 1か所              | 1か所              | 2か所              |
| 実績値             | —                                                                                                                                                                                               | 1か所              |                  |                  |                  |
| 成果<br>(アウトカム)   | 複雑な環境や背景を抱えた子どもたちが利用を開始し、安心できる環境を提供できている。家族以外とほとんど関わることのなかった子がコミュニケーションを取れるようになり友達もできたり、不登校だった子が登校を再開した事例がある。反対に不登校の子が勉強に興味を持ち始めた矢先に親の都合で突然転居をしてしまい支援から離れてしまうという事例もあり、保護者を含めた包括的な世帯支援が今後の課題である。 |                  |                  |                  |                  |

| 事業名             | 子どもの学習塾代助成<br>(3-(1)居場所＋学習支援)                                                                     |                  |                  | 担当部署             | こども未来室           |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 目標              | 利用状況を踏まえて拡充を検討【目標値：塾代助成利用者数】                                                                      |                  |                  |                  |                  |
|                 | R1年度<br>(2019年度)                                                                                  | R2年度<br>(2020年度) | R3年度<br>(2021年度) | R4年度<br>(2022年度) | R5年度<br>(2023年度) |
| 目標値<br>(アウトプット) | —                                                                                                 | —                | 20名              | 25名              | 30名              |
| 実績値             | 13名                                                                                               | 21名              |                  |                  |                  |
| 成果<br>(アウトカム)   | 昨年度、交付した児童においては、助成金のおかげでコマ数を増やすことができた、希望する学校に進学できたとアンケートにより効果を得ている。今年度についても年度末にアンケートをとり効果を検証していく。 |                  |                  |                  |                  |

## つくば市こども未来プラン各事業別目標達成度一覧

〔令和3年2月〕

| 事業名             | みんなの食堂事業補助金<br>(3-(2)居場所支援)                                                                                                                     |                  |                  | 担当部署             | こども未来室           |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 目標              | 10団体に補助金を交付してみんなの食堂を実施(就学前児童含む)【目標値:交付団体者数】                                                                                                     |                  |                  |                  |                  |
|                 | R1年度<br>(2019年度)                                                                                                                                | R2年度<br>(2020年度) | R3年度<br>(2021年度) | R4年度<br>(2022年度) | R5年度<br>(2023年度) |
| 目標値<br>(アウトプット) | —                                                                                                                                               | —                | 6団体              | 8団体              | 10団体             |
| 実績値             | 4団体                                                                                                                                             | 5団体<br>(R2.10現在) |                  |                  |                  |
| 成果<br>(アウトカム)   | H31.10に子ども食堂支援事業補助金要綱を制定、R1年度にみんなの食堂パンフレットを制作したことにより、認知度が向上し、新規開設についての相談や食品寄付の問い合わせが増加した。新型コロナウイルスの感染拡大防止による外出自粛期間中、会食から弁当の配布に代えて支援を継続した団体もあった。 |                  |                  |                  |                  |

| 事業名             | アウトリーチ支援(訪問支援)の実施<br>(3-(1)居場所支援+学習支援、(6)データ収集)                                                                                                                             |                  |                  | 担当部署             | こども未来室           |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 目標              | 支援状況一覧で抽出した対象者へ、地域やNPO等と連携しながら、アウトリーチを実施し、アセスメントを行い必要な支援に早期に接続【目標値:アウトリーチ対象校数】                                                                                              |                  |                  |                  |                  |
|                 | R1年度<br>(2019年度)                                                                                                                                                            | R2年度<br>(2020年度) | R3年度<br>(2021年度) | R4年度<br>(2022年度) | R5年度<br>(2023年度) |
| 目標値<br>(アウトプット) | —                                                                                                                                                                           | —                | 12校              | 16校              | 22校              |
| 実績値             | 2校                                                                                                                                                                          | 10校              |                  |                  |                  |
| 成果<br>(アウトカム)   | R2年度より、こども未来支援員4名を新たに配置し、支援状況一覧から抽出した支援対象者に対して、学校、SSW、子育て相談室と連携しながらアウトリーチ支援を実施した。アウトリーチ支援により、就学援助受給世帯の児童生徒が青い羽根学習会につながったケースのほか、不登校の児童が居場所づくり事業につながり、ひきこもりや不登校が解消されるケースがあった。 |                  |                  |                  |                  |

| 事業名             | つくば市こども未来懇話会、こども未来庁内連携会議、<br>こども未来支援担当者会議(3-(7)推進体制)                                                                                                                        |                     |                  | 担当部署             | こども未来室           |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|------------------|------------------|------------------|
| 目標              | 継続的に随時開催【目標値:懇話会・庁内連携会議開催回数】                                                                                                                                                |                     |                  |                  |                  |
|                 | R1年度<br>(2019年度)                                                                                                                                                            | R2年度<br>(2020年度)    | R3年度<br>(2021年度) | R4年度<br>(2022年度) | R5年度<br>(2023年度) |
| 目標値<br>(アウトプット) | —                                                                                                                                                                           | —                   | 懇話会2回<br>庁内連携随時  | 懇話会2回<br>庁内連携随時  | 懇話会2回<br>庁内連携随時  |
| 実績値             | 懇話会2回<br>庁内連携3回                                                                                                                                                             | 懇話会2回<br>庁内連携3回(予定) |                  |                  |                  |
| 成果<br>(アウトカム)   | 目標値どおりの懇話会開催と、庁内連携会議等の適宜開催したことにより、こども未来プランの実施状況のチェックと施策の推進体制の構築を維持することができている。今後の開催回数も同回数とはしているが、こども未来プラン具体的達成目標の達成度や、懇話会・庁内連携会議等での協議された改善事項の内容によっては、その必要に応じて開催回数は変更する必要がある。 |                     |                  |                  |                  |

## つくば市子ども未来プラン各事業別目標達成度一覧

〔令和3年2月〕

| 事業名             | スクールソーシャルワーカー配置事業<br>(3-(1)居場所支援+学習支援)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                  |                  | 担当部署             | 教育相談センター         |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 目標              | 利用状況を踏まえて市独自の配置や配置数の増加、地域やNPOとの連携などを含めたさらなる拡充を検討【目標値:スクールソーシャルワーカー配置人数】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                  |                  |                  |                  |
|                 | R1年度<br>(2019年度)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | R2年度<br>(2020年度) | R3年度<br>(2021年度) | R4年度<br>(2022年度) | R5年度<br>(2023年度) |
| 目標値<br>(アウトプット) | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | —                | 3名               | 3名               | 3名               |
| 実績値             | 2名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 3名               |                  |                  |                  |
| 成果<br>(アウトカム)   | <p>昨年度は茎崎中学校及び秀峰筑波義務教育学校に1名ずつスクールソーシャルワーカーを配置し、学校の要望を受けて各校に派遣した。総活動時間は1,120時間で延べ児童相談者数502名、連携職員数2,288名に達した。令和2年度は、昨年度の年度途中で活動予算が不足し、十分な対応ができなかったことを鑑み、活動費を2倍にし、人員も1名増やし対応している。今年度は、9月末現在で1,096時間活動し、延べ児童相談者268名、連携職員数1099名となっており、活動費の充実により、1つ1つの案件に時間をかけ丁寧に対応できる環境が整備された。</p> <p>一方、同様の県事業(スクールソーシャルワーカー派遣)活用は可能であり、市の子ども未来室や子育て相談室、学校との活動実績の積み重ねからR1年度(市独自事業としては初年度)より効果的な活動が行われている。したがって、R2年度の目標値を維持したうえでスクールソーシャルワーカーの質を維持し、学校側がスクールソーシャルワークの手法や知識を利用・経験することで、自らも実践できるような体制を構築していくこと(スクールソーシャルワーカーのスーパーバイザーによる研修実施など)が望ましい。</p> |                  |                  |                  |                  |

| 事業名             | つくば未来塾<br>(3-(3)学習支援)                                                                                                                       |                  |                  | 担当部署             | 生涯学習推進課          |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 目標              | 全中学校・義務教育学校で、各校の実情や生徒の参加状況に応じた開催【目標値:各学校の実情に応じた開催】                                                                                          |                  |                  |                  |                  |
|                 | R1年度<br>(2019年度)                                                                                                                            | R2年度<br>(2020年度) | R3年度<br>(2021年度) | R4年度<br>(2022年度) | R5年度<br>(2023年度) |
| 目標値<br>(アウトプット) | —                                                                                                                                           | —                | —                | —                | 16校              |
| 実績値             | 16校                                                                                                                                         | 16校              |                  |                  |                  |
| 成果<br>(アウトカム)   | <p>目標どおり、各学校の実情に応じて、つくば未来塾事業を実施できた。生徒は苦手な問題があると、学習チューターと一緒に学習に取り組み、課題を解決した際に分かる喜びを感じていた。分かる喜びを感じたことで学ぶ意欲が増し、学習習慣を身に付けさせるための導入を図ることができた。</p> |                  |                  |                  |                  |



## つくば市子ども未来プラン各事業別目標達成度一覧

〔令和3年2月〕

| 事業名             | オンライン学習環境整備事業(学習インフラの整備)<br>(3-(3) 学習支援)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                             |                  | 担当部署             | 総合教育研究所          |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|------------------|------------------|------------------|
| 目標              | 児童・生徒が各家庭でオンライン学習に取り組むことができるネットワーク環境を整備する<br>【目標値:設定しない】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                             |                  |                  |                  |
|                 | R1年度<br>(2019年度)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | R2年度<br>(2020年度)            | R3年度<br>(2021年度) | R4年度<br>(2022年度) | R5年度<br>(2023年度) |
| 目標値<br>(アウトプット) | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | —                           | —                | —                | —                |
| 実績値             | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 学習用端末 391台<br>Wi-Fiルータ 244台 | —                | —                | —                |
| 成果<br>(アウトカム)   | <p>【学習用端末貸出】 令和2年度実績値:391台貸出(Wi-Fiルータとのセット貸出分含む)<br/>令和2年度は、全児童・生徒について各家庭におけるオンライン学習に用いることができるコンピュータ端末等の保有状況に関する調査を実施し、新型コロナウイルス感染症に起因する臨時休校時等に学習機会の確保が困難と判断した児童・生徒の保護者に対して、学習用端末391台の貸与を実施した。<br/>なお、令和3年3月に児童・生徒1人当たり1台の学習用端末(令和2年度に貸与したものと同型)配備が完了し、臨時休校時等には持ち帰りによるオンライン学習が可能となるため、令和2年度限りで事業終了となる。</p> <p>【Wi-Fiルータ貸出】 令和2年度実績値:244台貸出(学習用端末とのセット貸出分含む)<br/>令和2年度は、全児童・生徒について各家庭におけるネットワーク環境の整備状況に関するアンケート調査を実施し、家庭学習を実施するために必要な通信容量がない等、環境が整備されていない家庭に対してWi-Fiルータ244台の貸出を実施した。<br/>令和3年度においても、年度当初にネットワーク環境の整備状況等に関するアンケートの実施を予定しているが、貸出の対象となる世帯の選定方法等(経済的理由により整備できない等の要件を設定するかどうか等)を含め、現在事業の実施方法を検討中である。<br/>なお、成果指標の「目標値」については、事業の性質上設定しない。</p> |                             |                  |                  |                  |

| 事業名             | 学校生活総合質問調査 i-check<br>(3-(6) データ収集)                                                   |                  |                  | 担当部署             | 学び推進課            |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 目標              | 自己肯定を感じる児童生徒の割合【目標値:i-checkで「成功体験と自信」の項目数値】                                           |                  |                  |                  |                  |
|                 | R1年度<br>(2019年度)                                                                      | R2年度<br>(2020年度) | R3年度<br>(2021年度) | R4年度<br>(2022年度) | R5年度<br>(2023年度) |
| 目標値<br>(アウトプット) | —                                                                                     | —                | 80%              | 80%              | 80%              |
| 実績値             | 79.0%                                                                                 | 77.3%            |                  |                  |                  |
| 成果<br>(アウトカム)   | 毎年、学校生活総合質問調査 i-checkを4年生から9年生で実施し、自己肯定感の感じる児童生徒の割合を検証することで、「教え」から「学び」への効果について検証していく。 |                  |                  |                  |                  |

## つくば市こども未来プラン各事業別目標達成度一覧

〔令和3年2月〕

| 事業名             | 放課後子供教室での学習支援<br>(3-(3) 学習支援)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                  |                  |                  | 担当部署             | こども育成課 |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|--------|
| 目標              | 全小学校・義務教育学校での定期的な開催【目標値: 定期開催学校数】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                  |                  |                  |                  |        |
|                 | R1年度<br>(2019年度)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | R2年度<br>(2020年度) | R3年度<br>(2021年度) | R4年度<br>(2022年度) | R5年度<br>(2023年度) |        |
| 目標値<br>(アウトプット) | 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 3                | 4                | 5                | 6校               |        |
| 実績値             | 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 3                |                  |                  |                  |        |
| 成果<br>(アウトカム)   | <p>R2年度現在、「交流ひろば」と称して放課後子供教室を定期的に開催し、かつ、学習支援を実施している学校は3校である。まず、「秀峰交流ひろば」では、平成30年度開所した児童クラブ施設において、放課後子供教室の一環として学習支援を開始(週2回)したが、年々参加児童数が増え、現在40名弱の児童が参加している。「秀峰交流ひろば」のスペースは、学業日には毎日利用できるが、学習支援実施日でない日においても、自主的に宿題を行う児童が多くなり、学習習慣が着実に定着してきている。また、秀峰と同様な形態を執る「学園の森交流ひろば」と「みどりの交流ひろば」では、R元年度から週3回の放課後子供教室を開始し、そのうち1回を学習支援に充てている。この学習支援の内容が保護者や児童に好評価を得ることができ、開催日は低学年と高学年で時間帯を分け、各ひろば共に50名程度参加する盛況ぶりである。</p> <p>放課後子供教室については、放課後に遊び、文化、スポーツなど様々な体験活動を児童に提供する場である。R元年度は、上述の3学校区を含め全学校区で400回を超えるイベントを行っている。今後は、学校の宿題サポートや各教科の学習支援のみならず、放課後子供教室ならではの学習を下支えする魅力的で多様な活動プログラムを実施し、併せて少しずつでも定期開催校数を増やしていきたい。</p> |                  |                  |                  |                  |        |

| 事業名             | 高等職業訓練促進給付金等事業<br>(3-(4) 保護者支援)                                                                                         |                   |                  |                  | 担当部署             | こども政策課 |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|------------------|------------------|------------------|--------|
| 目標              | ひとり親家庭の母や父の就職に有利な資格取得を推進する【目標値: 高等職業訓練促進給付金受給者数】                                                                        |                   |                  |                  |                  |        |
|                 | R1年度<br>(2019年度)                                                                                                        | R2年度<br>(2020年度)  | R3年度<br>(2021年度) | R4年度<br>(2022年度) | R5年度<br>(2023年度) |        |
| 目標値<br>(アウトプット) | —                                                                                                                       | —                 | —                | —                | 30人              |        |
| 実績値             | 16人                                                                                                                     | 15人<br>(R2.12月現在) |                  |                  |                  |        |
| 成果<br>(アウトカム)   | 令和元年度は16人へ高等職業訓練促進給付金を支給し、そのうち4人が卒業、1人が留年、1人が支給期間の上限を達し支給終了となった。令和元年度に卒業した4人全員が取得した資格を活かして就業している(看護師1人、准看護師2人、社会福祉士1人)。 |                   |                  |                  |                  |        |

## 令和3年度事業計画(案)(つくば市こども未来プラン)

こども部

|                 |                                                                                                                                                                                                                                     |      |        |              |            |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------|--------------|------------|
| 事業名             | 放課後子供教室での学習支援（「放課後子供教室」での学習支援の実施）                                                                                                                                                                                                   |      |        |              |            |
| プラン掲載項目         | 学習支援                                                                                                                                                                                                                                |      | 掲載頁・番号 | P5 - 3 - (3) |            |
| 新規・拡充等の別        | 継続                                                                                                                                                                                                                                  | 基金充当 | —      | 担当課          | こども部こども育成課 |
| 事業概要            | <p>放課後子供教室とは、学校施設等を活用してすべての児童の安全・安心な活動場所を確保し、地域と学校が連携・協働して学習や様々な体験・交流活動の機会を提供することで、児童の社会性、自主性、創造性等の豊かな人間性を養う事業である。</p> <p>その一環として、3か所の児童クラブ施設で、定期的に学校の宿題をサポートする学習支援も実施している。</p>                                                     |      |        |              |            |
| 目標              | 全小学校・義務教育学校での定期的な開催                                                                                                                                                                                                                 |      |        |              |            |
| 予算              | 【本年度】1,232千円（人件費のみ計上）⇒【令和3年度】1,308千円（人件費のみ計上）                                                                                                                                                                                       |      |        |              |            |
| 新規・拡充・縮小・廃止等の概要 | <p>令和3年度も引き続き、3か所の児童クラブ施設において、定期的な学習支援を実施していく。秀峰交流ひろばにおいては年間82回、学園の森交流ひろば及びみどりの交流ひろばでは年間41回程度の学習支援を実施する予定。</p> <p>また、市内小学校及び義務教育学校においても、学校の宿題をサポートする学習支援だけでなく、放課後子供教室ならではの学習の下支えとなるような活動プログラムを実施し、月に1回程度の放課後子供教室の定期開催校数を増やしていく。</p> |      |        |              |            |
| その他             | <p>〈交流ひろばにおける学習支援〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秀峰交流ひろば 週2日（毎週火・金曜日）</li> <li>・学園の森交流ひろば 週1日（毎週金曜日）</li> <li>・みどりの交流ひろば 週1日（毎週火曜日）</li> </ul>                                                                        |      |        |              |            |

|                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |      |        |              |            |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------|--------------|------------|
| 事業名            | つくば市高等職業訓練促進給付金等事業（高等職業訓練促進給付金の活用促進）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |        |              |            |
| プラン掲載項目        | 保護者支援                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |      | 掲載頁・番号 | P5 - 3 - (4) |            |
| 新規・拡充等の別       | 継続                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 基金充当 | —      | 担当課          | こども部こども政策課 |
| 事業概要           | <p>ひとり親家庭の母または父が就職の際に有利となり、生活の安定に資する資格の取得を促進するため、養成機関で1年以上修業する場合に、給付金(3種)を支給する。</p> <p>対象資格：看護師(准看護師を含む)、介護福祉士、保育士、理学療法士、作業療法士、理容師、美容師、栄養士、歯科衛生士、社会福祉士、製菓衛生師、調理師 など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高等職業訓練促進給付金：住民税非課税世帯100,000円 ※最後の12月のみ140,000円（修業全期間。上限48月） 住民税課税世帯70,500円 ※最後の12月のみ110,500円</li> <li>○ 高等職業訓練修業者支援給付金(市独自)：一律40,000円（最後の12月を除く修業期間。上限36月）</li> <li>○ 高等職業訓練修了支援給付金：住民税非課税世帯50,000円（1回(カリキュラム修了日後)） 住民税課税世帯25,000円</li> </ul> <p>※高等職業訓練修業者支援給付金の対象者は、修業形態が通信制である者を除く。</p> |      |        |              |            |
| 目標             | 受給者を30人程度に増加                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |      |        |              |            |
| 予算             | <p>(国事業)【本年度】20,033千円 ⇒ (国事業)【令和3年度】17,452千円</p> <p>(市独自)【本年度】2,160千円 (市独自)【令和3年度】1,680千円</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |      |        |              |            |
| 新規・拡充・縮小・廃止の概要 | 令和3年度の予算は、令和2年度の実績を基にした算出による減額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |      |        |              |            |
| その他            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |      |        |              |            |

## 令和3年度事業計画(案)(つくば市子ども未来プラン)

教育局

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                |      |   |        |          |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---|--------|----------|
| 事業名             | スクールソーシャルワーカー配置事業（スクールソーシャルワーカーの活用）                                                                                                                                                                                                            |      |   |        |          |
| プラン掲載項目         | 居場所支援＋学習支援                                                                                                                                                                                                                                     |      |   | 掲載頁・番号 | P4－3－(1) |
| 新規・拡充等の別        | 継続                                                                                                                                                                                                                                             | 基金充当 | — | 担当課    | 教育相談センター |
| 事業概要            | <p>各学校からの派遣要請に応じ、児童生徒のおかれた生活環境に働きかけ、関係諸機関と連携して、児童生徒及びその保護者、教職員に対する支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内拠点校2校に配置(市独自)</li> <li>北部：秀峰筑波義務教育学校</li> <li>南部：茎崎中学校</li> <li>・勤務時間：年間1,092時間(1拠点校につき)、1回6時間で年間182日(週4日程度)</li> </ul> |      |   |        |          |
| 目標              | スクールソーシャルワーカー経験者を確保し、効果的な活動継続を目指す。また、活動を通して、教職員に対し、活用できる様々な制度や組織へのアプローチ等についてノウハウを提示することで、現場の更なる問題対応力の向上を目指す。                                                                                                                                   |      |   |        |          |
| 予算              | 【令和2年度】7,602千円 ⇒【令和3年度】7,644千円                                                                                                                                                                                                                 |      |   |        |          |
| 新規・拡充・縮小・廃止等の概要 | 令和元年度からの新規事業であり、学校の相談件数が多くその年の12月には活動時間を抑制する事態となったため、令和2年度は総活動時間を年間1,086時間から2172時間の2倍に拡充した。令和2年度は新型コロナウイルスによる学校休校もあったが、9月末時点で1096時間活動し、延べ支援生徒数も268人と前年度を超えるペースであるが、現予算体制で期間内での学校からの要望に対応できると判断される。                                             |      |   |        |          |
| その他             | 県スクールソーシャルワーカー派遣事業も本事業と併せて活用できる状況にある。一方で市町村独自のスクールソーシャルワーカー配置を考える自治体が増加しており、スクールソーシャルワーカー経験者が少なく人員の安定した確保が課題である。抱える案件が複数年度継続することが多く、市職員(社会福祉士有資格者)のスクールソーシャルワーカーへの起用も検討する必要がある。                                                                |      |   |        |          |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                               |      |   |        |          |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---|--------|----------|
| 事業名             | つくば未来塾（「地域未来塾」の開催）                                                                                                                                                                                                                                            |      |   |        |          |
| プラン掲載項目         | 学習支援                                                                                                                                                                                                                                                          |      |   | 掲載頁・番号 | P4－3－(3) |
| 新規・拡充等の別        | 継続                                                                                                                                                                                                                                                            | 基金充当 | — | 担当課    | 生涯学習推進課  |
| 事業概要            | <p>学校に派遣された学習チューターが学校職員とともに、5教科(国・社・数・理・英)を中心に学習の指導及び助言にあたることで、学習習慣の確立や基礎学力の定着を図るとともに、生徒の学習上のつまずきを解消し、学習意欲の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者：つくば市立の中学校・義務教育学校へ通う7年生から9年生までの生徒</li> <li>・学習チューター：大学生、大学院生、教育実習生、地域ボランティア(社会人)等</li> </ul> |      |   |        |          |
| 目標              | 各学校の実情や生徒の参加状況を踏まえ、継続して事業を行う。学習習慣の確立や基礎学力の定着を図るため、学習チューターと実施時間を適切に調整する。                                                                                                                                                                                       |      |   |        |          |
| 予算              | <p>【本年度】4,279千円 ⇒【令和3年度】4,621千円</p> <p>⇒【令和2年度】4,279千円(国の補助金内定が予定額より24.19%減少)</p>                                                                                                                                                                             |      |   |        |          |
| 新規・拡充・縮小・廃止等の概要 |                                                                                                                                                                                                                                                               |      |   |        |          |
| その他             |                                                                                                                                                                                                                                                               |      |   |        |          |

## 令和3年度事業計画(案)(つくば市こども未来プラン)

教育局

|                 |                                                                                                                                                     |      |   |        |              |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---|--------|--------------|
| 事業名             | オンライン学習環境整備事業（学習インフラの整備）                                                                                                                            |      |   |        |              |
| プラン掲載項目         | 学習支援                                                                                                                                                |      |   | 掲載頁・番号 | P5 - 3 - (3) |
| 新規・拡充等の別        | 縮小                                                                                                                                                  | 基金充当 | — | 担当課    | 総合教育研究所      |
| 事業概要            | 文部科学省が推進する「GIGAスクール構想」に基づき、各家庭におけるオンライン学習に必要なネットワーク環境の整備を支援する事業として実施。つくば市がWi-Fiルータを借受け、経済的理由等によりネットワーク環境が整備されていない家庭に対し、ルータの貸出を行うとともに、毎月の通信料を負担するもの。 |      |   |        |              |
| 目標              | 児童・生徒が各家庭でオンライン学習に取り組むことができるネットワーク環境を整備する                                                                                                           |      |   |        |              |
| 予算              | 学習用端末<br>【令和2年度】5,637千円 ⇒【令和3年度】0千円<br>Wi-Fiルータ<br>【令和2年度】12,476千円 ⇒【令和3年度】13,644千円(小学校費9,550千円、中学校費4,094千円)                                        |      |   |        |              |
| 新規・拡充・縮小・廃止等の概要 | 事業縮小(令和2年度末に学習用端末の整備が完了し、令和3年度はWi-Fiルータの貸出のみが事業化されるため。)                                                                                             |      |   |        |              |
| その他             | 令和3年度における貸出の対象世帯については、所得要件設定の有無(就学援助費受給世帯に限る等)を含め、現在検討中。                                                                                            |      |   |        |              |

|                 |                                                                                                                                                                          |      |   |        |              |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---|--------|--------------|
| 事業名             | 学校生活総合質問調査 i-check（非認知能力等判定の実施）                                                                                                                                          |      |   |        |              |
| プラン掲載項目         | 学習支援                                                                                                                                                                     |      |   | 掲載頁・番号 | P5 - 3 - (6) |
| 新規・拡充等の別        | 拡充                                                                                                                                                                       | 基金充当 | — | 担当課    | 学び推進課        |
| 事業概要            | 市内全小中学校で、質問紙による調査を実施する。<br>・ 自己肯定感や社会性などの非認知能力<br>→ データベースみまもりの情報として活用し、支援を必要とする児童生徒を早期に発見する。<br>・ いじめのサイン、対人ストレス、ソーシャルスキルなど<br>→ 教員の生徒指導や学級経営の指針づくりに活用<br>・ 生活習慣、学習習慣など |      |   |        |              |
| 目標              | 4・5・6・7・8・9年生全員に実施し、継続的な児童生徒の支援を行う。                                                                                                                                      |      |   |        |              |
| 予算              | 【令和2年度】5,637千円 ⇒【令和3年度】5,978千円(420円×14,233人)                                                                                                                             |      |   |        |              |
| 新規・拡充・縮小・廃止等の概要 | 4年から9年生の児童生徒数の増加分拡充                                                                                                                                                      |      |   |        |              |
| その他             |                                                                                                                                                                          |      |   |        |              |

## 令和3年度事業計画(案)(つくば市こども未来プラン)

## 保健福祉部

|                 |                                                                                                                                                                                                                                   |                                   |      |        |     |              |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|------|--------|-----|--------------|
| 事業名             |                                                                                                                                                                                                                                   | つくばこどもの青い羽根学習会（学習支援団体との協定締結による協働） |      |        |     |              |
| プラン掲載項目         |                                                                                                                                                                                                                                   | 居場所支援＋学習支援                        |      | 掲載頁・番号 |     | P4－3－（1）     |
| 新規・拡充等の別        |                                                                                                                                                                                                                                   | 拡充                                | 基金充当 | —      | 担当課 | 保健福祉部 こども未来室 |
| 事業概要            | 貧困の連鎖を断ち切るため、生活保護または就学援助受給世帯の4～9年生（はやぶさ教室は3年生）の子どもに対して、学習支援や安心できる居場所の提供等を行う。<br>・学習支援団体と協定を締結し協働事業として実施<br>・事業者同士の事例共有・連携強化のための連絡会議を開催（年4回予定）                                                                                     |                                   |      |        |     |              |
| 目標              | 市内全中学校・義務教育学校16か所に開設。谷田部小学校におけるはやぶさ教室をモデルに、特に学校校舎における学習支援の充実を図る。                                                                                                                                                                  |                                   |      |        |     |              |
| 予算              | 【本年度】28,448千円 ⇒【令和3年度】28,878千円                                                                                                                                                                                                    |                                   |      |        |     |              |
| 新規・拡充・縮小・廃止等の概要 | 学校拠点型1か所、学校外拠点（北部地区）を1カ所の計2か所を増設する。                                                                                                                                                                                               |                                   |      |        |     |              |
| その他             | 桜並木学園（並木小・桜南小・並木中）における Learning for All による学習支援モデル事業<br>○ 学校連携拠点「つくばやる気じゅく」（放課後、2時間程度、4～6年生・7年生対象）<br>・8月に夏季プログラム実施（各校15名程度参加）<br>・11月から秋冬季プログラム実施中（各校15名程度参加）<br>○ 学校外拠点「つくば寺子屋くらぶ」<br>（毎週日曜日15～18時、3～9年生、6名参加、3名体験中（R2.12月末現在）） |                                   |      |        |     |              |

|                 |                                                                                                                                                                                       |                                        |      |        |     |              |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|------|--------|-----|--------------|
| 事業名             |                                                                                                                                                                                       | 居場所づくり支援事業「青い羽根のいえ」(つくば市に必要な居場所づくりの検討) |      |        |     |              |
| プラン掲載項目         |                                                                                                                                                                                       | 居場所支援                                  |      | 掲載頁・番号 |     | P4－3－(2)     |
| 新規・拡充等の別        |                                                                                                                                                                                       | 拡充                                     | 基金充当 | ○      | 担当課 | 保健福祉部 こども未来室 |
| 事業概要            | 生活困窮世帯等の子どもの孤立防止、生活習慣向上を目的に、基本的な生活習慣の習得支援、学習支援、食事の提供、その他生活の向上のために必要な支援を行う居場所支援事業を実施する。<br>・対象年齢は、1年生から9年生の児童生徒<br>・週3回(火・木・日)、平日15:00～20:00、日曜10:00～14:00<br>・食事、庭付き平屋(梅園エリア)         |                                        |      |        |     |              |
| 目標              | 生活困窮等家庭の事情により、複合的な課題を抱える児童生徒が居場所を利用することで、生活習慣の改善や孤立の防止を通じて、貧困の連鎖を防止する。さらには、つくばこどもの青い羽根学習会等の次のステップに進んでいけるようにする。                                                                        |                                        |      |        |     |              |
| 予算              | 【本年度】5,610千円 ⇒【令和3年度】9,379千円                                                                                                                                                          |                                        |      |        |     |              |
| 新規・拡充・縮小・廃止等の概要 | 家庭環境の影響により課題を抱えた子どもたちにとって、安心できる居場所の存在は自己肯定感を育むことや生活環境を整える場所として重要であり、つくば市こども未来プランにおいて、学習支援と併せて居場所支援の充実を図っていくこととしている今年度はモデル事業として送迎地区を限定していたが、来年度は全地区を対象に困難を抱える児童を送迎できるようにし、事業の充実を図っていく。 |                                        |      |        |     |              |
| その他             | 利用者は、5名。体験中2名。(R3.1末時点)                                                                                                                                                               |                                        |      |        |     |              |

## 令和3年度事業計画(案)(つくば市こども未来プラン)

## 保健福祉部

|                 |                                                                                                                                                                           |                    |      |        |     |              |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|------|--------|-----|--------------|
| 事業名             |                                                                                                                                                                           | 子どもの学習塾代助成（学習塾代支援） |      |        |     |              |
| プラン掲載項目         |                                                                                                                                                                           | 居場所支援＋学習支援         |      | 掲載頁・番号 |     | P4－3－（1）     |
| 新規・拡充等の別        |                                                                                                                                                                           | 継続                 | 基金充当 | ○      | 担当課 | 保健福祉部 こども未来室 |
| 事業概要            | 市内の中学校・義務教育学校に在籍する7～9年生のうち、生活保護や就学援助の受給世帯の生徒に対し、学習塾の利用にかかる経費の助成を行う。<br>・1か月当たり5,000円（上限）、交付決定月～翌年2月分<br>・定員20名（4月に最大11か月分の交付決定をした場合）<br>・つくばこどもの青い羽根学習会の利用を優先するため、利用者は対象外 |                    |      |        |     |              |
| 目標              | 利用状況を踏まえて拡充を検討                                                                                                                                                            |                    |      |        |     |              |
| 予算              | 【本年度】1,100千円 ⇒【令和3年度】1,100千円                                                                                                                                              |                    |      |        |     |              |
| 新規・拡充・縮小・廃止等の概要 | 対象者を昨年度9年生から7～9年生（先着順）に、助成期間を4月～2月分に拡大。来年度は、高学年を優先することとし、その他手続も明確化する予定。                                                                                                   |                    |      |        |     |              |
| その他             | 27名の申し込み(R2.7月末現在)があり、21名に交付決定し募集終了。                                                                                                                                      |                    |      |        |     |              |

|                 |                                                                                                                                                     |                             |      |        |     |              |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|------|--------|-----|--------------|
| 事業名             |                                                                                                                                                     | みんなの食堂事業補助金（みんなの食堂実施団体への支援） |      |        |     |              |
| プラン掲載項目         |                                                                                                                                                     | 居場所支援                       |      | 掲載頁・番号 |     | P4－3－(2)     |
| 新規・拡充等の別        |                                                                                                                                                     | 継続                          | 基金充当 | ○      | 担当課 | 保健福祉部 こども未来室 |
| 事業概要            | 食を通じて地域の子どもや大人が交流することができる地域の交流スペースとしての居場所を提供できるよう、みんなの食堂実施団体の運営を支援し新規開設を促進するため補助金を交付する。<br>・月1回・・・50,000円/年、月2回・・・100,000円/年<br>・食材費や消耗品、保険料などが対象経費 |                             |      |        |     |              |
| 目標              | 10団体に補助金を交付してみんなの食堂を実施                                                                                                                              |                             |      |        |     |              |
| 予算              | 【本年度】500千円      ⇒      【令和3年度】500千円                                                                                                                 |                             |      |        |     |              |
| 新規・拡充・縮小・廃止等の概要 | 実施団体が増加したため、みんなの食堂マップを改訂し、さらなる周知を図る。                                                                                                                |                             |      |        |     |              |
| その他             | 5団体より補助金交付申請あり(R3.1月末現在)、現在1団体が新規開設を検討中                                                                                                             |                             |      |        |     |              |

## 令和3年度事業計画(案)(つくば市こども未来プラン)

保健福祉部

|                 |                                                                                                             |                           |      |        |     |              |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|------|--------|-----|--------------|
| 事業名             |                                                                                                             | ボランティア登録説明会（ボランティア説明会の開催） |      |        |     |              |
| プラン掲載項目         |                                                                                                             | 市民参加                      |      | 掲載頁・番号 |     | P5 - 3 - (5) |
| 新規・拡充等の別        |                                                                                                             | 継続                        | 基金充当 | —      | 担当課 | 保健福祉部 こども未来室 |
| 事業概要            | 子どもの学習支援や居場所づくりに関わるボランティアを募集する場として開催。市内の学習支援・みんなの食堂事業者が一堂に会する。<br>・希望者はその場でボランティア登録が可能<br>・実施団体の情報交換の場にもなる。 |                           |      |        |     |              |
| 目標              | 年2回程度の開催(高校生・大学生にも参加を呼びかけ)                                                                                  |                           |      |        |     |              |
| 予算              | —                                                                                                           |                           |      |        |     |              |
| 新規・拡充・縮小・廃止等の概要 | 令和3年度は2回開催し、市内の児童生徒の状況、市の取り組みを説明することにより、ボランティアの確保を推進していく。                                                   |                           |      |        |     |              |
| その他             | 9/26(土) 第1回ボランティア登録説明会開催、53名参加。(こども育成課と連携。)<br>※3月開催予定だった第2回ボランティア登録説明会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止。            |                           |      |        |     |              |

|                 |                                                                                                     |      |   |        |              |              |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---|--------|--------------|--------------|
| 事業名             | 学習支援マニュアル研修会の実施（学習支援事業者向け研修会・意見交換会の開催）                                                              |      |   |        |              |              |
| プラン掲載項目         | 市民参加                                                                                                |      |   | 掲載頁・番号 |              | P5 - 3 - (5) |
| 新規・拡充等の別        | 継続                                                                                                  | 基金充当 | — | 担当課    | 保健福祉部 こども未来室 |              |
| 事業概要            | 市内で学習支援や居場所づくりを実施する事業者向けに、開設・運営のために作成した学習支援マニュアルを使用して研修を実施することで、支援の質向上や学習支援・居場所づくりの事業の新規開設、活動促進を図る。 |      |   |        |              |              |
| 目標              | 年4回程度の開催                                                                                            |      |   |        |              |              |
| 予算              | 【本年度】200千円 ⇒【令和3年度】100千円                                                                            |      |   |        |              |              |
| 新規・拡充・縮小・廃止等の概要 | 令和3年度は2回開催予定                                                                                        |      |   |        |              |              |
| その他             | 7月下旬～ e-Learning教材(NPO法人Learning for All作成)による研修を実施<br>3月上旬 オンラインにより研修会開催予定(全2回)                    |      |   |        |              |              |



## 令和3年度事業計画(案)(つくば市こども未来プラン)

## 保健福祉部

|                 |                                                                                                                                                                                             |      |        |     |              |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------|-----|--------------|
| 事業名             | データベースみまもり（データベースの構築）（アウトリーチ支援の実施）                                                                                                                                                          |      |        |     |              |
| プラン掲載項目         | データ収集                                                                                                                                                                                       |      | 掲載頁・番号 |     | P5 - 3 - (6) |
| 新規・拡充等の別        | 継続                                                                                                                                                                                          | 基金充当 | ○      | 担当課 | 保健福祉部 こども未来室 |
| 事業概要            | 支援すべき子どもを取り残さないため、支援状況等子どもに関する情報を網羅的に掲載して、庁内関係部署間で適切に情報共有されるデータベースを構築する。<br>また、データベースを活用し、支援が必要な子どもを早期に発見し、必要な支援につなぐ。                                                                       |      |        |     |              |
| 目標              | 利用状況を踏まえてさらなる拡充を検討                                                                                                                                                                          |      |        |     |              |
| 予算              | 【本年度】3,835千円 ⇒ 【令和3年度】3,841千円                                                                                                                                                               |      |        |     |              |
| 新規・拡充・縮小・廃止等の概要 | アウトリーチ支援対象モデル校を10校から12校に拡大                                                                                                                                                                  |      |        |     |              |
| その他             | 令和2年度は、こども未来支援員を4名新たに配置し、支援対象モデル校10校において、支援情報一覧から抽出した支援対象に対し、SSW、家庭相談員と連携してアウトリーチ支援を実施。月1で三部局による支援担当者会議を開催。<br>(支援対象モデル校) 秀峰筑波義務教育学校、荃崎中学校、桜中学校、栄小学校、大穂中学校、大曾根小学校、谷田部中学校、谷田部小学校、二の宮小学校、東小学校 |      |        |     |              |

|                 |                                                                                                                                                                            |      |        |     |              |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------|-----|--------------|
| 事業名             | つくば市こども未来懇話会、こども未来庁内連携会議、こども未来支援担当者会議<br>(こども未来懇話会におけるチェック、こども未来庁内連携会議の開催)                                                                                                 |      |        |     |              |
| プラン掲載項目         | 推進体制                                                                                                                                                                       |      | 掲載頁・番号 |     | P5 - 3 - (7) |
| 新規・拡充等の別        | 継続                                                                                                                                                                         | 基金充当 | —      | 担当課 | 保健福祉部 こども未来室 |
| 事業概要            | つくば市こども未来懇話会：<br>つくば市こども未来プランに関連する施策の推進体制<br>プラン掲載事業の進捗確認、追加で実施が必要な事項を決定<br>こども未来庁内連携会議：<br>関係部局である保健福祉部、教育局、こども部の横断的支援体制<br>支援担当者会議：<br>支援窓口・担当者による連携体制、データベースみまもりの活用推進体制 |      |        |     |              |
| 目標              | 懇話会： 継続的に毎年2回開催<br>庁内連携会議： 継続的に随時開催                                                                                                                                        |      |        |     |              |
| 予算              | 【本年度】140千円 ⇒【令和3年度】140千円                                                                                                                                                   |      |        |     |              |
| 新規・拡充・縮小・廃止等の概要 | 令和3年度は、懇話会2回、連携会議3回、支援担当者会議は随時開催予定                                                                                                                                         |      |        |     |              |
| その他             | 懇話会： 第1回 8/18(火)、第2回 2/9(火) 予定<br>連携会議： 第1回 8/7(金)、第2回 10/29(木)、第3回 3月 予定<br>支援担当者会議： 第1回 8/6(木)、第2回 9/3(木)、第3回 10/1(木)、第4回 11/4(木)、<br>第5回 12/3(木)、第6回 1/7(木)、第7回 2/4(木)  |      |        |     |              |

# つくば市こども未来プラン

## 1 本プラン策定の背景・趣旨

平成 31 年（2019 年）2 月策定

### （1）背景

国民生活基礎調査<sup>1</sup>によると日本における子どもの相対的貧困率は平成 27 年に 13.9%であり、OECD加盟国など 36 か国の平均値 13.3%を上回っている。日本財団の調査<sup>2</sup>では貧困の連鎖を防がないことによる社会的損失は 60 兆円と推測されており、貧困対策は本人だけでなく社会全体としても重要な取り組みであることが示されている。このような背景の下、経済的に困難を抱える世帯の子どもに対して学習支援・居場所づくりを行い貧困の連鎖を防ぐ取り組みが全国的に行われ始めている。

### （2）つくば市の児童生徒の現状

つくば市の平成 30 年 5 月現在の児童生徒数は、小学生が 14,508 人、中学生が 5,863 人である。学力の状況については、6 年生と 9 年生全員を対象に実施された平成 30 年度の全国学力・学習状況調査では、つくば市の児童生徒の正答率は全 10 分野で全国平均を上回っており、全体としては充実している。

一方、就学援助や生活保護の対象となっている 1～9 年生の児童生徒は、つくば市において平成 29 年度に 1,269 人、平成 30 年度に 1,219 人<sup>3</sup>に上る。これらの児童生徒の学力が必ずしも低いわけではないが、つくば市が平成 29 年度に行った調査<sup>4</sup>では、所得水準によって学校以外での塾等の学習環境に違いが存在する傾向が見られる。

そのような児童生徒を対象として、現在、つくば市では、大穂中学校区、谷田部中学校区・みどりの学園義務教育学校区及び谷田部東中学校区・並木中学校区の 3 か所で学習支援事業を実施しており、それぞれ約 20～30 名の児童生徒を対象に、学校の復習や宿題の習慣づけ等を行っている。

### （3）つくば市における課題とこども未来プラン策定の趣旨

つくば市が実施している学習支援事業を利用している児童生徒に平成 29 年度末に行ったアンケート調査では、「勉強がわかるようになった」児童生徒が 60%以上いるなど、評価されている。一方で、利用者は計 100 人程度であり、市内で対象となる 1,200 人以上の児童生徒数からすると利用者が少数にとどまっており実施地域も限定的となっている。また、現在行っている学習支援にとどまらず、安心できる居場所の提供も重要であり、居場所づくりを含めて対策を行う必要がある。

<sup>1</sup>平成 28 年厚生労働省

<sup>2</sup>日本財団子どもの貧困対策チーム「子どもの貧困の社会的損失推計レポート」

<sup>3</sup>つくば市内の平均的な学校の 3 校分に相当

<sup>4</sup>平成 29 年度つくば市子どもの貧困に関する実態調査

つくば市における学習支援事業の利用率が低いこと、実施地域が限定的であること、居場所づくりの支援が不十分であること等の課題に対応するため、必要となる政策を中長期的な視野に立ち部局横断的に実行することが不可欠であり、本プランを策定することとする。

#### (4) 本プラン策定の経緯

本プランの策定にあたり、関係部局である保健福祉部・教育局・こども部の連携のためこども未来庁内連携会議を開催するとともに、有識者や学校関係者、支援団体代表者に市民委員を加えたメンバーによるこども未来懇話会を開催して議論を行った。

#### ○こども未来庁内連携会議開催状況

| 日付    | テーマ                                                                                                                        |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8月10日 | ①保健福祉部の取組について<br>②こども部の取組について<br>③教育局の取組について<br>④つくば市子どもの学習支援・居場所づくりについて                                                   |
| 9月3日  | ①ボランティアの募集について<br>②課題スクリーニングリストの作成について<br>③空き教室の開放及び教員OBへの声かけについて<br>④青少年の居場所づくりについて<br>⑤ひとり親家庭の支援について<br>⑥放課後こども教室の拡大について |
| 9月25日 | ①こども未来懇話会の開催について                                                                                                           |

#### ○こども未来懇話会開催状況

| 日付     | テーマ                                                             |
|--------|-----------------------------------------------------------------|
| 10月29日 | ①つくば市こども未来プランとつくば市こども未来懇話会について<br>②保健福祉部の取組について<br>③こども部の取組について |
| 11月19日 | ①教育局の取組について<br>②第1回懇話会の指摘事項・ご意見について<br>③つくば市こども未来プラン(大枠案)について   |
| 11月26日 | ①第2回懇話会の指摘事項・ご意見について<br>②つくば市こども未来プラン(骨子案)について                  |
| 12月10日 | ①第3回懇話会の指摘事項・ご意見について<br>②つくば市こども未来プラン(案)について                    |

## 2 子どもの支援の方向性

経済的に困難を抱える世帯の子どもにおいて、学校以外での学習機会にそれ以外の子どもとの差が存在するものの、現在、つくば市として提供できている学習支援は限定的であり、今後、学習支援を充実していく必要がある。さらに、家庭環境の影響により課題を抱えた子どもたちにとって、安心できる居場所があることで自己肯定感を育むことにつながり、学習支援と併せて施策の充実を図っていく。

上記を踏まえた子どもへの支援として、つくば市は地域や実施団体、大学、学校などと連携しながら、学習支援・居場所づくりを中心に支援を行う。この支援は「誰一人取り残さない」という持続可能な開発目標（SDGs）の理念に従い、包摂的・包括的に行うものとし、義務教育年限の1～9年生を主な対象としながら、居場所づくりについては就学前児童から高校生以上も含めて幅広く対象とする。また、本プランに記載されている事項に限らず、つくば市子ども・子育て支援プラン等その他の市の支援事業と連携して支援を行う。

以下のヴィジョンの下、具体的達成目標の実現のため、3(1)～(7)の事項に取り組んでいく。目標欄には5年後の達成目標を記載している。なお、新規調査については、関連するデータを参考に記載している。

### 【ヴィジョン】

安心できる居場所・学習環境で、つくばの子どもを育む

### 【具体的達成目標】

#### ① 自己肯定感を持つ児童生徒の割合の増加

→目標：31年度比10%（ポイント）増【非認知能力（自己肯定感等）の調査】  
※ H30 全国学力・学習状況調査(4/17)質問紙(1)自分にはよいところがあると思いますか：79.9%

#### ② 将来の夢や目標設定力を持つ児童生徒の割合の増加

→目標：31年度比10%（ポイント）増【非認知能力（自己肯定感等）の調査】  
※ H30 全国学力・学習状況調査(4/17)質問紙(3)将来の夢や目標を持っていますか：78.6%

#### ③ 家庭学習の習慣づけができている児童生徒の割合の増加

（小学生30分以上、中学生1時間以上）

→目標：31年度比10%（ポイント）増【非認知能力（自己肯定感等）の調査】  
※ H30 全国学力・学習状況調査(4/17)質問紙(10)自分で計画を立てて勉強をしていますか：65.9%

#### ④ 「よくわかる」「わかる」を実感できる児童生徒の割合の増加

→目標：72%（29年度つくば市調査）から10%（ポイント）増【児童生徒の意識調査】

#### ⑤ 希望者全員の高校進学・卒業

→目標：希望者の進学率100%【学校を通じて調査】

### 3 具体的実施事項

以下の事業を平成 31 年度からの 5 か年で実施する。目標欄には 5 年後の達成目標を記載している。

#### (1) 居場所支援＋学習支援：経済的に困難を抱える子どもを対象に重点支援を行う

##### ○学習支援団体との協定締結による協働

(厚生労働省生活困窮者就労支援事業費補助金 (国 1/2) )

・対象は生活困窮世帯の主に 4 ～ 9 年生であるが柔軟に対応

・ H29 2 か所 → H30 3 か所 → H31 拡大 (12 か所)

→目標：市内全中学校・義務教育学校 16 か所に開設。谷田部小学校におけるはやぶさ教室をモデルに、特に学校校舎における学習支援の充実を図る

##### ○学習塾代支援

・対象は生活保護・就学援助を受けている 7 ～ 9 年生

→目標：利用状況を踏まえて拡充を検討

##### ○アウトリーチ（訪問支援）の実施

・現在は必要に応じて学校の担任教諭等が実施

→目標：支援状況一覧で抽出した対象者へ、地域や NP0 等と連携しながら、アウトリーチを実施し、アセスメントを行い必要な支援に早期に接続

##### ○スクールソーシャルワーカーの活用

・現在、県派遣事業を活用

→目標：利用状況を踏まえて市独自の配置や配置数の増加、地域や NP0 との連携などを含めたさらなる拡充を検討

#### (2) 居場所支援：家庭や学校以外の安心な環境で成長できる居場所を提供する

##### ○子ども食堂実施団体への支援

→目標：10 団体に補助金を交付して子ども食堂を実施（就学前児童含む）

##### ○つくば市に必要な居場所づくりの検討

#### (3) 学習支援：学習支援の提供により基礎学力の向上を図る

##### ○「地域未来塾」の開催

(文部科学省地域の教育支援体制等構築事業費補助金 (国 1/3、県 1/3) )

・中学生を対象に、就学援助等の条件なしで各中学校・義務教育学校で実施中

→目標：全中学校・義務教育学校で月複数回の開催

○「放課後子供教室」での学習支援の実施

（文部科学省放課後子どもプラン推進事業費補助金（国 1/3、県 1/3））

- ・小学生を対象に、就学援助等の条件なしで実施中（秀峰筑波義務教育学校）

→目標：全小学校・義務教育学校での定期的な開催

○学習インフラの整備

- ・「つくばチャレンジングスタディ」を含め、基礎学力の向上につながる各種取組やインフラ整備を推進
- ・現在、総合教育会議において教育大綱を策定中のため、会議においてこれらの論点について検討を行う。

（４）保護者支援：経済的に困難を抱える保護者への支援を充実させる

○高等職業訓練促進給付金の活用促進

- ・高等職業訓練促進給付金に加えて市独自の給付を行う

→目標：受給者を 30 人程度に増加

（５）市民参加：地域の市民が参加しやすくするための支援を行う

○ボランティア説明会の開催

- ・学習支援事業者や子ども食堂事業者が参加（30 年 12 月初開催）

→目標：年 2 回程度の開催（高校生・大学生にも参加を呼びかけ）

○学習支援事業者向け研修会・意見交換会の開催

→目標：年 4 回程度の開催

（６）データ収集：網羅的データベース構築により、支援すべき子どもを取り残さない

○データベースの構築

- ・支援状況一覧や支援状況等子どもに関する情報を網羅的に掲載して庁内関係部署間で適切に情報共有されるデータベースの構築

→目標：利用状況を踏まえてさらなる拡充を検討

○非認知能力等判定の実施

→目標：4・5・7・8 年生全員に実施

（７）推進体制：施策の推進体制を構築する

○こども未来懇話会におけるチェック

- ・プラン実施状況を踏まえて追加で実施が必要な事項を決定

→目標：継続的に毎年 2 回開催

○こども未来庁内連携会議の開催（保健福祉部・教育局・こども部）

→目標：継続的に随時開催

参考：こども未来懇話会委員名簿

| No. | 氏 名   | 組織・役職等                                            | ※選出区分 |                |
|-----|-------|---------------------------------------------------|-------|----------------|
| ①   | 藤田 晃之 | 筑波大学人間系 教授・教育学類長                                  | (1)   | 学識経験者          |
| ②   | 飯田 浩之 | 筑波大学人間系 准教授                                       | (1)   | 学識経験者          |
| 3   | 中嶋 信美 | つくば市PTA連絡協議会 会長                                   | (2)   | 児童・生徒の保護者      |
| 4   | 星埜 祥子 | 公募                                                | (3)   | つくば市民          |
| 5   | 岡本 幸也 | 公募                                                | (3)   | つくば市民          |
| 6   | 遠藤 知昭 | つくば市立小中学校長会 会長                                    | (4)   | 公立小・中学校長       |
| 7   | 松本 義明 | つくば市立小中学校長会 副会長                                   | (4)   | 公立小・中学校長       |
| 8   | 河村 和恵 | つくば市主任児童委員連絡会 会長                                  | (5)   | 主任児童委員         |
| 9   | 大野 寛  | NPO法人フードバンク茨城理事長<br>認定NPO法人茨城NPOセンター・コ<br>モンズ事務局長 | (6)   | 各種支援団体の代<br>表者 |

○ 座長    ○ 副座長

※選出区分（つくば市こども未来懇話会開催要項第3条の規定に基づく次の各号に掲げる委員の分類）

- (1) 学識経験者   (2) 児童・生徒の保護者   (3) つくば市民   (4) 公立小・中学校長  
(5) 主任児童委員   (6) 各種支援団体の代表者

# つくば市こども未来プラン

安心できる居場所・学習環境  
で、つくばの子どもを育む

平成31年(2019年)  
2月策定

## 居場所+学習支援

(1,219人※H30.10)

- 対象：経済的に困難を抱える子ども
- ・学習支援団体との協働(4～9年生)  
H29 2か所→H30 3か所→H31 拡大(12か所)
  - ・学習塾代支援(9年生)
  - ・アウトリーチ(訪問支援)の実施
  - ・スクールソーシャルワーカーの活用

## 居場所支援

- 対象：就学前児童～高校生以上
- ・子ども食堂実施団体への支援  
(平成30年11月から補助金開始)
  - ・つくば市に必要な居場所づくりの検討

## 学習支援

- 対象：1年生～9年生(約2万人)
- ・中学生：「地域未来塾」の開催
  - ・小学生：「放課後子供教室」での学習支援の実施
  - ・学習インフラの整備

## 市民参加

- 市民が参加しやすくするための支援
- ・ボランティア説明会の開催(学習支援・子ども食堂)  
(平成30年12月初開催)
  - ・学習支援事業者向け研修会・意見交換会

平成31年度  
からの  
5か年プラン

## 保護者支援

- 対象：経済的に困難を抱える保護者
- ・高等職業訓練促進給付金の活用促進  
(市独自給付をプラス)

## データ収集

- 支援すべき子を取り残さない
- ・データベースの構築
  - ・非認知能力等判定(自己肯定感等の調査)の実施

## 推進体制

- 施策の推進体制を構築
- ・つくば市こども未来懇話会におけるチェック
  - ・つくば市こども未来庁内連携会議の開催

## 支援の方向性

- ・持続可能な開発目標(SDGs)に沿った包摂的・包括的な支援
- ・地域、実施団体、大学、学校等との連携

## 達成目標

- 1 自己肯定感を持つ児童生徒の割合の増加
- 2 将来の夢や目標設定力を持つ児童生徒の割合の増加
- 3 家庭学習の習慣づけができていない児童生徒の割合の増加
- 4 「よくわかる」「わかる」を実感できる児童生徒の割合の増加
- 5 希望者全員の高校進学・卒業